朝鮮地方行政

4788.1
4740
v.2:3
(1923)

Google

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

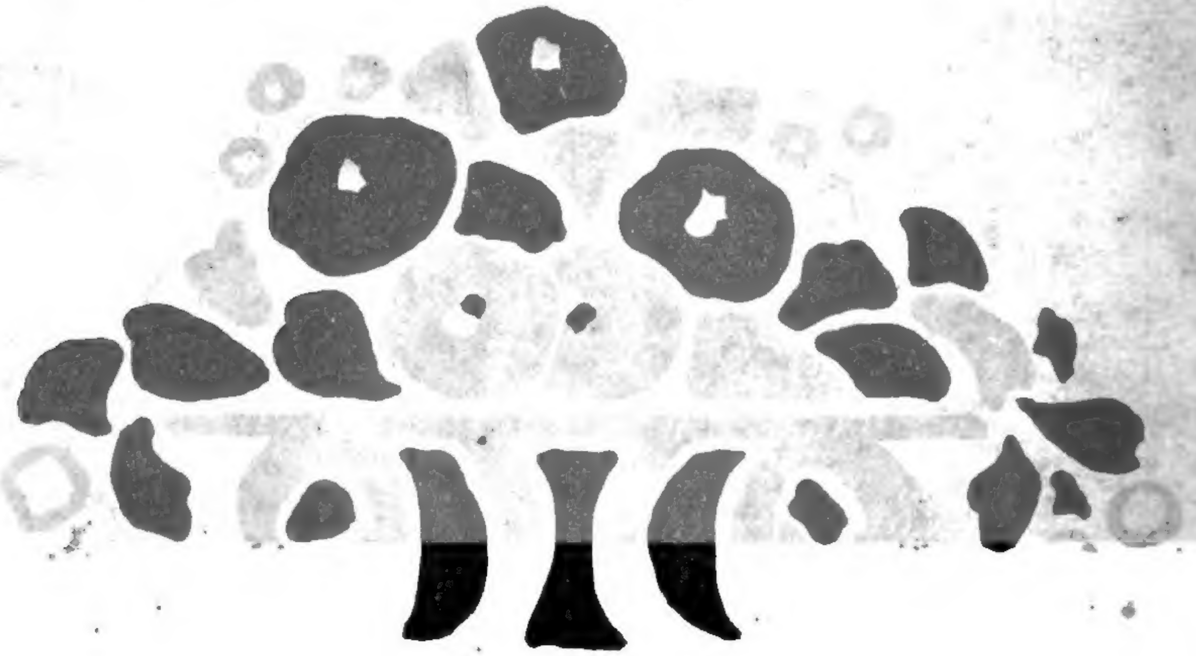
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第二巻 第三號

朝鮮地方行政



三月號

BERKELEY LIBRARY UNIVERSITY OF CALIFORNIA
989 I

帝國地方行政學會發行

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

男爵齋藤實閣下題字
法學博士水野錬太郎閣下序文

法學士松村松盛氏著

民衆之教化

四六版洋裝
體裁優美
價額二圓五十錢
送料三十錢

社會教育的施設を整備し世界的文化競爭に於て優越すべの準備を爲すは刻下の急務である。然るに我國に於ては社會教育に關する一般の思想幼稚にして其の施設亦到底歐米列强の比に非ざるは實に慨歎に堪へざる所である。著者は直接內地及朝鮮の教政の局に當りて深く此缺陷に鑑み本書を作つた。本書は社會教育の理論及實際的施設方法の全般に亙りて詳述し論旨穩健記述平明にして一讀直に社會教育の一般に通じ實際的施設の指針となすことが出來る。教化事業に志ある人士は勿論新朝鮮經營の共同責任者たる內鮮官民必讀の好著である。

京城府長谷川町九十三

帝國地方行政學會朝鮮本部

（振替京城一〇七五四番電話本局九七三番）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

謹告

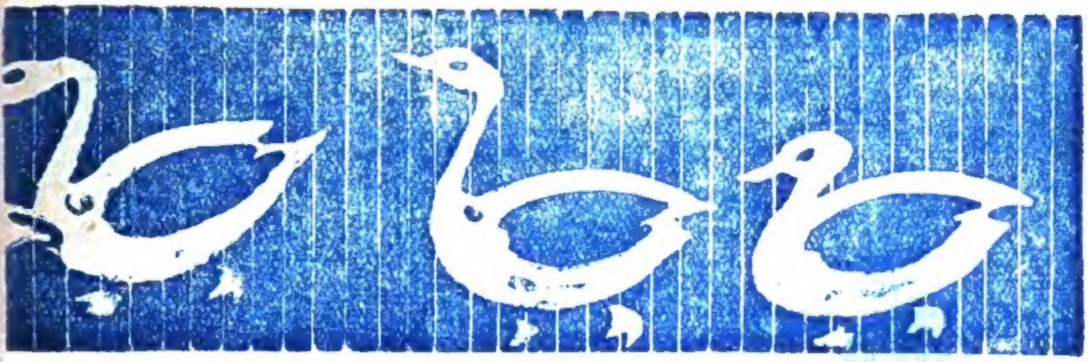
本月七日拂曉災厄の爲め第一工場附屬建物悉皆烏有に歸し候得共幸に第二、第三工場有之同所を擴張し業務上には何等支障無之候間不相變大方各位の御眷顧を賜り度此段謹告候也

大正十二年三月

帝國地方行政學會

東265988

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



朝鮮地方行政第二卷第三號目次

大正十二年三月十五日發行

口繪 朝鮮上水道の現況

卷頭

○面長の待遇……………一

主張と研究

○社會事業の根本的精神……………文學博士 谷本富……二
○社會生活の一考察……………法學博士 穗積重遠……一三
○朝鮮に於ける產業氣分の轉換期……………朝鮮總督府 全羅南道知事 亥角仲藏……一六

施設と批判

○諸問機關の運用……………朝鮮總督府 內務局地方課長 石黑英彥……二三
○咸北雜話……………前朝鮮總督府 咸鏡北道知事 齋藤禮三……二七
○全羅南道產業の大勢……………前朝鮮總督府全 羅南道內務部長 佐々木正太……三〇
○朝鮮に於ける社會問題……………朝鮮總督府 內務局社會課長 矢島杉造……三五
○國民の納稅思想涵養に關する一考察……………朝鮮總督府屬 三木淸一……四二

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

法令と資料

○自治の開發訓練……四七
○露領沿海洲に於ける朝鮮人の生活……陸軍歩兵大尉 田北功…五六
○外遊漫筆……鷹松靈巣…六六
■寄書…七三 ■鮮内通信……八六 ■海外……九二 ■内地だより……九七

講演

○外來思想批判一斑……東京帝國大學教授文學博士 深作安文…一〇一
○投明須到……朝鮮總督府參事官 守屋榮夫…一〇九

文藝と說話

○短編小說 若人の群……山名白紅…一二〇
○武藏國高麗村を訪ふ……川村五峰…一二六
○錦心繡腸……一三三

雜錄

○社會事業に對する御下賜金竝奬勵金……一三五
○奏任待遇面長の略歷……一三六
○行政整理後の地方官……一四〇
○田園趣味曆……一四一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

内務省道路課長 佐上信一著

増訂三版

道路法概要

四六版全一冊 金二圓五十錢 送料 内地十八錢 朝鮮三十錢

道路法は其の研究の範圍極めて廣汎にして且つ攻究を要する事項極めて多岐なり著者之に觀る所あり其の制定の精神を努めて平明にすると共に其の運用に關する著者得意の意見を錄したり

内容大意

緒論

一、總則、二、道路の種類等級及路線の認定、三、道路の管理、四、道路に關する費用及義務、五、監督及罰則、六、訴願及訴訟、七、雜則、八、附則、九、特別法として仍其の效力を存する法令、餘論、一、道路法の在來道路に及ぼす影響、二、我國に於ける道路の實質的改良、附錄、一、道路の路線の認定に伴ふ諸問題、二、道路の實施と我國道路の將來、三、郡制廢止と廢道處分、四、索引。

東京市京橋局私書函八號

帝國地方行政學會發行

振替口座東京十三

朝鮮京城長谷川町九三

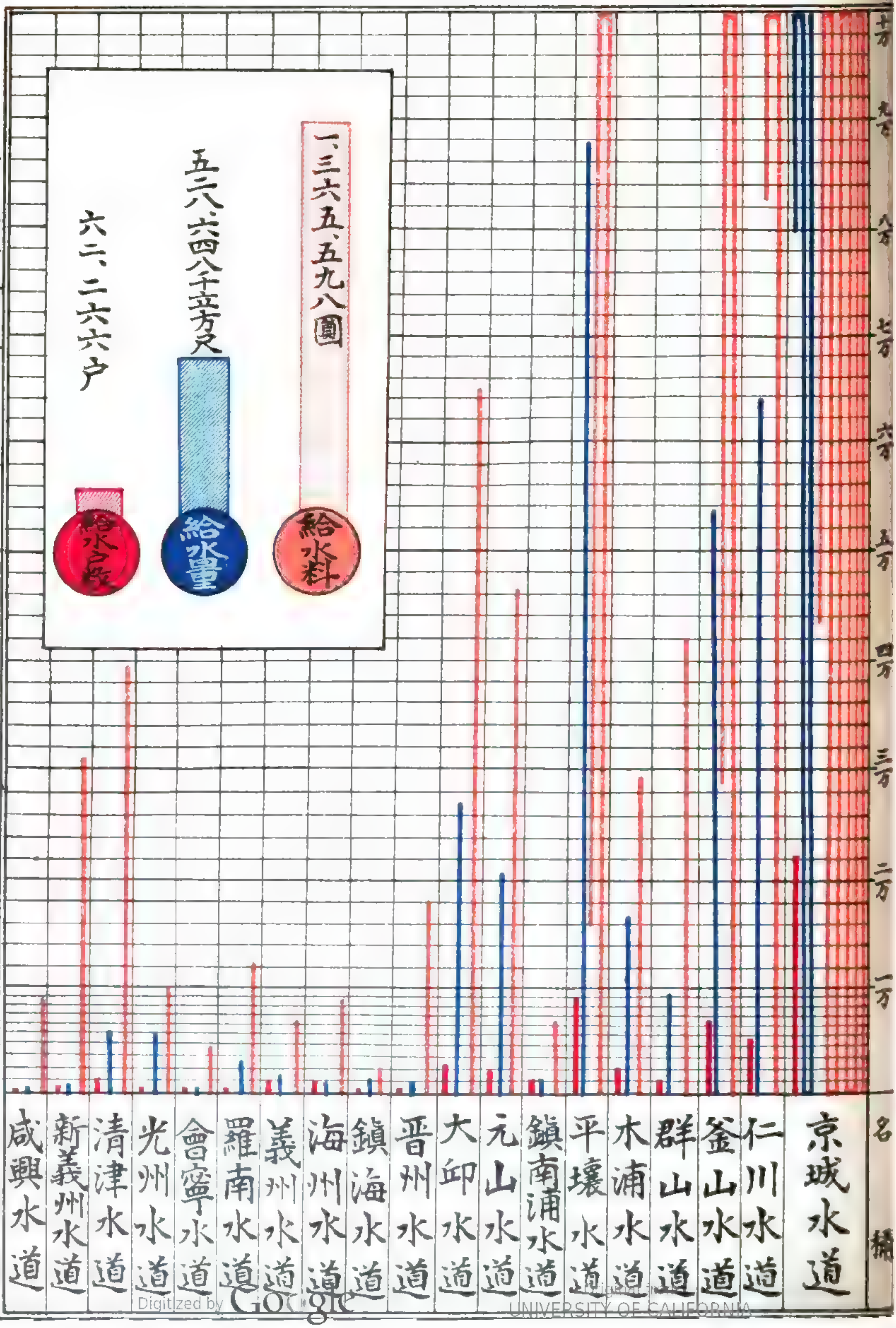
同 朝鮮本部

振替口座京城一〇七五四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

朝鮮上水道現況(大正十年末現在)

表中單位ハ給水料ハ千円、給水量ハ百万立方尺、給水戸數ハ千戸



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

法學士 泉對信之助著

好評

青島一一年

■四六判 定價三圓六十錢■
■全一册 送料｛內地十八錢 朝鮮三十錢｝■

文化的施設に獨逸と日本の色彩の交互に錯雜する青島市街の大觀を印象的な筆致て描き膠州灣の要所をめぐり、濟南までの沿線に鋭い視線を投げ嶗山に登り、泰山の絶頂を踏んで曲阜に孔子廟をたづねたる青島民政署に勤務した若き學者の眼に映じた青島及山東の風物が立體的な手法で文學的に而して趣味的に委曲を悉くして複雜な殖民地の地方色が鮮明にあらはれて居る。其の政治的運命はどうあらうとも日本人の力の齣られた七年間の歷史を顧みる時に或る感激に打たれて著者の觀察に無關心て居られぬてあらう。（時事評）

東京市京橋局私書函第八號

帝國地方行政學會發行

振替口座東京一三番

朝鮮京城府長谷川町九三

同 朝鮮本部

振替口座京城一〇七五四番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

内務省土木局編

忽九版

新舊度量衡對照表

菊判全一冊
強靱紙印刷
定價五十錢
送料二錢

本書は度量衡法及同施行令の定むる換算率に基き專ら距離、速度、面積、流量、土坪、重量等の新舊度量衡の對照に資せん爲め編纂されたものて、之等の計算表各千位迄を掲げ其の各數は少數以下七位に及ぶを以て利用の範圍は極めて廣汎なるべく、殊に卷頭には總括表として日、佛、英、米各單位に依る荷量、力率、强度、重量等の對照計算約二百種を添へたれば新舊度量衡對照には頗る便利なものである。

高橋正著

度量衡衍義

三版

曩に度量衡法の改正があつて、將來の度量衡メートル法に改正されるといふ重大なる革新時代であるから之に關する一般的智識を養成せしむるには難解なる度量衡を通俗的に分り易く説明した書物が必要なのである。本書は即ちその要求を充す爲め生れたもので現今の時代に最も適應せる好著であると信ずる。

●菊判全一冊●定價三圓六十錢●送料廿七錢朝鮮四十錢●

東京市京橋局私書函第八號
帝國地方行政學會發行
振替口座東京一三

朝鮮京城長谷川町九三
同 朝鮮本部
振替口座京城一〇一七五四

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

地方行政叢書

第二卷　目次

地方改良の研究　第一

- 訓示……床次竹二郎
- 地方當局の心得……小橋一太
- 地方自治の本義……塚本清治
- 地方事務一斑……長岡内務監察官
- 社會行政要領……田子社會局長
- 社會敎育に就て……赤司普通學務局長
- 實業敎育に就て……山崎實業學務局長
- 青年團に就て……田澤協調會理事

金二圓廿錢　送料十二錢

第三卷　目次

地方改良の研究　第二

- 神社に就て……吉田書記官
- 道路行政……松本事務官
- 自治と警察……松井博士
- 自治と都市計畫……山縣局長
- 地方行政に於ける統計の活用……二階堂保則
- 大戰後に於ける國際の趨勢……伊藤書記官
- 外來思想批判一斑……深作博士

金二圓廿錢　送料十二錢

東京市京橋局私書函第八號
帝國地方行政學會發行
振替口座東京一三

朝鮮京城府長谷川町九三
同　朝鮮本部
振替口座京城一〇七五四

司法省 池田民事局長序文

司法省 長島參事官校閲

司法省 民事局戸籍主任 原田良實著

新刊

四六判全一冊
新鑄ポイント活字組
定價二圓八十錢
送料十八錢

司法書式大鑑 戸籍寄留編

從來屆書の記載動もすれば缺陷あるを免れず其の形式亦區々に渉りて齊一を缺く、屆書の模範を掲示し其の樣式を一定するは刻下の急務にして從來の弊害を匡濟するの道之より先なるはなし。
本書は戸籍寄留事務に從事せる著者が之に關する各般の場合を細大網羅して模範的書式數百通を輯集し各之を懇切に説明したるものなり。

東京市京橋局 私書函第八號 帝國地方行政學會發行 振替東京一一六一三番

朝鮮京城長谷川町九十三番地 同朝鮮本部 振替京城一〇七五四

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

◀各巡査教習所教科書用▶

四版

警察講習所長 松井博士序

警察講習所元教授法學士 平賀周著

行政警察法

菊判全一冊定價金三圓二十錢　送料十八錢

本書は警察の意義分類等は勿論殊に保安風俗營業交通等行政警察の事を論ずるに頗る詳密を究む蓋し行政警察は趣味津々として眞に警察行政中の精華とも稱すべきもの而して歐洲戰後の今日に在りては此種行政の發展は最も時代の要求に應ずべきものなり。發行以來好評を博し茲に四版を發行せり。

五版

警察講習所長 松井博士序

警察講習所元教授法學士 松本學著

警察官用 經濟教科書

菊判全一冊定價金一圓五十錢　送料十八錢

本書は廣く初學者をして經濟學の何物たるかを知らしめんが爲めに經濟財政社會問題に對する概念を與へんとする趣旨にて著されたるものにして、警察官の教科書としては實に本書を以て嚆矢となす。各府縣巡査教習所にては擧て本書を教科書に採用され多大の好評を博す。

好評

警察講習所長 松井博士序

警察講習所元教授法學士 松本學著

衞生行政法

菊判全一冊定價金二圓八十錢　送料十八錢

本書は法律訓令通牒等苟も實務に關するものは悉く之を網羅し實に衞生實務家の好資料と謂ふべし近時保健問題は世界を通じ重大なる社會問題にして我邦の衞生行政も今や益〻重要なる地位を占むるに至れり此時に當り本書の出でたるは實に時の宜しきを得たるものと信ず敢て斯界の諸賢に本書を薦む。

東京市京橋局私書函八號

帝國地方行政學會發行

振替東京一三番

朝鮮京城府長谷川町九三

同朝鮮本部

振替口座京城一〇七五四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

司法省戸籍寄留先例全集

忽四版

司法省參事官
長島毅編

●菊判脊革製全一冊●定價金拾五圓●送料金四十五錢●

本書は市町村役場に於て戸籍寄留事務に從事せらるゝ諸士の爲めに當局が主任參事官長島氏にその編纂を囑され、一年有半を費して漸く完成せるものにて、勿論戸籍寄留に關する司法省訓令通牒及回答は一も漏さず類集し改廢變更に係る省議と雖も悉く之を掲載し、その變更及沿革を一見明瞭ならしめ、別に附せる事項索引は最も詳密を極め、加ふるに年次索引をも設けたるものにて、或る一小部分を登載せる世の類書とは全くその選を異にす。敢て直接事務に從事せらるゝ諸士に薦むる所以なり。

普及版發賣!!

各位の御希望もあり、實用を旨とし本文を六號活字に組み替へ紙數に於て約三分の一を減じ假裝とし茲に普及版を發行せり。

定價七圓九十錢――送料三十六錢

東京市京橋局私書函八號
帝國地方行政學會發行
振替東京一三番

文部省宗教局編

好評九版

宗教法規

菊判布製 全一冊 金三圓五十錢 送料（内地廿七錢 朝鮮四十錢）

本書には文部省宗教局主管に關する法令例規及之に關係ある判決例並所管外の法令地方廳及殖民地の宗教に關する規程中參考となるべきものを蒐集編纂せられたるものなり。

增訂六版

神社法令類纂

内務省神社局 野島勝七校閲 帝國地方行政學會編纂

菊判加除綴 全一冊 金三圓八十錢 送料内地二十七錢朝鮮四十錢

本書は神社に關する法令通牒等一切のものを登載せるものにて當局者の厳密なる校閲を受けたるものなれば正確なるは勿論加除式の装訂なるを以て永久活用す

東京市京橋局私書函第八號
帝國地方行政學會發行
振替口座東京一三

朝鮮京城長谷川町九三
同 朝鮮本部
振替口座京城一〇七五四

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

内務省土木局道路課編纂

忽四版

道路法令輯覽

三五判全一冊
定價一圓五十錢
送料內地十一錢

道路に關する法規は多岐にして複雜なり之が編纂又容易の業にあらず、本書は範を獨逸式に則り、勅令、省令、訓令、告示、通牒等荷も道路法の運用に關するものは悉く之を收め道路事務に從事する者の執務に便すると共に道路法制研究家の好參考資料たるべし。

內容大意

道路法、道路施行令、國道路線認定の件、道路に關する工事取締に關する件、道路法に依り橋錢又は渡錢を徵收することを得る橋梁又は渡船場設置に關する件、道路及其の附屬物の占用の許可又は承認に關する件、道路法第三十九條の規定に依る占用に關する申請手續の件、道路構造令、街路構造令、道路維持修繕令、道路工事執行令、道路管理職員制、道路法第三十三條第三項の規定に依る道路に關する費用負擔の件、道路公債法、道路費國庫補助規程、道路取締令、北海道道路令、道路會議議官制、道路元標に關する件。

附錄

道路法制定の沿革、道路會議答申

東京市京橋局私書函八號
帝國地方行政學會發行
振替口座東京一三

朝鮮京城長谷川町九三
同　朝鮮本部
振替口座京城一〇七五四

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

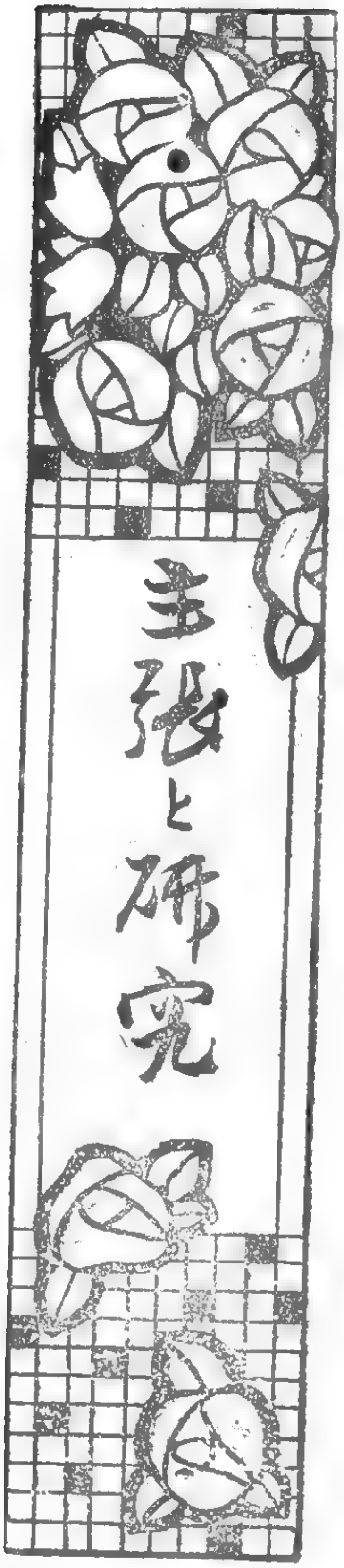
朝鮮地方行政　第二巻　第三號

面長の待遇

往年には相當の治績を擧げたやうに謂はれた各道の面は、李朝の威力失墜するに及び、漸く頽廢し、その末期には殆ど形骸のみを留めたに過ぎぬと唱へられたが、今は旣に過去のこととなつた。併合後は地方官制中に面長に關する規定を設け、鋭意面行政の整理刷新を圖りたる以來は、大にその面目を改め、歪みなりにも地方公共團體たる地歩を占むるに至らしめ、吾人をして未來自治行政の前途に心強く感ぜしめ、且今次奏任待遇の名譽を荷はれた面長各位の永年の功勞を多とし、將來愈健全なる發達を期待するのである。

由來奏任待遇なるものは、現制に於て餘り名譽とするに足らぬものである、勅任官や勅任待遇者が、ざらに製造さるる時に於て、苟も面を代表する面長を遇するに、官吏の最下級たる判任官を以てし、其の功勞ありて奏任待遇を受け得るものさへ、全數二千五百七人中の五十人に出ないのは、餘りにみじめで物足らぬ思なきを得ない。畢竟斯の如き缺陷の生ずるのも、言はゞ過渡の際一時の現象であるから、斯樣の規程は速に地方官制より引離し、面長を將來自治團體の首腦者として精神上にも物質上にも相當の待遇を與へたいと思ふ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



社會事業の根本的精神

文學博士　谷本富

一

社會事業の概念如何、即ちその慈善救濟や社會奉仕の相肖てゐて、而かも又相異なるところがあることは前に(本誌一月號)相應に委しく申述べて置いた樣な次第である。併しそれで以て只社會事業とは何かといふ事が分つた丈けでは、實は佛を作つて魂を入れざるの憾あることを免れなからう。そこで今回はそれを承けて更に一番、所謂社會事業なるもの、精神に就いて、根本的に研究して看やうと思ひ立つたのである。さてそれに就いて劈頭第一にお斷りして置かなければならない事は、這の社會事業なるものは、社會主義とは同

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一視されない樣にして貰ひたいといふことである。

抑ゝ今日社會的など〻人口に膾炙されてゐるものにも、詳に論じて行くと、ソシャルとソシャリスチックとソサイエチックとの別が儼存しゐることは、豫め承知してゐて貰はなければならぬとは、前回に於ても早く申し置いた通りである。そこで社會主義とは何かと云へば、それはソシャリスチックと呼んで、只單に漠然と社會を云々するのではなく、一種特別の限定せられたる意義がある筈で、一言以てそれを蔽はゞ物資の生産分配並に交易の諸手段を社會化せんとするものだと申して好からう。社會化は共有とか共通とかいふ事で、然かも斯う見た時は、それは全く經濟上の一主義であつて、今茲に謂ふところの社會事業とは、固より全然別な事であることも知れやう。否更に一歩を進めて夫のカール・マークス一流の社會主義となると、其處には又特に限定されたる徵候があつて、第一は無神論であり、第二は自由戀愛論を擧げることが出來る。然かもそんな事は、固より今茲に所謂社會事業とは、全然沒交渉であることは、喋々を待つまい。右マーキシズムの二大特徴の事は、ジユール・ゲスドの『社會主義問答』に據つたのである。(一)

尤も今日社會主義と呼び習はしてゐるものには、實は色々な種類があつて、一概に言ふことは出來ないだらうが、然かもそれは孰れも社會事業とは別物であることは、斷言して妨あるまい。今試に社會主義を分類して看ると、左の表の通りに三大別がある樣である、而しその中の第一門の下には、又三小別が設けられる。

- 社會主義
  - 國家的社會主義
    - 社會民主黨
    - フエビアン協會
    - 獨立勞働黨

―市町村的社會主義

―星雲的社會主義―(例)基督教社會主義

就中第一の國家的社會主義は、手取り早くはシドネー・ウエッブの『社會主義の基礎と政略』などを繙くと知られる(二)、その中には吾人の目的とするところは、各々身體堪能な人間は自治團體の奉仕に登錄し從役せしめんとするにありと見えて居る。これは一見すると格別差支ないらしいが、よく〱熟考して見ると、それて以て眞に地方民人の自治の本義に協ふかどうか、少々怪しくなる樣に思はれる。といふのは、此のウエッブ氏の意見は、素是れ平等といふ事を本としての立論たることは疑ない樣であり、然かもその平等說は實は官僚主義の劃一政治を惹起する傾があつて、自立自由の民人自治とは、自ら悖戾する樣に成るからである。この事に就いては、逈に米國コロンビヤ大學總長バットラー氏は善く言つてゐる。曰はく自然には平等などいふ樣なものゝあることは知らぬ。デモクラシーの基礎は自然のまゝの不平等である。而してその理想とするところは、最適者を選擇する事である。自由は平等よりは遙に貴いものである。而かも彼と此の兩者は相互に破壞するものであると。斯くして著者は『眞と僞のデモクラシー』を書いた(三)。否エッチ・ジー・ウエルヌ氏は又曾て『デイリー・メール』紙上に於て、斯かる國家的社會主義は、竟畢民人を奴隷の境界に置かんとするものであると公言して憚らず。而して若し倖に奴隷使役者が善良の性質であり、十分の適任者であればそれでも好からうが、只々切に憂ふるところは、彼等は概ね性質惡く、而かも不適任ならしい事に在ると云つたのを見た。これて國家的社會主義が、社會事業の規範とするに足らないことは分からう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

二

將又第二の市町村的社會主義と謂ふものは、前の國家的社會主義よりは、遙に小規模の自治體を目當として說かれたのである。市町村的といふのはコンミユナールを譯したので、それは實は固より大きな市などは、その中に這入るべきではない。これは丁度夫のコンミユーンを指して言ふので、コンミユーンは一町村の地方自治體に相應するものである。現に露西亞や西伯利では、彼處此處にコンミユーンとして、共產的社會主義が甘く行はれてゐる所もあるやうに聞いた。とにかくそれは大規模の地方自治體には實施し難いことは明瞭である。然り而して這の主義では、何處でも極めて亂暴の手段で、一切の政府を廢して仕舞ふとするものだから恐れ入る。乃ち夫のバクニンは神もなく君もなしなる一句を振りかざして愛國心を手きびしく非難し。凡そ愛國心などといふものは、確に一個の害惡なり、狹隘にして且不運なる習俗だと罵倒して居るのを看やう。これで第一吾儕の國家的生活は太だ覺束なくなるではないか。想ふに露西亞現在の過激派の如きも、その本は此に在るものではあるまいか……。

否這のコンミユナールの社會主義なるものを、さほどに恐ろしいものでないとしても、又それは極端に奔ると、一切の文化　拒否し、進歩どころか退歩せしめがちなので大に困るところがある。ウイリヤム・モアリス氏といふのは、近時英國で有名な美術家……詩人で、而かも社會主義者であつたところから、美的社會主義の主唱者などと云はれてゐる様だが、十三四年前に亡くなつた。生前の著述中に『地上の極樂』ぢやの(四)、『無何有郷からの新聞』などといふ奇拔なものがある(五)。その說くところは孰れも小規模の地方自治體

の人生々活をして美はしく且つ安らかなものとしやうとするので、一寸面白い樣だけれども、右申す通り是れも亦確に一切の文化を否定するもので、固より決して吾儕の社會事業の手本にはならぬ。

暫く試に『無何有鄕からの新聞』の方を一瞥して見やうならば、第一其處には鐵道などは少しもない。交通往來は只河渠に由る外はない。第二其處には工場もなければ、第三に何等工場市たるところはない、而して第四に其處には又一切の商業取引がないとしてある。然り而して改造の順序として、先づ第一に市街の家屋は全部改築せなければならず、第二には又住民一般に奇麗な衣服を着け、別して婦女子は美服を纏ふことが出來る樣にし、復勞働服などの汗染みた油によごれた着物は着なくて濟む樣に成るとする。

斯くて無何有鄕の政治區劃は、成るべく小區域に分かち、敎會を中心として、其處で集會を催すことゝし、外に對しては飽迄も萬國平和を旨とし、復相戰はず、否國內にても犯罪人には、寧ろ衷心同情して、復これを虐遇せず。殺人犯さへも固より死刑に處するなどいふことはしない。一言すれば、其處は無刑の國に成るのである。將又其處には發明などいふ事は、斷じて奬勵もせず承認もしない。折角の機械も亦皆破壞して仕舞ひ、只々手工で遣つて行くことにする。書籍も成るべく讀まない樣にし、科學も哲學も宗敎も一切止めにして仕舞ひ、只極めて少數の閑人にのみ學者として、昔の故事を取調べさすだけにして置く。無論學校などいふものは一つも設けない。但し讀んだり書いたりすることは、少數の者は能くするから、手紙などはすべて快く代讀代筆して貰へる。但し外國語を話すこと丈けは、成るべく廣く奬勵し、出來べくんば一人で數ケ國の語を繰る樣にしたいと云つて居る。これは全く萬國平和四海同胞の博愛主義から、賓客として遠來者を接待するに便せんとするものであるさうな。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

三

そこで又職業はといふと、それは銘々好きなものを勝手に選擇し、而かもそれも只好きな間だけ從事するので、嫌になつたらばいつでも勝手に轉業して差支はない。さて又その職業に必要な道具の類は、共有の道具庫があつて、其處に一切のものを藏めてあるから、銘々勝手に取り出して使つて好い。勿論不用の節は又直に返納しなければならぬ。特に這の無何有郷には、貨幣と名のつくものは一つもない。從つて又何等の拂といふ事もない。賣店へ這入つて行つて、只おくれと云へば、直ぐ渡して與れるから、何の面倒もない。尙且つ賣店には煙草や酒類もあり、煙草を求めると、立派な煙管をさへ添へて來れるといふのは、なか／＼風雅な事である。

這の郷では家屋も亦固より建てゝ與れるので、一所に定住の人々には、美麗で而かも最住み心地好い、所謂文化的住宅風のものを建てゝ與れ、又業務の都合で常に彼處此處に移動する人達の爲には、旅館の設備が行屆いてゐる。是れとても亦固より公營だから、何等支拂は要しない。凡そ一家の家事は老若一同皆娛樂としてこれに勤しみ、別に婢僕などいふ者は居ない。否年少の女も亦皆遊戯として、大人の手傳をするから、人手に不足はあるまい。然り而して道路の修繕なども亦郷中一同がこれに從事するから、敢て他から雇用するなどいふ事はない。

老人とか病人とかは、皆知友なり隣人なりが、喜んで引き受けて世話して與れる、即ちホームを與へ、看護萬端手落ちなくして與れる。又偶々或る家に子供が多い時は、他の子供の無い家や、有つても少い家て、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

快く引き取つて世話して呉れるから、些の心配はいらぬ。孤兒の事は固より贅辯を待つまい、否這の郷では結婚は全然自由で、再婚にも亦何等の制限は置かれてはゐない。從つて一旦結婚しても、嫌になつたならばたとへ澤山の子供があつても、さつさと捨て置いて出て行つて仕舞ふ。而して誰かと再婚しても、其處では一年間は試驗否試補の時期とし、その間に若し嫌であつたならば、平氣で前夫の家に復歸して差支ない。尤も其處に既に第二の妻が出來て居れば、それは成らぬ。現に一人の男はその結婚を申込んだ女に振られ、女は他の男に嫁して行つたので、失望の餘り、終に女敵たる他の男を殺しに出掛けた。ところが先方の男もさるものとて、自家防禦の必要上、件の男をあべこべに殺害して仕舞つた。併し斯樣に殺害はしたものゝ、何とも心苦しく、自身も亦やがて自殺しやうとした、否男ばかりか女も同じく自害して男の後を追はうと覺悟を極めてゐた。然かも隣人は毫もこの男の殺人を咎めず、却て有理の事だとして、色々親切に慰めて呉れたと云ふことで、この物語は大團圓と成つてゐるから面白い。

右は只ざつと梗概を申し述べた迄だが、それでも一通りはその光景を描くことが出來やう。**それは如何にも仙境に相違ない**。蓋し斯んな理想境の思想は、古來東西諸國にその例は少くない樣で、暫く西洋で言つて見れば、先づ希臘の古に於けるプラトンのレパブリックを始とし、近世になつてもベーコンやモーアなどにも色々の説がある。更に最近世の第十九世紀に入つてから、サン・シモンのものもある。されば右のモアリスのも亦その一例たるに過ぎないが、それは如何程仙境であらうとしても、吾儕人間の實生活には不向であり、その一切文化を排斥し去るところは、固より決して感心が出來ないとする。

尤もモアリスと同志の士で、雜誌『ザ・クラリオン』の主筆なるロバート・ブラッチフォード氏は、その後更

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に別に『魔術師の店』といふものを書いて(六) 前掲の無何有郷の記事に多少の訂正を施し、第一は科學は稍〻尊重すること、第二禁酒を旨とすること、並に第三には菜食主義て遣ることを主張してゐるが、それとても亦吾儕の所謂社會事業とは似ても似つかぬと云へやう。

四

さて然らば又星雲的社會主義と題したるものは何てあらう。星雲的とは英語のネビュラルて、日月星辰の未だ判然たる形狀を具備せざる前に於て、頗る渾沌たる狀態にあるのが星雲てあるとすると、社會主義らしくて社會主義てないのが、この星雲的社會主義てあると看て好いだらう。卽ち從來世間で基督敎社會主義と呼ばれてゐるものゝ如きはそれて、それには舊敎と新敎との別があり、これを英國にして見ると、キングスレーとかモウリスとか、隨分屈指の名士もある樣だが、又其處にジ・ダヴリユ・ヅ・タンツエルマンといふ人がある。このヅ・ダンツエルマン氏は理學士て、電氣學專門の技師らしいが、而かも舊敎の熱心なる信徒と見え、夙に社會改良に多大の抱負を懷いてゐるに拘らず、自ら基督敎社會主義者などゝ稱へられることを好まなく、卽ち基督敎社會主義など云ふは曖昧て星雲的てあるとして、これを避けんとするのてあるから妙だ。その事は『社會主義と呼ぶ迷信』といふ表題の一冊の著書を看るとよく分かる(七) この書は千九百十一年の出版て當時自分は逸早くこれを購入したが、未だ幾ばくならず京都帝國大學の敎授職を辭したので、これを講壇の上から批評するには及ばなかつた。それを今茲に再び取り出して參考にしたので、以上陳述したところも、主としてこれに據つたことを一言して置かう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

然り著者ヅ・タンツエルマン氏はその著書の表題の通り、社會主義をば一大迷信に過ぎずと看てゐるもので、開卷第一にカール・マークスの交換價値の學説を嚴批し、次ぎには又その資本論、それから階級戰の主張と、一々駁撃して遺さず。更に進んでマークス學説の哲學的基礎は、只是れ純全たる唯物論なれば取るに足らず。ヘーゲルもさる事ながら、フォイエルバッハや佛國一流の唯物論者の影響亦格別に廣大な樣であり、たとへ當初の目的は正しかつたにもせよ、唯物論の立場としては、どうしても無神論たらざるを得ず、宇宙進行の指導性を蔑視する樣に成つて仕舞ふのは當然である。然かもそれでは吾儕人文の進歩を説明し盡くすことは出來まい。

そこでヅ・タンツエルマン氏自身の意見はと尋ねて見ると、それは理性と經驗との道をば迴つて、それで以て社會的進歩を圖るものだと云つて居る。即ち社會主義ではなくて、社會進歩主義であると云ふのである。然り而してその社會の進歩は何に由つて出來るかと云ふと、それには實際三個の方法があると云へる。その一はソシアリテー即ち社會性で。その二は任意的組織、並にその三は立法だとする。そこでその言つて居るところを仔細に研究して看ると、詰り、第一に社會性と謂ふのは、ソリダリテー即ち聯帶責任論に近く、言はゞ勞資協調がやがてそれである。又第二の任意的組織と謂ふと、一寸聞いては陳芬漢の樣だが、それはコーオペレーション即ち組合の事だと解せば、忽ち明瞭であらう。而して第三の立法と謂ふのは、讀んで字の如く種々の立法に由る、ソシャル・ポリチックス即ち社會政策だと看ることは、敢て不當ではあるまい。さればヅ・タンツエルマン氏の所説は、社會主義に反對して社會進歩主義を標榜するもので、而してその所謂社會進歩は、一に勞資協調、二に産業組合、三に社會政策に由つて行はうとするのだと云へる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

五

斯ういふ風に説明して來ると、誰でも吾儕所謂社會事業の根本的精神とすべきものは、大小緩急色々の社會主義ではなくて、須らく這のヅ・タンッエルマン氏の所謂社會的進歩主義に於て求むべしとするに躊躇すまい。別して吾が官府當局の方々は、此に一大味方を得た樣な感じがするだらうと思ふと、時節柄一大功德を施した樣に覺える。然り而してヅ・タンッエルマン氏は他の社會主義者の唯物論を基礎とするに對して、其處には基督教に據る合理論を押し立てゝゐるのを見ると、佛教徒などは一寸逡巡するかも知らないが、併し社會事業の基礎を宗教の上に据えられるといふ一點では、彼等もともかく滿足せざるを得ない。卽ち同氏は天父の前には吾儕人間は皆平等一味なるべき筈との普通主義を根抵とし、それで以て四海同胞の友愛を主張し、然かもそれを實際に施すには、一に合理的たることを期す外ないとしてゐる。これも亦佛教の平等卽差別論から觀てゐたならば、大した異論はあるまいだらう。特に此の社會的進步の催進手段としては、何はさて措いても、先づ第一に人民一般の教育に待つ外ないとし、善良の教育に由つて、一面には自助の精神を發揮し、一面には自信の習慣を培養するが肝要だと云つてゐるのは、大に有難い。卽ち其處に一大論據として、羅馬法王レオ第十三世が千八百九十一年に頒布された該博且周到の意見書を譯載して居る。尤もそれは又別に「加特力教眞理協會」から一小册子として公にしてゐる樣で、都べて五十三頁もあるとすると、適に尊敬に値しやう。因に法皇レオ第十三世は、自分が第一次の海外遊學中、明治三十五年の春セント・パウロの宮殿て、その盛儀に參觀の好機を得、深く感激するところあり、從つて三十八年に遷化の訃音に接した時は、長

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

編の弔文を囑して『讀賣新聞』の日曜附錄に揭載したことがある。何はともあれヅ・タンツエルマン氏は又是れ一個の所謂基督敎的社會主義者で、前にも言つた樣に舊敎に屬するものたることは、明白である。知らず吾儕の所謂社會事業は、這の社會的進步主義卽ち舊敎的基督敎社會主義を以て根本的精神と爲すべきか否か。**斯く言ふ自分は社會事業の根本的精神は、如何にも進步主義であつて然るべし**と斷言する。これは曾て其の筋から自分を當代の名士と視てか、色々性行や思想さては交友などを、一々委しく問合はされた時にも、その通りに確答して置いたところである。只それは同じ進步主義でも必ずしも、ヅ・タンツエルマン氏のものとは一つではなく、それはいづれ他日詳論することとし、今玆には吾儕の所謂社會事業の根本的精神は、社會主義にあらず、社會的進步主義なることを一言するに止めやう。

尙ほこれと關係して自分は最近に、獨逸人ジーグフリード・マトイスなる人の『社會的國民的民衆主義』なる、一昨千九百二十一年刊行の一小冊子を手にしたことを申し置きたい。而してこの書物には又特に『經濟上の害毒なき社會主義』なる別名が附けられてゐる。これと云ふのも著者は元來デモクラシー即ち民衆主義者ではあるが、所謂ゾチアァールデモクラット卽ち社會民衆主義者ではない。社會民衆主義はカールマークス一流で、頻に階級戰を煽動するなど太だ宜しくない。凡そデモクラシーの三大標語の中でも、從來の論者は或は自由或は平等の上にばかり重きを置く樣だが、併し著書は寧ろ友愛の上に重きを置き、而して民族主義を本として國民的として行かば、一國民相互に和睦して、國運を挽回し發揚するに大に效があらうと云ふのである。卽ち著者はこれぞ社會的平和への順路で、獨逸國の健康回復の捷徑だと云つて居る。或は然らん。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

1. Jules Guesde — Le Cathechisme Socialiste
2. Sydney Webb — Basis and Policy of Socialism.
3. Butler — True and False Democracy.
4. William Morris — The Terrestrial Paradise.
5. ditto. News from Nowhere.
6. Robert Blatchford — The Sorcery Shop.
7. G. W. de Tunzelman — Superstition Called Socialism.
8. Siegefried Matheus — Soziale-Nationale-Demokratie.

社會生活の一考察

法學博士　穗積重遠

一

哲學の方に全體と部分と何れが先きかといふ問題があるが、全體がなくて部分があり樣筈がないから、部分より全體が先だと考へられるやうてある。そこて社會學及法律學の上ても、社會と個人と何れが先に存し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

たかといふことが問題となる。即ちこれ亦全體が先きか部分が先きかといふ問題である。以前は個人の一人一人が寄合つて契約で社會を造つたのだといふ風に考へられた。フランスのルッソーの有名な「民約論」がそれであつて、社會も國家も法律も個人間の契約で出來たものだといふ思想である。其思想が事實の上に現はれたのがフランス革命であり、又それが法律の上に現はれたのが一八〇四年に出來たフランス民法である。即フランス民法は個人本位の法律であつて、それが第十九世紀の諸國の民法の模範となつたのである。而して個人本位の法律は個人の權利を保護するといふことを根本として居る權利本位の法律である。法律が個人本位即ち權利本位であるといふことは第十九世紀の法律の特徴であつた。個人主義思想が盛んであつた第十九世紀に於ては、常に然るべき所である。元來個人主義は人間進化の上に於て必ず經なければならない一つの段階で、第十九世紀に於いて個人主義が盛に唱道實行せられ、それが法律の上にも現はれて來たと謂ふことは、當然な行き方である。併し人間は決して個人主義の上に立ち止まるものではない、更に一番高い所に上らなければならぬ。そして此の事は單に抽象的議論に於て斗りでなく、法律の實際に於いて之れが近來著しく現はれて來たのである。先づ民法と云ふ法律の根本原則となつて居るものが三つある、第一は權利絶對の原則、第二は契約自由の原則、第三は自己責任の原則である、此の三大原則は即ちフランス革命に發してフランス民法の根柢をなしたもので、第十九世紀に於ては絶對のものと考へられて居た。所が第二十世記に入つて之が少しづゝ壞れかけて來た。第一に權利が絶對無限なものかどうか、と謂ふ疑問である。例へば土地の所有權などは殊に絶對なもので、他人の侵入を許さぬ、それが殆んど云ふまでもないことゝ今まては考へられてゐた。併しさういふ風に考へては都合の惡いことがある。又所有權が果して夫れ程絶對であろ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

うか、其處に疑が生じて權利の濫用は權利でないと謂ふ原則が近頃段々認められて來た、我々の共同生活を害する行爲は土地所有權の不當な行使ではなくて、權利の濫用であると謂ふことになる。

更に今までは權利を行使するとしないとは權利者の勝手だと云ふことだつたが、それも權利の濫用ではあるまいか、何故ならば法律が或人に或物の所有權を與へるのは、其の所有者一人の利益の爲ではないのであつて、其人に其物を適當に利用せしむるによつて、一般の共同生活を圓滿にする爲めであると考ふべきではあるまいか。即ち法律の精神が個人本位から社會本位になつて來たのである。個人本位の思想では說明の出出來ない權利義務の關係が、社會本位の思想で行けば說明が出來るのである。例へば親が子に對する所謂親權の關係を見ると、親權は今まで考へられた樣に親の爲めに親に與へたものではなくて、子の爲に親に與へられたものである。子供の世話をすることは親が最も適當な地位に居り、而して親が子を養ふことは社會共同生活の爲に大事なことであるから、法律も親に其權利を與へたのである。それ故に親權は決して親が勝手をする爲めに親に與へたのではなく、親でなければ盡くせない義務を十分に行はせる爲に親に與へた權利である。子を親が自分の勝手にするのは即ち權利の濫用である。而して此の「義務を行ふ權利」「權利を行ふ義務」と云ふ考へ方は親權のみならず總ての權利に通じての法律の精神である。否今迄はそうでなかつたかも知れぬが、これからはさうでなくてはならぬ。元來家主と借家人との關係、債權者と債務者との關係、地主と小作人との關係、雇主と雇人の關係等を、仇敵關係に近いものゝ樣に考へたのが間違ひで、いづれも社會的共同生活者の關係として考へなければならぬ。斯くして權利絕對の原則が制限されて、法律が個人本位から社會本位になつてきたのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第二の契約自由の原則も、段々崩れかゝつて來た。商人は買手に高く賣る、買手は少し高いと思ふが必需品を買はぬ譯には行かないから買ふ。斯くの如き契約自由が果して正當であらうか、どうもそれには制限をつけなければならぬと思ふ。そこで物價の公定といふ樣な契約自由の制限の問題が出て來るのである。資本家と勞働者との契約關係に於ても、一方は經濟上の優越者である。他方は所謂其日稼ぎである。之れを對等の地位に置いて自由に契約をさせやうと云ふのが抑も間違つて居る。そこで勞働時間は八時間以内とか、賃銀は何十錢以上とか、即社會共同生活の爲めに契約の自由を制限しなければならないと謂ふ傾向が近來著しくなつて來た。

次に自己責任の原則に就て云ふと、例へば自動車が人を轢いて怪我をさせたとする、するとそこに損害賠償を拂ふべきものとすれば、誰に拂はせるか、先づ運轉手に過失があつたとする、今までの原則では、運轉手に拂はせるのが當然である。併し此場合運轉手に拂はせるのは出來ぬ相談でもあり可哀想でもある。やはり自動車の持主に拂はせたい、而し持主には過失はない。それにも拘らず無過失な自動車の持主に損害賠償責任を負はせやうと云ふのが近來の傾向である。持主は平常自動車の利益を享けて居るのだから、其損害も負擔せなければならぬと云ふのが其の原則である、即ち個人的過失責任から、共同生活上の損害負擔に變つて行くのであつて、こゝでも法律の個人本位から社會本位に移る傾向が現はれて居る。

斯て今日の社會本位と昔の團體本位とは少し違ふのである。昔は一人の酋長がその配下を從へて一團とな

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つて生活して居つた、さうして一人の生活よりも團體の生活に重きを置いた。これが卽團體本位で、外形に於ては今日の社會本位に似て居るが、併し其內容が大に違ふ、其構成員たる個人個人の價値が認められ、その個人の集合體であることが自覺されて居る今日の社會は無自覺盲從的な昔の團體と大に違ふのである。私が今玆に社會本位と云ふのは個人主義を一度通過した上で發達したところのものを意味する。昔の團體主義では個人個人は自覺しないで團體を作つて居る。今の社會は自覺したる個人の結合である。此の社會自覺は卽ち徹底した個人自覺である。其社會自覺の狀態に於ては、自分の人格も他の人格も十分に之を認め、それを合せて社會といふ一の大きな人格を作らうと云ふのであつた、それが今日以後の考へ方でなくてはならぬ。

三

人類の社會生活は段々複雜になつて來たもので、幾層にも段階をなして居る。先づファミリーがあり、市町村があり、國家があり、そして國際團體があるのであつて、各段階はそれ〳〵存在理由がある。否寧ろ斯う云ふ複雜な段階的共同生活をする樣になつたのが人類の發達であり、卽ち人の人たる所以である。卽ち互に國家を尊重し合ふ考の士々集合して世界的共同生活をするが今日の國際關係でなくてはならぬと思ふ。今日の世界に於いては各國家が孤立すると云ふことは出來ない、それは先頃の大戰爭が立派に證明してゐる。戰爭は忽ち世界戰爭となつた。平和を締結するにも、世界全體が寄り合はねばならぬ。卽ち世界は各國家を通じての全人類の共同生活である。一國だけが幅をきかせようとしても、それは出來ない。その出來ないことをしやうとするから大戰爭を惹き起したのである。私は戰前の獨逸に留學して居つたが、獨逸では學生がど

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ールを飲みながら盛んに歌を歌ふ、私は酒を飲まないが歌は一所に歌つた。唯だ何としても一所に歌ふ氣になれなかつたのが例の「ドイツ！　ドイツ！　世界の上、總ての上——」といふ歌である。あの歌はドイツ興國の歌であるといはれたけれども、今にして思へば、あれはドイツ亡國の歌だつたのである。我々は決して「日本！　日本！　世の上に」といふ歌を歌つてはならない。日本國が世界に於ける存在理由は世界を我物にする爲ては勿論ない。世界と共に圓滿な共同生活を爲さんが爲めに即ち益々人の人たる所以を發揮せんが爲めである。それは先づ一國內の共同生活を圓滿にして、それから世界共同生活の完成に及ばねばならぬ。何うかして我が國、否我が國のみならず世界の人類全體が本當に人間らしい共同生活をするやうになりたいものである。

朝鮮に於ける產業氣分の轉換期

朝鮮總督府
全羅南道知事　亥角仲藏

一

民智が幼稚であり、民度の低い地方に於ける產業の指導奬勵は、根本に於いて其の民智民度に伴つたものでなければならぬ。民智が進まず、民度が劣つて居るに拘はらず、これに不相當なる高い程度の施設、其の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

他指導奬勵の方策を以て濟むと云ふことは、害はあつても益は少いのである。朝鮮に於ける現狀は、槪して言へば民智が幼稚であり、又民度が低劣であると云ふことは否むことが出來ない、故に産業の指導奬勵も、これを前提として凡ての施設を講じなければならぬ。從來朝鮮に於ける産業の指導奬勵の方針は

第一、比較的實行の容易であると云ふこと

第二、其の事が餘り複雜でなく、單純であると云ふこと

第三、其の奏效が確實であつて、且つ近い期間内に於て其の結果の現はれると云ふこと

此の三つを要件とするのであつて、凡ての産業の指導奬勵も出發點を此處に置いて進んで來たのである。

併し乍らこの遣り口は、時に依ると却て豫期せざる結果と、又思はぬ惡影響の伴ふことを考慮せねばならない。即ち指導奬勵の局に當る者が、これを金科玉條として、さうして其の指導奬勵に當る結果、其の指導の當務者が矢張それで滿足するやうな傾きがある。是等の要件は産業に從事する當事者に對する要件である。然るにそれが、産業指導に從事する當務者にも適用すべき要件であるが如く考へる傾きがある。隨つて氣分の緊張を缺き、其處に油斷を生じて來る。民智が低く、民度が劣つて居れば、産業指導の當務者は、一層深い經驗と親切、周到なる指導と、又學術技能の絕えざる研究心の發動と、巧妙なる指導方法の工夫とに依つて、更に産業の開發進歩を圖らねばならぬ。然るに往々にして民智が低く、民度が劣つて居ると云ふことに油斷をして、さうして凡てのことがレベルを下げて、詰り指導者自身が自ら桁を下げて、當事者に濟むと云ふ傾きがないではない。これは大いに愼むべきことであると思ふ。又今一つは、當事者自身の奮發心を促進する上に於て、往々にして缺陷を生じ易いのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

前述の三要件は、極端に言へば民衆を低能兒扱ひにする弊に陷り易い。何時まで斯う云ふ扱ひ方で滿足すると云ふことは、大變な間違ひである。これは訓練し、指導して行つて、更に進んだ指導獎勵に堪え得るやうにして行かねばならぬ。産業の指導獎勵も、當事者が一般の民衆を餘り低能兒扱ひにすると、何時までも民度の向上を期することは出來ない。人間の健康狀態にしても同樣である。胃腸が弱いと言つて、消化不良を恐れて無暗に消化の良い食物ばかりを攝取する如きは、所謂退嬰的の療法としては善いかも知れんが、これては疾病を根治し、舊の健康狀態に還すことは期し難い。民衆に對する指導獎勵も、矢張凡ての困難に打ち勝ち、凡ての複雜煩瑣なことをも消化して行くやうに、これを訓練指導して行くのでなければ、遂には現狀に滿足して、彼等が自ら發奮努力するの氣運を誘致することが困難である。

凡て産業の振興に關する指導獎勵の基準は、矢張一般教育上の主義と同じやうに、注入主義に依るよりは啓發主義に依つて、民衆の自覺を促し、其の自發的の奮發心に依つて努力せしむると云ふことが最も肝要であると思ふ。徒らに他に依賴し、他から動かされて已むを得ず動いて行くと云ふやうな考は、當事者に有たしたくないものである。此の見地よりして、前に述べた三要件は、現今の民智に鑒みて、已むを得ず適用せらるべき一時的の手段であつて、永遠の目的…即ち理想ではない。民衆指導の局に當る者及び其の當事者の如きも、大いに此の點を考へて、互に相戒しめ、相促して現今の如き狀態に滿足せず、大いに發奮努力すべきである。是非斯かる低能兒扱ひの狀態から脫却して、眞の自覺に依つて發奮努力すると云ふ氣分を訓練し又各自互に其の覺悟を以て進んで行くことにしたいと思ふ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

二

產業の振興を圖つて行く上には、第一に如何なる困難、如何なる煩瑣なことゝても、進んでこれを爲し遂げて行くと云ふ覺悟が必要である。彼の農家の如き、其の生活を單一なる米作に依る收入のみを以て其の生計を維持すると云ふことは、凶作なり、又は米價の暴落等に依る危險から見れば、頗る警戒すべきことである。故に米作以外に於て、種々なる副業に依つて、其の單一なる收入を補ひ、萬一の危險に備へ、更に其の經濟を潤澤にすることが必要であらう。又米作の改良上種々實施すべき事柄も尠くない。或は選種、或は短冊苗代、或は正條植、施肥、除草、害蟲驅除、乾燥調製、其の他種々なる要件がある。是等のものは出來得る限り、洽く各要件を實行して行くと云ふ考を以て進むべきで、民度が低いからと言つて、其の中の一事項に二三年も費し、更に又他の事項に二三年を費して、其の確實な實行を期すると云ふやうなことをして居つたならば、各種の改良要項を全部確實に實行するには、數十年を費しても猶ほ充分なる結果を見ることは困難であらう。故に農家に對しては現今の如き指導奬勵の程度なり、又現今の如き農家の遣り口では、決して滿足すべきではない。これは當り前の遣り方でないと云ふ考を常に有たして行きたいと思ふ。

其の他、各種の產業の經營に當つても、彼等が複雜困難な事項にも、充分に堪え得て、又出來得るだけの實力を養ひ得るやうにして行きたいと思ふ。唯產業の指導奬勵には、素より奏效の確實なものを奬勵せねばならぬと云ふことは申すまでもないが、確實を期するの餘り、時勢の進運に後れるやうなことがないとも限らん。朝鮮の產業の奬勵の中、養蠶の奬勵に例を取つて言へば、全芽育の如きは、內地に於ては既に旺に行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

はれて、近來に於ては枝條育をも旺に試みられる時代にあるに拘はらず、尙ほ朝鮮に於ける養蠶業が幼稚であると云ふ理由の下に、三齡までの全芽育は許しても、それ以下の幼齡稚蠶には猶ほこれを危險視するが如き遣り方をし、又秋蠶種の如きも、內地の例に比較して種々有利な蠶種もあるに拘はらず、朝鮮に於ては白龍の一種に限るが如きが從來の行り來りになつて居る。是等業效の確實と云ふ上から言へば、從來は民度に鑒みて已むを得ぬことゝてあつたかも知れんが、奏效を顧慮するの餘りに時勢の進運に後れ、當事者の發奮を促す上に於て遺憾の點がないでもない。

次に、效果が早く、短い期間に現はれると云ふやうなことも、從來は必要であつたかも知れぬが、今後に於ては效果が目前に現はれて、又は目前でなくとも、短い期間に效果が現はれ得なくとも、永遠の利益の爲めに忍んで其の效果を俟つと云ふ、持久的の精神を以て事に當るやうにならんと、到底產業の振興發達を期することは出來得ない。

惟ふに、今や朝鮮の產業は、受動的進展時代より能動的進展時代に移るべき重要な時機に際會して居る。この過渡期に於ては、素より餘り理想に奔つて現實を沒却すると云ふことも戒心すべきであるが、又餘り此の現狀に拘泥して、永遠の利益及び時勢の進運に後れるやうなことがあつてはならぬと考へる。今や正に民衆の產業氣分は、一大轉換の時機に逢着して居るのである。宜しく眞の自覺を促して、さうして當局の指導獎勵と相俟つて、益々產業の改良及び進步發達に資して行かなければならぬ。此のことは獨り朝鮮の農業に就いてのみ言ふのではない、或は林業にしても、或は畜產にしても、其の他水產又び工業等、凡ゆる產業上の當事者の氣分を作興する上に於て、同樣の考を以て臨みたいと思ふ。（完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

諮問機關の運用

朝鮮總督府
內務局地方課長　石黑英彦

大正九年に地方制度改正の擧あり、道、府、面及び學校費等に諮問機關を設置せられたが、其の趣旨は所謂民意を暢達し之れに依つて官民一致の行政を實現せんとするにあるのであるが、一面將來實施さるべき地方自治制度の階梯として設置せられたものであることは周知の事實である。卽ち一は民意暢達の意味に於て一は依つて以て將來實現すべき、地方自治制度の訓練場を設けられたる次第である。

然るに其の後の狀況に徵するに概ね穩健なる發達を遂げつゝあるけれども、動もすれば設置の趣旨が徹底せざるやの感なきにあらず、現に坊間說を爲す者がある。此の評議會及び協議會なるものは、一つの諮問機關であるから、從つて諮問に應ずるのみであつて、何等議決の權能もなく、又意見を陳べても其の採否は理事者の自由にあるを以て、諮問機關なるものは殆んど無價値なりと言はねばならぬと。惟ふに此の論者は諮問機關の本旨を諒解せず、徒に其の權限のみに執着したるものであつて、未だ朝鮮の現狀を省察しての妥當なる說であると認むることが出來ぬ。

抑も諮問機關の施行を見たのは大正九年にして、本年は漸く第三回の會議を開始するのであつて、而して其の會員の年期も漸く第一期を了へんとするに止まるのである、謂はゞ訓練の初期を漸く終らんとするのである、されば諮問機關制度の風味を噛みしめて見るのが、現下に於ける最も大切な事なのである、眞味を得ず

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

してその可否を論ずるは、抑もまた早計たるを免かれない。又其の内容を見るに第一回の會議の際は地方や或る少數の人を除きては、遺憾ながら概ね會員は豫算の内容に就いての審議或は其の會員としての職責等に對する理解が甚だ乏しかつたと云ふても宜しいのであつた。從つて豫算の諮問等に就いても、唯理事者の説明を聽取したるに過ぎなかつたのであるが、第二回目に當つては、稍々意見や希望など陳べる者あるに至つたけれども未だ地方全般の實狀に通じ、一道、一府、一面の大局より論じて、永遠の對策を講ずる點に於いて、研究の不十分な點も多く、經驗に乏しく、理想に走つて、實狀に遠ざかり、民力を考慮せずして、徒に形式などに囚はれると云ふ缺點もあつて、其の意見や希望にしても採用せられざるものが多かつたやうである。之れは畢竟するに、諮問機關は議決機關になる前提として設置せられたのである。即ち訓練の時代に於ける練習場とも認むべきのである。故に練習時代であるから、從つて其の意見なり希望なりが、常に悉くは採用されるものでないと云ふことは、當然と考ふべきものであると思ふ。然るに之れを以て、今日に於ける諮問機關は殆ど無用の長物であるかの如くに言ふのは、餘りに諮問機關の使命を認めざるの議論であり、餘りに其の價値や運用の妙法を考慮せざる一本調子の議論と言はなければならないと思ふ。

吾人は次ぎの如くありたいと思ふ。即ち會員でも亦理事者でも、相互協調を保ち、相互に常に深く研究を遂げて、お互に根據ある意見を有つて、地方行政上の萬事を諮問し、又諮問に應へると云ふやうな狀態になることが必要であると思ふ。今日假りに諮問機關を構成して居る會員が、目下の制度の下に充分の訓練を積み、以て漸次第二期、第三期を迎ふるに從つて進んで各種の研究を遂げ、又各種のことに意見を樹てて、其の經驗が積むならば、自から期せずして、理事者と意見を一にし、或は其の意見を理事者が採つて以て豫算

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

上に之れを實現することが出來ると思ふ。斯くして諮問機關の意見が、即ち一切の豫算上に現はれたならば、何等議決機關と其の實際の效果に於て差異はないのてある。之れが即ち諮問機關の運用の妙のある所てある。

諮問機關が漸次健全なる發達を遂げて、その實際の運用に於て、議決機關のそれと異ならざる境地に入りたるときが、則ち決議機關に轉化すべき時てあるから、諮問機關の運用並に諮問機關の發達は、斯の如くありたいと思ふ。故に理事者及び諮問機關の會員、又一般地方の人士は冀はくは諮問機關に對して、斯の如き考へを有つて臨まれんことを希望するのてある。

次ぎに諮問機關に對する地方人士の態度を觀察するに、設置當初は諮問機關に對しては先づ傍觀的の態度てあつたと思ふ、否な寧ろ多數者は無感覺の樣てあつたとも見らるゝ程てあつた。之れは實は本機關の內容が十分に理解されなかつた結果てあつた。然るに最近に於ては地方人士は評議會員、協議會員に對し地方の各種の問題を訴へるやうになつた。夫れて會員を地方開發に對する先導者として之れを遇するが如き傾向を馴致し得るに至つた。之れは畢竟ずるに諮問機關に對する地方人士の信頼の度が加はつたものと思ふ。從つて諮問機關の會員たる者は其の地方民の信頼に對して大に自重し、以て今後の諮問會に臨まなければならないと思ふ。

此の諮問機關の會員の價値に對する一般社會の認識は、軈て美望の的となり、今後に於ける選擧等に就いても、大に注意を要すべき時期も近く招來するてあらうと思ふ。

惟ふに朝鮮に於ては古來黨派的の闘爭が激烈てあつた、今後と雖も亦選擧等に於ては激しき爭ひを爲し、

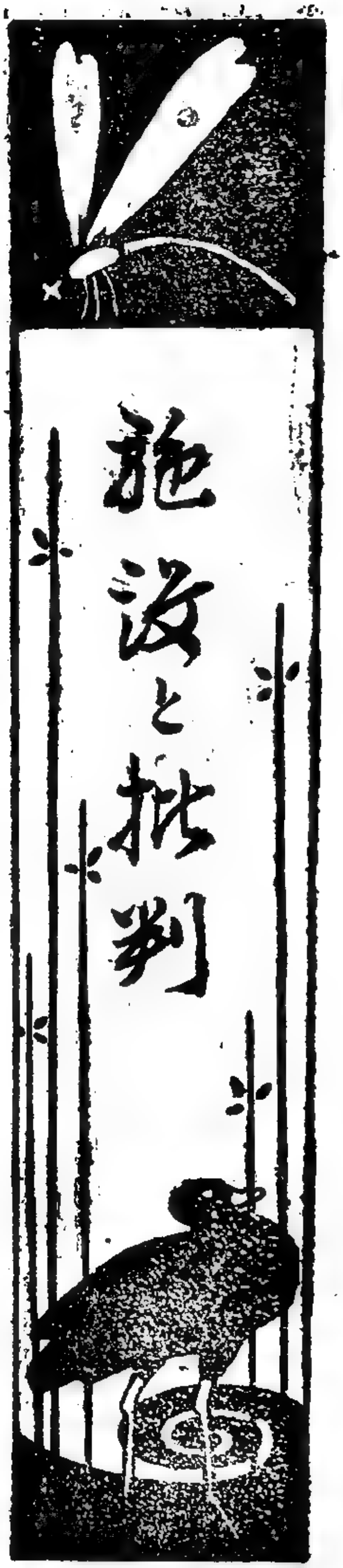
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

又他方の利害關係からして、黨爭の弊を增長するの虞れなしとも限らない。故に本件に於て注意すべきは、斯の如き弊風が決して諮問機關を通じて惹起せざるやうに、諮問機關の本質、地方團體生活の本旨等に就いて、深く地方人士の良心に訴へ置くことが、必要であると同時に、又將來第二の地方の中堅人物となる者に對しても、之れが敎養を怠らざるやう、今日より心懸けて置くことが必要であると思ふ。差當り本年末に行はるべき各種の選擧に就いては、最も公明正大の心持を以て、優秀なる人格者を選擧し、選擧せられたる者は宜しく赤き清き心を有つて、公平無私に其の職責を全ふするの心懸が必要である。

畢竟ずるに此の諮問機關の發達の如何は、朝鮮に於ける地方行政の振否に關する問題であつて、軈て朝鮮の地方自治制度の實施期の遲速を測定し得る晴雨計である、と言はなければならないと思ふのであるから、之れが發達に對しては、官民共に眞面目に努力しなければならぬと云ふことを切實に感ずる次第である。(完)

大戰中獨逸は潜航艇戰に沒頭して、遂に大敗を招いた。今度佛蘭西のルール占領は、第二の潜航艇戰ですよとは、佛蘭西の態度に憤慨するものの短評である。但し佛蘭西が惡いばかりとは云へまい。一體獨逸が餘り狡猾だからいかぬとの說もある。佛蘭西として見れば、是れなら安心と思つて、平和條約を結んだ處が米國は破約して逃げ出す。荒廢地の復活はせねばならぬ。荷物ばかり背負はされて、惡口の一手引受所となつて居ては、隨分腹が收まるまいてはないか。——リテラリ・ダイジエスト

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



咸北雜話

前朝鮮總督府
咸鏡北道知事　齊藤禮三

咸北と云へば、餘程未開地であつて、野蕃人が多く居るやうに考へて、同地に赴任でもする者があれば、水盃で別れを告げて、去ると云ふやうな譯であるが、來て見れば大した變りはない、住めば都である。

咸北は朝鮮各道中人口は一番稀薄であつて、住民は概ね農業に從事をして居るのであつて、農家には皆牛を飼つて居る。朝鮮全道で牛の數の多い事は一番であると思ふ。一戸平均二頭位である、併し咸北は御承知の通り耕地は極く少ないが、土地の面積は廣いので、各農家は耕作を餘りせずに牛を飼ふ、即ち家畜業を爲して經濟に資せんとして居るのである、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

夫れで我々當局としても茲に着眼をして、家畜業の奬勵と云ふことに重きを置いて居るのである。夫れであるから、朝鮮牛として內地などに移出されて居るのは、大概咸北產であると云ふても過言ではないのである。

　夫れから種牛の改良と云ふことゝであるが、一體に朝鮮は牛の性は良いのである、併し南朝鮮の方は何程か種牛の改良すべき點はあるかも知れないが、北の方は必らずしも人工を加へた所の牛を種牛とする必要を認めて居らぬ。唯我々の恐れて居るのは獸疫である、咸北內の之れが豫防に就いては、夫れ〳〵保管をして注意を爲さしめては居るけれども、豆滿江を隔てたる對岸の間島地方は、少しも此の點に留意する所がないのであるから、どうしても此の方面から流行をして來る。殊に冬季結氷に際しては、氷上を自由に交通することが出來るものであるから、殊に獸疫が多い。夫れであるから今度總督府に此の旨を上申した所、總督府に於ては之れを諒として、間島領事に交渉を爲し、領事よりして支那官憲に交渉を試みて、漸く夫れが成立し、對岸では獸疫の豫防を本年から着手したのである。之れが確實に施行せらるゝやうになれば、即ち病源地の病源を撲滅さすことになるのであるから、洵に結構なことであると思ふ。

　次ぎは農作物である。咸北は先にも一寸話した如く、農業は氣候、人口等の關係上、實に幼稚であるが、併し段々人口が殖えるに從つて、農家も增して來るので、漸次改良をされ、本道農產物の大宗である所の大豆は、頗る立派な物が出來るのである。殊に城津、雄基方面から出來る物などは頗る優良なものである、夫れであるから今後大に種々なる方面に向つて、耕作上に對して改良を加へたならば、より以上の優良品を產出することが出來ると思はれる。殊に清津港の築港にして竣工したならば、同地

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

方は一層開發されることとてあるから、一般住民は政府の執りたる方針に對して深き感謝の念を抱いて居る次第てある。

今大豆のことを話して思ひ付いたが、大豆を入れて內地即ち大阪地方に移出するのは、北部地方は麻袋が主てあるが、南部即ち城津地方は多く叺てある。從來私の道は氣候の關係上稻の耕作は出來ないのてあるから、百姓は冬季の四、五ケ月間と云ふものは、燃料を得る關係から、段々と山を荒すと云ふやうな問題をも起すのてある、然るに我が道の南部に稻の植付を爲した所が、割合に良い物が出來た、其の藁を以て冬季に叺を製造すれば、冬季中の副業としても面白いことであると考へて、私が前任地てある南朝鮮の某地から、二名の朝鮮人を招聘して其の藁を示めした所、『大變良い藁てあつて、大豆を入れるには勿論、穀用としても大丈夫てある』と云ふたので、早速に叺を製造して、大豆を入れて內地に移出をした所却々其の成績が良いのてあるから、叺の出來る南部の方は勿論、北部地方迄も講習を爲しつゝ叺製造、即ち冬季に於ける家庭的副業として奬勵をして居る。百姓等に於ても此の奬勵の意味を諒解して居るから、行々は我が道のみならず、道外は勿論支那方面に道叺の輸出をしたいと思つて居るのてある。

次ぎは養蠶業てあるが、之れも却々成績が良い、中部以南即ち道の南部などは、相當な成績を示めして居るから、今後大に奬勵をしたいと思つて居る。北の方は先にも云ふた如く、耕作其の他に不適當な點もあるが、南部は割合に氣候も良い、又人口も多く、耕地面積も多いから、今後の努力如何に依つては大に望みがあるのてある、唯冬季が長いので山を荒すのてある。夫れて年々山が赤裸になつて行くやうな譯けて、此の度築港に就いて問題になつて居る清津港なども、淸津港の背に在る天摩嶺と云ふ山か

ら砂が押流されて港灣を埋め、非常に工事が困難を來して居るのである、此の山を荒すことを禦ぐには養蠶が良いと思ふ。夫れで今後は大に養蠶業をも奬勵をしたいと思つて居るのである。

次ぎは民心であるが一般に朴直で敦厚である。唯北に浦鹽が在る關係上一部分の者と交涉が深いから、却つて北部の方は或意味から云ふと開けて居るのであるが、國境方面は割合に女學生などが中々多いのである。之れは浦鹽に近い爲めに、浦鹽方面との交通が早く開けた關係から、敎育と云ふことにも目覺めたのである。殊に女が敎育を受けると云ふことに目覺めた點などは、却つて此の北部國境の部落が各道よりも早かつた位である。

豆滿江の向ふは支那領で、却々問題の絶えない處であり、殊に今度白軍が赤軍に敗けて一部が元山に、又或一部は間島から我が鮮內に入るなど云ふ時で、一時は却々の騷ぎであつたが、遂に白軍も來ずに終つたと云ふのは洵に幸ひなことであつた。

全羅南道產業の大勢

前朝鮮總督府
全羅南道內務部長　佐々木正太

本道は朝鮮の最南端に位し其の廣袤東西六十四里、南北八十四里、全面積九百方里で、東は蟾津江を以て慶尙南道に界し北は全羅北道に隣り西は黃海を距て支那山東江蘇の兩省に相對し、南は濟州島を擁し一葦帶水九州と呼べば應へん指呼の間に在り、東經百二十五度、西經三十三度より三十五度に亘り

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

氣候甚だ溫和て關東地方と相伯仲して居る、東北部慶南全北の道界は山嶽重疊地勢稍峻嶮であるけれども、榮山江其の他の河江縱橫に流れ平野連りて舟揖の便、灌漑の利に富み、地味概ね肥沃で農耕に適し、沿海は所謂多島海と稱せられ風光明眉なる千八百有餘の島嶼を抱擁し、海岸線の延長實に二千六百餘浬に達し朝鮮全海岸線の約三割二分を占め良港亦尠くない、且つ海運の便克く開けて本邦有數の漁場漁港隨所に散在する等地勢上及地理的關係上、或は農産に水産に或は林産に工産に各種産業發展の素質海陸山河到る所甚だ多きを認むるものである。

然るに遡りて總督府始政以前の狀態を回顧すれば斯の如き他に比儔稀なる天惠地福も之れを運用利達するに由なく、爲に産業萎微荒廢し交通、運輸、敎育、衞生、警備に徵するも將た財政經濟に顧みるも洵に萎縮不振、何等の見るべきものがなかつたのである、然るに日韓併合後爾來歲を閱する正に十一星霜、今尚創始の期を脫せずと雖、新政の基礎漸く鞏固なるを加へ諸般の施設經營愈々進捗し産業の發達、敎育の普及、治安の維持、衞生機關の充實、交通運輸の進展、地方制度並文物の改善等庶績彌々擧り山川草木亦容姿を改め面目を新たにし、積年の誅求に疲憊したる民衆等しく德化和平の慶に浴し、頓みに其の富力を增進して同仁の惠澤將に全道に洽からんとしつゝあるのである。

卽ち本道産業の狀勢を觀るに、主要農産物たる米は始政當年たる明治四十三年僅かに百十萬石に過ぎざりしものが大正十年に於ては二百十萬石に倍加し、麥は七十九萬石より百六十九萬石に、陸地棉は六十八萬斤と云ふ些少なる數字より一躍三千三百萬斤（十年は作柄不況にして前年に比し約三割を減じた）の多きを産し、家蠶繭は千石より一萬一千石に十餘倍し、畜牛は四萬頭より十二萬頭に、漁獲高は百二十三萬圓より六百九十四萬圓に、又工産物は百

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

六萬圓より實に五千七百萬圓の多額に激增し、耕地面積の如き亦二十四萬町步より四十一萬町步に達するの盛況を顯して、爲めに山麓、河邊、干潟等拓かれ饒沃美田と化し、荒廢裸禿の山岳亦革りて美裝を呈し、茫洋たる多島海の遺利は啓かれて遠く內地は勿論諸外國の食膳を賑かし、改良全南移出米は內地優良米に伍して何等遜色あることなく、陸地棉は本道特有の物產て其の品質の優良なる、數量の多額なるを以て知らるるに至つた。

斯の如く本道は併合以來各種生產業の發達、生產力の增進は實に著しきものあり、爲に地方經濟甚しく伸暢し大正九年世界的財界變動の影響を蒙り尠からざる打擊を受けたけれども、尙概して圓滿なる發達を告げ順調なる進展を呈したのである、即ち始政以來の各種生產額を比較對照せば左の如くであつて、近年財界甚しく不振を告げ價格著しく下落したけれども尙大正十年の總生產額は一億八千四百餘萬圓て既往十一ヶ年間に於て實に一億五千六百餘萬圓の激增を示し六倍五分餘に達したのであるが、之を一戶當に見るに八十六圓なりしものが四百六十六圓に、一人當十八圓のものが九十四圓に累增し、何れも五倍以上に增加したのである、之を以て本道住民の富力を增進し經濟を伸暢したる程度を窺知し得るてあらうと思ふ。

生產額累年比較

年次	農業	林業	水產業	工業	鑛業	計 生產額	計 指數
明治四十三年	円 三〇、七三六、三二三	円 四、八五二、六二一	円 一、四四五、五〇六	円 一、〇六一、〇〇〇	円 調査材料なし	円 三八、〇八五、四三九	一〇〇
明治四十四年	三六、一〇四、九四一	五、〇三〇、一九七	一、八一八、七四〇	一、五三四、〇〇〇	—	四四、三二六、八八八	一二三
大正元年	三四、三五〇、七三八	五、一三七、五六九	二、二三六、七六六	一、四四〇、〇〇〇	—	四四、一四七、〇五七	一二八

大正二年	三〇、〇五〇、三四〇	三、二六八、六七一	四、三三六、六〇八	二〇、八〇六、三一七	—	四〇、七八四、三九九	一四五
大正　年	三二、六〇五、三三三	三、三四九、九三一	三、三五九、一二一	二五、三五〇、〇三七	—	四四、一一七、六〇一	一六四
大正四年	四〇、三八五、六九八	三、四四九、九三一	三、[illegible]、一〇一	一七、四〇一、六六七	—	四五、九六一、三八七	一六四
大正五年	三六、三四三、八三七	六、三三九、一〇五	四、三三一、三二一	九、三七五、〇九五	—	三五、八七三、三四八	一九六
大正六年	四九、二二一、八〇五	六、三九八、八七五	五、三四一、九三一	一四、九九四、一八六	六三、六一八	七六、四二一、四〇五	三二三
大正七年	七九、四四七、〇四七	六、三九六、八七五	六、八七一、九六五	三六、三四八、六六六	九七四、三四五	一四〇、三六七、〇三三	四六四
大正八年	一三五、六七六、[illegible]	九、八一五、[illegible]	九、八四〇、三〇五	七〇、六三五、八二五	一一七、九三五	三四四、〇八一、四六六	八六九
大正九年	一二五、九三八、〇三五	四、九三一、三六〇	七、六六六、七三七	四九、三九七、八四五	三三五、八四七	一六六、一六一、八三〇	三九二
大正十年	一二五、六三四、八九七	三、〇四三、六三〇	八、三八五、三九六	三七、〇七六、九九四	八七、四八五	一八五、一三六、六二〇	六三六

備考　各業種別の生産額增加を明治四十三年を一〇〇とし指數を以て之を示せば左の如くである。

農業	林業	水産業	工業	鑛業	計
四三九	一〇四	三三五	三、六六〇	一二八	三六二

又一面産業の發達に伴ふ購買力の增進及交通機關の整備に基く輸移出入貿易額の增加したることも見逃し得ざる現象であつて、之れを大正四年に比するときは其の總額に於て同年一千百四十八萬圓（出超三百十二萬圓）なりしもの、大正十年に於ては四千二百六十餘萬圓（約四倍にして同年出超五百六十七萬圓）の多きに達し三千百十萬圓の增加を示し、爲めに道內の商取引高亦逐年累增して大正十年の如きは約八千萬圓の多額を算するに至つたのである。

顧つて交通機關の狀態を見るに、始政當時に於ては本道廳所在地たる光州より、本道に屬する南鮮屈指の都市たる木浦府に到るにさへ七里の行程を輿又は馬背を以てし、更らに榮山江を舟揖の便に據らねばならず、況んや奧筋地方又は京城等の遠距離に旅行せんか其の日程旬日又は數十日を要するの狀況であつたが、今や湖南線は木浦を起點として道の中央部を東西に貫通し、大田に於て京釜本線に聯絡し、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

南朝鮮鐵道は湖南線松汀里驛より分岐して本道中央部を北東に貫通し馬山驛に達して京釜本線に聯絡すべく、既に松汀里光州間開通し光州潭陽間は目下工事中であつて、別に湖南線榮山浦驛より分岐し、海岸地方各地を縫ふて慶南河東に到り、前記鐵道に聯絡すべき全南鐵道は目下敷設出願中である、且一二等道路は勿論三等等外の各道路亦殆んど完成し諸巒累々たる嶮阪の地と雖も自由に馬車を通ずるを得べく、朝郵、大阪商船其の他の汽船は沿海各地を縫ふて寄港し、各島嶼との聯絡昔日の面影を存せず、且つ又光州を中心とする自動車網は乗合營業線路三十六線路、總延長三百九十三里、其の使用車輛七十八臺て陸地部府郡廳所在地にして其の開通を見ざるなきに至り交通運輸の便、日を追ふて啓け曩昔の人肩馬背を想起するに難からしむるに至つた、斯の如く海陸運輸の便克く備はらんとし、爲めに各種の産業は益々勃興の機運を促進し民力の增進、經濟の伸暢顯著なるものあらんとするは、古來本道を指稱して朝鮮の寶庫なりと許せられたる名に背かざる優秀なる成果を收め得るも遠き將來に非ざるべきを想はしむるものであつて實に欣ばしき現象である。

叙上の如く本道の地たるや、地勢其の他の關係上幾多の天惠地福を有するに拘らず、未だ事業の企畫遲々として振はざるものありて所期の成果を完全に收め得ざるの憾みあるは、蓋し今尙此の實情廣く世に知られず事業家資本家の着眼到らざるものあるに由るものと認められ實に遺憾に堪へない次第てある、然りと雖も本道は氣候溫和、地味肥沃、稼穡豐穰水簇豐富且つ交通の便開け住民比較的溫順敏捷なる等各種の事業を企圖すべく、多大なる地福天惠を保有し幾多優越せる地步を占め、全く朝鮮の豐庫にして今尙海に山に陸に河に多大なる遺利を包藏し、之を運用利達開拓すべく多くの未發の事業あるのみてなく、甚だ絕好なる地勢及原料を有するを以て聽て

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

財界の安定を見、且つ此の實情世人に知悉せらるゝに於ては殖林に、開墾に、灌漑に、漁業に、畜産業に、鑛業に、工業に、各種の事業翕然勃興し企業界の活況を呈し、延いて商取引の般販金融界の盛況を期待し些かも疑ひ容れざる所である。

朝鮮に於ける社會問題（承前）

朝鮮總督府
內務局社會課長　矢島杉造

山陽道は非常に人口が稠密て、北海道は稀薄である。朝鮮は南の方は割合に人口が稠密てありますが、北西朝鮮方面は非常に人口が少ない、て南の方は割合に人口が多いと云ふ關係から、農業者は內地に工業勞働者として出て行かうとする傾向がある。朝鮮は北の方面、西の方面が農業上の人口を要求することが急てある。南の方ても或る一つの部分、例へば不二興業會社て作つた郡山の片隅地などは小作人を要求して居る状況てある。然るに他方ては工業勞働者と

四

第三、經濟上の原因に據つての惱、此の中に農業の問題工業の問題商業の問題等がありますが、先づ農業の人口の問題を申上げます。

朝鮮に於て重大なのは農業の人口問題、之れは農業だけてはないかも知れませぬが、併し此の問題は二つある。朝鮮には農業の人口が極めて不平均、之れは朝鮮に於ける許りでなく、內地もそうて四國とか

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

して內地に向つて出て行くと云ふ一つの流れ、北西の方は農業者が居らぬ。……居らぬと云ふては語弊がありますが、農業に從事するものが足らぬと云ふ狀況でありながら、滿洲、西伯利亞方面に農業を求めて出て行く者がある。

之れは國內に於て要求して居るに拘はらず、國外に出て行くと云ふことは、朝鮮に於ても少し調節したら、國外に出ずに濟むのでないかと思ふ。國內の人口調節と云ふことが、朝鮮に於ても必要であらうと思ふのであります。內地等は殊に此點が劇しい。北海道などは朝鮮より却つて遲れて居る。人口なども朝鮮より稀薄の地方があると云ふことを聞いて居るが、夫にも拘はらず內地などは非常に稠密な處がある。朝鮮は夫ほどでもありませぬが、農業上の疎密があつて、其の間が巧く行つて居らぬと云ふ缺陷がある。

夫から地主小作人の問題でありますが、之れは其缺點は地主と小作人の間に溫味が少ない、小作期間は一年で更改せられるものが多くて、五年十年と小作期間を決めて、小作させると云ふことが行はれぬ。從つて小作契約が餘りないと云ふことが、朝鮮の小作問題の一つの缺點である。夫から朝鮮の小作問題には舍音と云ふものがあつて、地主と小作人との間に介在して、小作人を苦しめる、農業上の改良も意の如く行かぬと云ふことになつて居ると云ふ所の問題が一つある。

小作料の料定問題も舍音などの爲に色々の困難を起して居る。此の方面に相當改善せられねばならぬ點が多いやうでありますが、今までに此の方面に具體的に行はれたのは、忠清南道其の他二三の道に於て舍音の爲めに、舍音講習會と云ふものを開いた。夫から各道に地主會と云ふものを拵へて、地主をして小作人を愛護すると云ふことをやらして居るが、未だ具體的の効果を上げたものはない。成るべく私

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は地主相互が自ら自覺して此の方面の解決をしたらと思つて居るのてあります。又小作者も成るべく多く耕して、成るべく多く收穫を上げるやうに努めねばならぬと思つて居る。

之れは普通の考へてありますが、其の他に見逃すべからざる問題が一つあると思ふ。夫は何てあるかと云ふと、朝鮮に於て地主と小作人とが假りに折半して收穫を分けると云ふ前提の下に議論を進めると、朝鮮は一反歩に就て籾にして二石穫れる。地主と小作人とは半々て、地主が一石、小作人が一石、此の一石の計算をどう云ふ風に評價するかは議論があるてありませうが、大正九年から過去十餘年間、京城に於ける平均の籾相場を調べましたが、夫は十九圓幾らと云ふ年がある。又四五圓位になつて居る年があります。さう云ふものを平均して結局八圓六十錢てす。今日は過去十年を見たら夫より高くなつて居ると思ふ。十圓以上だらうと思ひます。そこて籾一石十二圓と見て、小作人が一反歩を耕作するとに依つて一石の籾即ち十二圓の收入があるとします。朝鮮て平均して各農家て、平均に於て耕す反別がどれだけあるかと云ふと一町三反歩、多少違つて居るか知れませぬが約一町三反歩、其中六反歩の畓、七反歩の田、六反歩を耕して十二圓の六倍、七十二圓の收穫と假定します。大體一反歩を耕すにどれだけの勞力が要るか、內地は一反歩を耕すに種蒔の初めから、二三回除草して收穫して了うまて二十六人の勞力が要ると云はれて居る。一人てやれば二十六日かゝると云ふことてあります。之れは內地の百姓て朝鮮は正確な數字はありませぬが、夫より少なく見て良からうと思ひますが、併し田舍の百姓は餘り能く働かん人が多いのてありますから、從つて先づ働き方が少いものと見て、內地と同じく二十六日に一反歩が出來るものとして計算しますと、一反歩に就て二十六日働いて十二圓の收入があるが、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

此の中に或は種籾代、肥料或は農具の償却代と云ふやうなものは小作人が出すものとして、夫れが約二圓、結局一反歩に就て十圓、十圓を二十六日に割ると三十八錢何厘　一日三十八錢何厘の勞銀を取つて居ると見て差支へない。さうして農家一戸にどれだけの勞力があるかと云ふと。確か一軒に一人八歩位の勞働可能者があると思ふ。一人八歩の勞力を三百六十五日に乘ずると、約七百日で六反歩の畓を耕す爲に約百五十日、七反歩の田を耕すことに依りて約百日、之れは七反歩でありますが、田は一反歩を耕すに二十六日は要らん。先づ十五日でありますから七反歩で百日田畓兩方を合せて農家は二百五六十日の仕事があります。さうして農家は約七百の勞働能力を有つて居るから、四百日か四百五十日と云ふ日は空になつて居る。此の二百五十日の耕作をするに一日に對して三十八錢何厘と云ふ收入がある、さうして其の他の日は、先程も申しました通りに、朝鮮には餘り田舍に於ける小さい工業、或は副業が多くないので、都會の近くは、私共調べた所は色々な副業……勞働に出ることも出來る。又一般農家に都合の良いのは、松を切つて町に賣りに出す。地方に於ては叺とか、筵とか、草鞋を造ると云ふことを奬勵して居る處もありますが、都會地に近くない朝鮮の農家は四百日か四百五十日の空の日を埋めることが出來ない。勞働が餘つて居る。

爰に於て前に言つた怠らなければならぬ者が出來る。さうして小作人は働く日に於て三十八錢何厘の收入を有つて居るが四百日位は收入の無い日がある。凡ての生産は經濟の原則に依つて、資本と企業と勞力と云ふ三つから出來て居ると云はれるが、朝鮮の小作人はどう云ふ位置を有つて居るか、地主は唯資本を提供する、小作人は勞力を提供する。さうして利害の負擔危險の負擔は多く小作人がやるのであるから、企業は小作人がやつて居ると言つて良い

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と思ふ。若しさうしたならば企業の危險を負擔して、勞銀として三十八錢何厘と云ふものを貰つて、其の外企業利得は何もなく四百日と云ふ穴を有つて居る。之では小作料問題を考へても問題にならぬ、收穫全部を小作人が取つても、現時の狀態では小作人が食ふことの出來ぬのは當り前である、故に私は朝鮮の小作問題は地主と小作人の分配問題よりももう少し土地の收穫を上げて、一反步に二石穫るもを四石なり或は五石なりまで上げて行く生產經濟の問題を解決せなければならぬと云ふ事を大いに考へなければならぬ思つて居ります。もう一つ是等の人に農閑の日を充分利用する途を拓いてやらなければ、朝鮮の小作問題は解決出來ないぢやないかと思ふて居る、是は私個人の考であります。

農業は此位にして、工業でありますが、工業は大したものはありませぬ。隨て大した問題はありませぬから省略致しまして支那人勞働者の問題を一寸述べます。

此の支那人の勞働者は何んても正確な數字はありませぬが、二萬か三萬の支那人が勞働者として朝鮮に入つて居る。夫が爲めに朝鮮の勞働者が多少壓迫を受けると云ふので色々の問題を起して居る。先程もお話した通りに支那人勞働者は滿洲に於ては十錢て生活し得ると云ふことですから從つて滿洲では一日の賃銀三十錢でも三十五錢でも働く。朝鮮では支那勞働者の一日の生活費約三十錢かゝる相でありますが、矢張六七十錢位で働く、又夫以下でも働き得る條件を具へて居る、而して勞働者として勤勉であり、賃銀の安いと云ふ點から、朝鮮勞働者に比べて企業家の方では使ひ易い、夫が爲めに常に多少の壓迫を感じて居ると云ふ狀態て、何とか支那人勞働者の問題を研究せねばならぬと云ふことも言はれて居るが、併し翻て考へて見ると、朝鮮の農民の滿洲に行つて働いて居る人間は、實に三萬や四萬でない、公

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の調べても七十萬、八十萬の人間が居ると言はれて居る。

而も之れは滿洲に土著して居る人々である、支那の苦力は朝鮮に來て働いて居る者は大抵山東苦力でありまして、働いて得た金を貯へて山東に歸つてお嫁さんを貰ふと云ふ出稼移民であります。朝鮮からは土着した人が向ふに多數入つて居る。彼等は困つて居ると言はれるが、さう困つては居らぬ人も多い。支那人とも相當競爭して行ける程度に儲けて居る人も澤山ある。少數の支那の苦力が朝鮮に入つて來て朝鮮の勞働者の邪魔になる。而かも出稼人であつて、一度は歸ると云ふことが、滿洲に於ける朝鮮人農民等と比較すると、餘り大きい聲で言ふことは出來ないぢやないかと思ふ。勿論朝鮮の勞働者は、支那人のやうに生活程度を下げることは出來ないと思ひますけれども、成るべく彼等と調子を合はせて行けるやうに生活の節約をやつて行くより仕方がない。餘り彼等を排斥はするのは却て不利に陷りはせんかと云ふ氣がするのであります。

夫から物價の問題は、最近の問題でありまして、玆で申上げる迄もないから之を略し、又住宅問題等も是は朝鮮特殊の問題と云ふわけでもありませぬから略します。

經濟に原因するものは之で終りまして、特殊階級の問題是は朝鮮で言ひますと、白丁のことでありますが、之は內地では部落改善とか、色々特殊部落の改善の意味で努力せられて居り、朝鮮でも將來さう言ふ問題が、世間の重要な問題として起きて來るてありませうが、幸にして朝鮮には僧侶と云ふものが、隨分慘じめな特殊階級とされて居りましたが、解放されて今日は僧侶は特殊階級でないことに見られて居る。斯う云ふ前例もありますから、出來るならば私は白丁と云ふもの等も特殊階級として見なくて、成るべく普通の者として見るやうな時期を朝鮮に早

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

く來さしたい。內地のやうにあゝ強く穢多と云ふ特殊の者と云ふ觀念が出來て了ふと却ゝ困難で、今日の中に早く之を解放する。……解放すると云ふのは決して規則で解放することを云ふわけでなく、世間一般の人がさう云ふ頭で以て對して貰ふと差支へない。さう云ふ風に諒解を進め行くことを希望するのです。

第五、衛生の問題、之れは朝鮮の內で一番大きい問題である。世界各國とも人口增加の問題で惱んで居る。人口の增加率が次第に減ると云ふことは、生活問題等の爲に姙產婦の保護が出來んと云ふことから兒童の死亡率が多いことに原因する場合が最も多い。朝鮮に於ても兒童保護、姙產婦保護と云ふことに就て、色々の方面に於て研究を進めて居るが、根本的に始末が出來兼ねるのは朝鮮には產婆が足らないことである。朝鮮人の產婆は全部で三十人しかないのであります。

でありますから、姙產婦の保護をやろうとしても、一寸出來兼ねる、殊に田舍には產婆がない爲めに、隨分悲慘な產の仕方をして居る。死なんでも良い者が隨分死ぬ。京城でも私の知つて居る總督府醫院の產科のお醫者から聞くと、朝鮮人で以てお產をしに病院へ來るのは、必ずこぢらして如何とも手の付けやうがないやうでなければ來ない。夫は產婆がないから適當な注意を與へることが出來ぬ。社會事業として此方面に……姙產婦の保護をしやうとしても、保護する丈の根本施設を有つて居らぬ。朝鮮でも一般に產婆を利用する頭を進めて行くと共に、產婆の養成に努力する必要の大なることを認められるのであります。お醫者もさうであります。醫者は都會地には相當居りますが、田舍には良い醫者がない。之れは朝鮮の田舍の人から聞いたので、事實かどうか保證の限りでありませぬが、各郡には畜產の組合があつて、牛や馬の立派な醫者があるが、どうも立

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

派な人間の醫者がないと云ふ。さう惡い醫者許りでもありますまいが、醫者の數が如何にも足らぬ、病氣をしてもかゝることが出來ぬと云ふことを聞かされます。衞生上の社會施設としては朝鮮では一般に衞生思想が低いのと根本組織が充分でない爲め缺陷が多いのであります。

此他行旅病人の救護方法等に於ても、考もありますが茲には省略します。以上で大、朝鮮に於ける社會事業の目的として居る所の事項の大略の標題だけを悉しましたが、唯各方面の將來の研究、諒解の資料を供したに過ぎないのであります。御諒解のしにくい點があるかも知れませぬが、斯う云ふ方面に於て、朝鮮の社會の惱が隨分多く存在すること、此惱と云ふものを少なくするには、社會事業をやる人の頭が進むだけでなく、一般の人の理解が進まなければならぬ。一般の人の頭が進むことに依つて朝鮮の惱が少しづつでも取除くことが出來たら幸である。此意味に於て各方面の有力なる人々の理解を進めて、さうして進んで此社會の惱みと云ふものを取除いて行くことを希望する次第であります。（完）

國民の納税思想涵養に關する一考察

朝鮮総督府屬　三木清一

（一）

從來國民の納税思想の普及發達を圖る爲に各種の施設が行はれ、相當の效果を歛め來つたのであるが、輓近時代思潮又は經濟組織などの變遷に伴ひ、更に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

根本的且文化的施設の下に納税思想向上の新機運を促進し、國民をして財政上に於ても亦大に邦家の隆運に貢献せしむる所がなくてはならぬ。元來國民が租税を負擔することは、交換又は報酬の觀念を離れて犧牲的に出捐する慈善行爲ではなく、國民の共同利益の爲に必要とする共同一般の費用を、共同支辨するに外ならない。唯吾々は其の共同利益の程度を計數的に觀測したり、又は之と他の利益とを計較打算することは出來ないが、安全且幸福に共同生活を營み得る斯の一事のみを以てするも、國家より受くる共同利益の如何に大なるかを察知することが出來やう。何人と雖之等の事實に面して居る以上、其の利益を肯定せざるを得ない次第である。國民は國家より直接に共同利益を受くるの外、更に間接の利益を蒙つて居る。蓋し國家は一の大なる消費經濟主體であるから、國家が其の財政の運用を爲すに伴ひ、一般經濟又は金融市場抔に、好影響を齎すことは決して鮮くはなからう。從て國民は公正なる租税の賦課を受くると共に、速に納付の義務を履行して、國家の財政を鞏固確實ならしむることは、直接又は間接の利益を受くる點より考察し、歡びこそすれ、納税を拒否嫌忌する理由もなければ、事情もない筈である。所謂租税滯納常習者であつても、此の筋道を理解會得するに至らば、恐らく欣然として納税するに至るであらう。併し之は稍ゝ理智的に、國家と國民との間の租税關係を觀察したる所であつて、國民個々の狀態に於ては、或は特殊なる經濟事情の爲に、租税の負擔難を稱へる者もあらう。無智無理解なるが爲に、納税を拒否するに至る者もあらう、其他各種各樣の事情に由て滯納する者があるであらう。之等に對して悉く租税分配の理解を得せしめ、納税義務を履行せしむることは、決して容易の業ではない。他の想像だもせぬ苦心を要するのは正に斯の點である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（二）

國家が租税の賦課を行ふことは、敢て國家の機關のみの利益を擁護せむとするのではなく、一に國民共同の利益の増進を圖り、且之が保全を行はむとするに外ならないことは、論を俟たない次第である、從て租税の應能提供は、納税者の利益であることを實際的方面より、切實なる方法を以て會得せしめて、納税觀念の普及發達を圖り、國民をして納税思想向上の一路に誘導することは當面の急務であり、又國家百年の大計であると思ふ。時代は今正に武力より平和に推移したが、今後帝國が列國に伍して財政上優者たる地位を占め、大に施設經營の歩道を進め得るや否は、一に國費を分擔する國民の納税思想の振否如何に基因する所である。吾々司税の局に在る者は、帝國の地位と國民の共同利益とに鑑み極力納税思想を振作し、以て皇國の隆昌に貢献せねばならない。

國民の納税觀念發達せず、納税思想向上せざるに於ては、徴税に關する凡百の施設も其の光を放つに至らない、自然税政上に於ける永遠の收穫を期し得ないこととなるであらう。而して納税思想の振否如何は、税政上の重要問題であると共に、一面國民教化の立場より觀て亦重要問題である、從て納税思想の普及發達を圖る爲には、税政當局者と他の關係當局者と互に提携連絡を行つて、適應の施政を講ずるの要があるだらう、而して一日も早く租税不納の逸民なき理想境を實現するに至ることを祈念して已まない次第である。

（三）

納税思想涵養の方法にも或は當面的なるあり、根本的なるあり、或は消極的なるあり、積極的なるあり、或は單に慣行傳統に由るものもあれば、時世と

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

民智とを對象として極めて實際に適したるものもあるであらう。現今に於ける一般鮮人の民智を水準として、納稅思想の涵養を企つゝ上に於て、活動寫眞の利用などは正に其の一策だと信ずる。此の趣意の下に昨年十一月に於て活動寫眞の映畫を作成することを計畫し、概ね左に掲ぐるやうな要領の下に實行に着手するに至つた。(映畫の長は約二千尺とし上下二卷に別つこと)

一、內鮮兩地に於ける國稅及地方的租稅の種目を比較して表はすこと。

二、內鮮間の擔稅額を比較して表はすこと。

三、朝鮮に於ける農產物の增加と、國稅負擔額の消長とを比較して表すこと。

四、朝鮮に於ける租稅收入の逕路と、之が主要使途とを表はすこと。

五、普通學校に於て納稅の義務及手續教授の實景を表はすこと。

六、納稅する人の日常行爲及表彰の光景を表はすこと(實演)。(恒產なき鮮人寡婦が數名の家族を扶養し、貧苦の中にも尚每日納稅貯金を行ひ、租稅は必ず納期內に完納せるが爲、一節婦として表彰せらるゝに至る實景)

七、納稅せざる人が、滯納處分を受けむとするに至る光景を表はすこと。(實演)
(富豪なるに拘らず納稅せざるが爲、終に滯納處分を執行せらるゝに至ると夢みたる實景)

八、民間の納稅施設を表はすこと(實演)
(二十戶內外の鮮人部落に於て納稅組合を組織し、每日納稅預金を行ひ、納稅告知書の送達を受くるや、總代は組合員全部の納稅手續を行ひ納稅濟の標旗を掲揚せる實景)

此の映畫の中劇的實演を撮影する爲に、昨年の十二月一日に僚友T君と共に撮影技術者二名、男女優十名同伴て、開城に出掛て行つた。而して先づ俳優

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

をして「民間の納稅施設」を實演せしめ、亞て「納稅する人」、「納稅せざる人」を實演せしめて撮影を行つた。實演の場面を撮る爲には、諸種の準備を要し、意外の時間を費したるのみならず、何分納稅と謂ふこと抔に不慣なる俳優が多い爲に、此方の期待する所作や表情が現はれない、此の爲に自分達も相當苦心を費した、尙「納稅せざる人」の場面に至ては、其の背景の場屋を借りるに當つて、仲々交涉が容易ではなかつた、色々談合の結果、漸く短時間であればと云ふ條件の下に、寫眞することが出來た次第である。

去月の初旬に映畫原版が出來上り之が試寫を行つた、此の映畫は今後各地の御希望に基き復寫を行ひ、其の實費(約四百十圓)を以てお頒ちすることが出來ることと爲つて居る。既に忠淸南道、全羅南道より其の申込に接した次第である。此の映畫を公開して汎く觀覽せしめた曉に於て、一般の批評や感想や、殊に其の效果が如何であらうかと思つて居る。何分朝鮮に於ける最初の試である爲に、不十分なる點もあるであらうが、之を基礎として、又は參考として、更に考案改良を加ふるに於ては將來大に利用せらるるに至るであらう、而して今回の企が、最初の一投石としては相當役立ち得ることゝ信じて居る。

此の寫眞映畫は、納稅思想涵養の爲の根本的施設の一資料として、是非道其の他適當なる機關に於て之を備付け、公民敎育、社會敎化、地方靑年團指導、納稅講話等に利用せられ、以て納稅思想の向上を圖る新機運を促進することゝ致したいと思つて居る。

此の寫眞映畫を作成するに當つて、開城郡の山崎郡守、佐久間財務課長、佐藤庶務課長、能川勸業課長、財務課の諸君及遠山高陽郡財務課長等より大に援助して頂いたのであつて、玆に御厚情を深謝する次第である。(丁)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

法令と資料

自治の開發訓諫

去月十一日紀元の佳節をとし各縣とも其縣下に於ける優良團體、地方改良功勞者等を表彰せり、今是等の中に就きその二三を摘記す。

石川縣美郡大杉谷村

村は北陸線粟津驛を距る東南二里餘に位し、丘岡起伏の間梯川の原流大杉川を挾み、南北五里十四町東西二十八町に亙り、面積一方里二にして大杉外六箇字を包有す、明治二十二年町村制實施に際し、赤瀬外五箇字を以て瀬谷村を置き、大杉を以て大杉村を置きたるが、明治四十年兩村を併せて現村を成せり、大杉川は其の水源を鈴ケ嶽に發し、村內を貫流して金野村に入り、本流に合す、各部落は概ね此の流に沿ふて點在せり、されば舊瀬谷村に屬せし一部を除く外平地に乏しく、田二百三十四町畑三百六十四町山林九百七十七町を有す、大正十年末の現住戸數七百七十七、同人口男千九百三十人、女二千二十七人にして現住戸數は年次幾分の増加を見つつあり。

住民の業態は、農四百七十三戸工百二十五戸商百五戸其の他七十四戸にして、農業は全體の六割を占むると雖、耕地の少なきと山林面積の多きとに依り、多くは製炭製材養蠶等を兼ね、且季節を限り縣外各地に出稼して製炭業に從事する者多く、作業の配合勞力の分配宜しきを得たり、生産は農產年額二十三萬八千八十五圓にして、內食用農作物は米二千七百三十六石を主とし麥、粟、蕎麥、大豆等の補助食糧を合せ十五萬圓に達するも、概して村內

に於て消費せられ尙幾分の不足を見つゝあり。特用農作物は大麻の三千八百二十五貫を除く外特に見るべきものなし。

然れども養蠶は桑園の適地多きと、他に據るべき好箇の生業に乏しき爲にや、古來其の飼養普及し、殊に近年に至り村に專任技術員を置きて之が指導に當らしめつゝあるを以て、最近益々進步發達し、飼育戶數五百十八戶に及び、產繭額七百九十六石價格三萬八千六百一圓に達す。林產は木炭、用材、土石類を主とし年產額二十二萬六千三百二十七圓に上り本村生產の大宗たり、工產は年產額七萬四千四百六十二圓にして、內疊表眞蓙は村內に栽培せる藺を原料とし、製糸も亦村內の產繭を原料として行はれ共に近年著しく發達し、其の將來を囑目せられつゝあり。

一般村風民俗に至りては住民夙に醇朴の美風あるを以て聞え、協同心に富み、且公共的精神の旺盛なるは他に類例を見ざる所なり、是れ或は地僻遠なる爲四圍比隣の接觸稀なるに依るべしと雖、近時教育上の施設よく整ひ、住民の智識程度復た往時の比に非ず、殊に青壯年者に在りては、冬季縣外遠隔の地に出稼する者少からざるに拘らず、毫も方今の浮薄なる時代思潮に動かさるる者を見ざるは、全く本村住民の特性として推賞せざるを得ず。

右の如くなるを以て村政に關しては其の村會を初めとし、一般村民に至りても一致協力して當局者を援助するの眞實あり、從つて當局者には每に其の人を得、古くは町村制實施の當時より近くは村廢合の際に於けるも、一致團結して專心村治の發展努力、交通產業教育及民育等に付着々施設する所ありしが、今や治績大に見るべきものあるに至れり、就中全村民の精神的に融合せること、及公共心の發露の顯著なること並次代村民の教養に徹底的努力を拂ひ、着々實效を收めつゝあるが如きは諸種の事實に之を示し和氣藹々たる氣分の全村に漲れるは特に本村の誇とすべき所なり。

淺野不加之

石川縣能美郡白峯村長

明治二十七年九月助役に擧げられ、同三十一年八月村長の職に就き、以て今日に及び、勤續二十八年克く其の職司に精勵せり、人と爲り、剛毅沈實にして推讓の德を具へ、思慮周到恪勤誠實公務に鞅掌して、苟も私心を交へず、操守尙に端正の士なり、夙に村治の發展に意を用ひ其の職務に對するや獻身的の努力を吝まず、故を以て部民の信望極めて厚く、指導克く行はれ諸般の治務着々其の效を奏しつゝあり。

助役の職に就くや、時の村長を輔佐し克く其の任を盡したりと雖も當時村內は二派に別れ軋轢甚しく容易に拾收し能はざる狀況なりしかば、村長其の任を退くや復た其の後を襲ふ者なく、村內の有志者鳩首凝議の末、這般の難境を匡ふ者氏を措て他に之を求むることを得ずと爲し、交涉數次に及びたる結果遂に其の懇請を容れ、明治三十一年八月現職に就けり、村長に就任するや先づ吏員の養成訓練に努むると共に事務の改善を圖り、他面村會議員をして村治に關し一切の私情又は黨派的感情を棄てしめむることに努むると共に、專ら村治の眞相を一般村民に周知徹底せしむること

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

とに意を用ゐたるか、其の熱誠遂に部民を感化するに至り、比年ならずして衆心一に歸し、教育、産業、交通等各般の施設經營序を逐ふて進展を見るに至れり。

事務の澁滯不確實なることの村治に及ぼす影響の大なるを察し、其の取扱を簡易にし處理の敏速を圖るの緊切なるを思ひ、而して之に處するには執務諸般の準備を整ふるに如かざるを認め、明治四十二年役場執務年鑑と執務便票とを作り、同四十四年更に現住者に對する人別身元票を案出し、諸般の調査に之を活用し大に便益を得つゝあり、同村事務の整然たる蓋し之に負ふ所大なるものありと謂ふべし。

教育の振興發達に關しては最も意を用ゐ、學校と校外との連絡、教員と村吏員との接近に注意し、就學の普及、學校設備の充實、補習教育の振興等何れも實績を擧げつゝあるが、就中出作地教育施設に付ては特に顯著なるものあり、即ち村は峰巒連亙の間に位置し、夏季住民の一部は住家を距る數里の山間溪谷に入り燒畑農業を營むが爲、子弟の一時通學し得ざるもの百六七十人に及べるを以て、其經濟に付苦慮すること年ありしが、明治四十年縣より出作地教育奬勵基金五百圓の下付を受け、夏季三箇月間各出作地に於て巡回授業を行ふ計畫を樹て、之を村會に議りしに會議は之が實行を疑懼し容易に決せざりしも、附議三回終に容るる所となり、明治四十二年より之を實施したるに豫期以上の成績を擧げ、爾來之を繼續し來りしが、大正六年に至り定期分教場七を置き、其の校舍及教員住宅を建設し、玆に全く出作地教育の設備完成を見るに至れり、而して之が爲就學の歩合は著しく向上し、嘗て學童百人中僅に七十人内外なりし就學者數は、一躍して百人に上り現在尚不就學者は僅に不具者一名あるに過ぎざるが如き、本施設に負ふ所甚大なり。

土地僻遠にして交通機關の不完全なることの地方の發展を阻礙する大なるを以て、道路改修の急務なるを察し、就任以來縣に白峰往來の改修を請ひ、一面軍隊の爆破及交通演習を求めて、岩壁を破碎し、以て改修工事を容易ならしむるに努むる等奔走惟れ努め、尚白山往來の改修は大正元年以來村に於て其の工を進め來り、今や兩線路共數年を出でずして其完成を見むとしつゝあり。

村財政の基礎を鞏固ならしむる一に基本財産の造成に俟たざるべからずと爲し、夙に村基本財産及學校基本財産の蓄積條例を設け、明治四十三年別に學校基本財産蓄積規約を定め、村民の出生婚姻、入學卒業、宗祖家祖の年忌法會、其の他慶事ある場合に相當記念寄附を爲さしむることとし、爾來實施しつゝある外明治四十四年部落有林野の整理統一に際し、山林八十町歩を村有に移し植林條例を設けて、爾來該土地に杉、扁柏、落葉松等併せて約二十三萬本の植栽を了し、大正九年度更に殘餘の部落有林野の整理統一を行ひ、新に四百町歩を村有に移したるが、之に對しては公有林野官行造林法に依り植林を行はむとし、着々計畫を進めつゝある等村將來の財政に對し確實なる保障を得るに至らしめたり。

納税に關する一般部民の思想極めて幼稚なりし爲、其の成績從つて不良なりしを遺憾とし、明治四十一年一村を區域とする納税貯金組合を組織し、更に之を五十二の小組合に分ち組長を置き、貯金の勵行と怠納の矯正とに當らしむることと爲し、且一面熱心

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

民思想の普及に努め、數年にして全く完納の弊風を一掃し納期内完納を見るに至らしめたり、其の他産業の奬勵、青年團、婦女會の指導等諸般の施設何れも實績を擧げつつありて村行政事務の成績毎に良好なるもの、之畢竟氏の挺身努力に努めたるの功與つて多きに居らずんばあらず。

石川縣鹿島郡中島村長　米谷義松

明治三十九年九月選ばれて村長となり、再選今日に至り、勤續十六年克く其の職司に精勵せり、人と爲り溫厚篤實にして部内に於ける信望厚く、一意專心克く、自治の啓發に力を致し、其の功績の見るべきもの尠からず、村は地質の關係上水質極めて粗惡にして、飮料水は勿論雜用にも供し難く、僅に村の北端御館所在の共同井に依り、農村の多數は其の需要を充たし居れるの狀況なりしが、其の水量乏しく夏季降雨なきこと旬日に及べば忽ち涸渇するの不便あるを以て、遠く山麓より竹管を埋設して引水し、漸く之を飮用に供したるに過ぎざるの狀態なり、村民は不良なる飮料水を使用して健康を害し、傳染病發生の原因をなしたること尠からず、玆に於て水道を布設し清淨なる水を供給するは、啻に衞生上焦眉の急たるのみならず、經濟上大なる得策たるを考慮し、明治四十二年の頃より水道布設の計畫を爲し、四十四年八月之が設計を完了し、大正元年九月認可を經て工事に着手し、工費總額壹萬千七百參圓を以て、大正二年五月其の竣成を見るに至れり。

爾來村民は僅少の使用料を以て、清淨なる水を自由に使用し得らるゝに至り、其の幸福誠に筆舌のよくすべきにあらずして、氏の功績實に大なりと謂ふべきなり、村の耕地は田畑綜錯し、各筆の面積狹小に過ぎ。區劃形狀相異り耕作道路及灌漑排水の溝渠亦屈曲甚しく、爲に耕作運搬上の不便、灌漑水の損耗排水の停滯等、農民は徒に勞力と時間とを費すこと多大にして、且灌漑水の分布の宜しきを得ざるを以て、夏季降雨少き候には農民は互に灌漑水を得むとして相爭ひ、所謂水喧嘩は到る處に演ぜられ、延て村民相互の親睦を害し村治上の一大障碍となりたること屢なりき。

又排水停滯の爲濕田となり收穫を減少せし箇所も尠からざりき、故に此の不便不利を除去し、生産を増進するは耕地整理を斷行するに如かずとなし、百方奔走の末明治四十三年八月中島村耕地整理組合を設立し、自ら之が組合長となり、今や殆んど確定の整理工事を竣成せり、面積七十九町八反に及び從來の弊害を全く一掃するに至れり。

村は從前より納稅成績極めて不良にして、就中村稅の如き大正九年度内迄は納入額納期僅に二割乃至三割に過ぎざりしを深く遺憾とし、大正十年度を一轉機とし、區を單位とせる納稅區を設け、極力成績の向上に努めたる結果、成績頓に進歩し今や將に納期内完納の好成績を收めむとしつつあり、村は從來より約六十町歩餘の林野を所有し居たるも、殆んど荒廢に近き狀態にありしを以て、前任村長の頃に於て村の基本財産として植林の計畫を樹てたるあり、氏村長の職に就くや其の意思を繼ぎ極力植林に努めたる結果、既に植栽を完了したるもの十四町五反六畝歩に達し、將來の收

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

益財產として蓄し好個の財源たらむとす、其の他青年團婦女會の指導、產業の奬勵等諸般の施設何れも其の實績を舉げつゝあり、蓋し氏が多年精勵の功大に多とすべきなり。

石川縣羽咋郡河合谷村長　大澤幸三郎

明治三十五年三月選ばれて、村長となり、再選今日に及び、勤續十八年克く其の職司に精勵せり、人と爲り溫厚篤實にして謙讓の美德を備へ、人に接するに德を以てし、一意專心公共の事に任じ操守洵に端正なり、村は山岳を以て圍繞せられ、道路險惡にして交通甚だ不便なりしが、人智の發達を期せるは一に道路の改修にありと爲し、村の樞要道路たる字下河合より河北郡津幡町に至る二爲往來の改修に着手したるも、河北郡との境界に峻嶮なる坂路あり、其の工事甚だ困難なりしを以て一時隧道を穿ちて、漸く交通せるも、其の狹隘許ならずして潰落せるを以て、大正五年之を開鑿して車道となし、交通の利便を圖らむとし、縣費の補助を仰ぎ大正八年に至り漸く工事の竣成を見るに至れり。

村は各部落何れも山間に僻在し、入浴を得るの機會甚だ少く、個人衞生上憂慮すべき狀態に在りしを遺憾とし、明治四十四年先づ字上河合に於て經費五百餘圓を投じて共同浴場を設置し、區民をして隔日に入浴せしむることゝし、一面各部落に對しても之を奬勵したる結果、今や五箇所に設置を見るに至り成績頗る良好なり、部落有林野を村に移し以て村治の圓滿を期し人心の統一を計らむは多年の宿望なりき、同村は五部落より成り古來各部落共に林野を所有せり、明治四十四年區長村會議員村有志等を招致して協議會を開催し、部落有林野統一の必要を說き、懇談大に努むれども各部落の所有面積不平均なる爲議論百出容易に纏らず、爾來連年協議會を開催し百方懇談に努めたる結果、大正四年御即位紀念事業として其の統一を遂行せり。

而して全面積百五十五町二反五畝歩の內村に於て經營すること困難にして、且不利なる四十七町五反六畝歩は之を關係部落民に特賣し、其代金を村基本財產に編入し、殘餘百七町六反九畝九歩を村有と爲し、每年七町步（實測）宛人工造林を爲すの計畫を樹て、大正五年度より之を實行し、尙村有林野の經營に從事せしむる爲、村に專任の林業技術員を常置し、又植林に要する苗圃を得むが爲、大正七年度より村に樹苗圃を設置し、大に植林の經營に努め、既に植栽を完了したるもの四十町餘步に達したるが、偶官行造林法の施行を見るや面積百町步（見積反別）に對し官行林造をなすべく其の筋と契約を締結し、既に本年度より事業に着手せり、而して村基本財產林として經營せむとするものにして、將來村財政の運用上好個の財源たるべく誠に適切なる施設なり。

納稅に關しては常に細心の注意を拂ひ、各種會合等集會ある每に納稅思想の普及に努めたる結果、大正元年以來、國、縣、村稅何れも納期內完納の美風を持續し居れり、村は古來人情質朴にして勤儉の美風を持續し來りたるが、偶社會の風潮に犯され虛飾に傾き、奢侈に流るゝの傾向あるや、深く之を憂へ大正六年二月勤

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

儉規約を設け村民にして、村內に現住し一戶を構ふる者の戶主又は家族の內必ず一人をして隔月拾錢以上五ヶ年繼續の郵便貯金をなさしむることとし、各區長をして之が管理に當らしめ、每年二月區總會に於て各自に貯金通帳を示すこととし大正八年に至り之を改めて四ヶ年の据置貯金と爲し、每月拾錢以上を預入せしむることとなし之が實行を期しつつあるが零碎積んで既に參萬餘圓に達し成績良好なり、如斯諸般の施設何れも宜しきを得治績日に舉り益々振興の氣運にある往、氏の挺身村治の啓發に努めたる功蓋し與つて大なりと謂ふべきなり。

島根縣隱岐島黑木村婦人會

一、沿　革

明治四十四年一月黑木村學事會に於いて各部落に婦人會を設けて婦女の修養に資せしめんことを決議し、同年六月迄に各部落十一に其設立を見たるが、大正四年十二月には之れが統一を圖り黑木村婦人會と稱し、各部落に支會を置くことゝして今日に及べり、大正十一年十月隱岐敎育會主催敎育品展覽會に於いて本會の施設佳良の故を以て一等賞を得たり。

一、設置區域　黑木村一圓にして更に十一支會を設く。

一、事務所　黑木村役場。

一、會員　通常會員は年齡十五歲以上三十歲未滿の本村居住の婦女にして現在會員五百三人なり。而して客員は學事會員、村會議員、組長其他德望家を推薦す。

一、維持　經費補助並に有志の寄附金を以て之に充て會費を徵收す。

一、修養事項

一、實業補習學校入學、會員中十七歲未滿の者は就學の義務を負ふものとし勵行せるを以て、村內在住の該當者は全部就學せり、而して其出席步合八年度八七、二八　九年度八三、三七　十年度七五、八六にして縣下一般現狀に比しては良好と認むべきなり。

二、講演會講習會の開催　每年講演會或は講習會を開催し會員の修養に資せるが、每會出席者多く相當效果の認むべきものあり、近年開催せしは農業、蠶業、裁縫、料理、洗濯、染色等にして會期の長きは五日間に亙るものあり。

三、巡回文庫の利用　本會にて直接經營せる文庫なきを以て、西鄕町外十一村組合隱岐國圖書館巡回文庫の利用に努め居れり。

四、專任の指導者設置　明治四十四年各部落に婦人會の設立を見るや、專任指導者設置の必要を認め、適任者を得て裁縫、作法、料理、手藝等を各支會一週間づゝ巡回指導を行へり、其指導者は當初其手當として年額百二十圓を給せしが、大正六年より裁縫指導は別に方法を設けしに付手當額を減じたるも其後更に增額を行ひ、大正十年度は九十六圓を給せり、右指導者は大正十年を以て勤續十年に及びしを以て、同年三月總會に於て勤續祝賀式を舉げ村よりは表彰狀に金二十圓を贈り本會よりは記念品を贈呈せり、然るに大正十一年三月同氏辭任に付き之に代

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

るべき適當の方案考究中なり。
五、裁縫短期講習會　從來前記專任指導者より裁縫科の指導をも行へるが、農家の繁閑よろしきに適せざるを以て、大正六年度より各支會に補助を與へ各部落の會館を會場とし、適當なる時期に裁縫講習會を開催することゝせり、講師は支會長の推薦に依るものに付顧問の承認を經て決定し會期は凡そ二週間とせり。

一、優良と認むべき點
一、專任の指導者を設置し或は年々裁縫講習會を開催し、又隨時講演會、講習會を開催する婦女指導計畫の良好なること。
二、村吏員學校職員有志等多く同心協力本會の指導援助に努め、又年々村よりは多額補助を支給せること。
三、一般婦女の自覺を促し、貞淑和順の德に富み身を守ること堅く何等醜聲を聞かず、殊に處女の起居進退言語法に適ひ、旅館の下卑に至るまで敢て良家の子女と異らざる典雅の風あり、延いて家庭の改善地方風紀の上に好影響を及ぼせること。
四、一般に婦女の裁縫技術は相當の成績を收め推賞に値するもの尠からざること。

秋田縣山本郡有限責任榊村信用購買販賣利用組合組合長理事
袴田玄之助

氏は大正三年以來産業組合理事として勤續今日に至り事業經營に專ら意を用ひ、其の間大正三年村會議員となり同十年二月助役に推薦せられ、勸奬土木等の委員として村治に盡し、又所住部落共同に有志と相謀り青年風鳴會を起し風紀の改善並に修養に努めしめ、又恒德組合を組織し勤儉貯蓄を勵行し、又無盡會の設立をなるべく中止せしめ且つ之れが弊害を除去し、又蔬菜果樹の栽培を奬勵する等鋭意部落の改善發達に努めたる結果面目一新するに至れり、殊に産業組合經營に當りては終生の事業となし獻身的に努力し縣下模範組合として知らるゝに至れり、今其概況を示さむに、本組合の區域たる榊村は能代港町に接續し、戶數五百五十餘田三百四十五町歩畑二百町歩にして山林乏しく、米穀蔬菜及果實を主産物となし純然たる農村なり、而して土質は概ね瘠地にして反當り、收量少きのみならず、燃料を他町村に仰ぐの狀況なり、加ふるに市街地に接せるを以て奢侈の風に傾き質實剛健の氣風を失し、此儘に推移するに於ては村將來を憂ふべきとなし有志相圖り、之れが救濟は勤儉の美風を作興し副業の奬勵に俟たざるべからずとなし園藝を發達せしめ其の産物を移出するを好適となし普及に努めたる結果、漸次生産額を增加せりと雖も、販賣上に就ては或は勞力を徒費し或は商人の策略に會し大なる發展を見るに至らざりしを以て、明治四十二年蔬菜の販賣組合を設け共同事業を行ふに及び漸く曙光を認むるに至れり、時偶々大正二年の凶作に會し組合機關の必要を感じ産業組合の計畫を樹てたるに多數の贊同する處となり、大正三年遂に設立せらるゝに及び、氏は理事に擧げられ、次て大正七年組合長として極力之れが發達に努め、爾來各種事業漸次發展を見、貯金又累年增加し資金の運用に依りて土地

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

購入舊債償還及農耕の改良進歩を來し、共同販賣によりて價額を昂上せしめ生產物の改良を促し、又產業經濟用品を購買し組合會員に安價に供給する等其の利便少からずとす、更に講習に講話に組合の趣旨の普及を圖りたるため、一般村民は業務に精勵し勤儉貯蓄の美風を作興し、納稅の期を失するもの絕無となり、德義を重ずる者年と共に其の數を增加するに至り、模範組合として產業組合中央會及秋田文會より表彰せらるゝに至れるは氏の熱誠なる經營に依る處大なりとす。

秋田縣河邊郡有限責任仁井田信用組合長理事　館岡政千代

氏は明治十一年秋田師範學校を卒業し爾來教職に在ること實に三十一ケ年、其の間誠意熱心克く教職に盡瘁し學事の進步學校の改善顯著の廉を以て縣郡より賞せられたること數回に及び、大正二年三月職を退くや全村民の信望を擔ひ同三年一月村長に就職し今尙現職にあり、大正九年二月村治の改善、納稅勸業敎育及基本財產の增殖に努め、又產業組合の施設經營に盡瘁せる功績顯著なりとし郡長の表彰する處となり、殊に組合經營上の功勞は他に範を示すに至る、今左に其の一斑を述べん。

本村は秋田市に接續し交通の便を得、全村殆んど耕地にして山林原野に乏しく、村民は農業者八割五分以上を占め、米作を主とし畑作としては多額の蔬菜を產出し、秋田市に販路を求め、舊藩時代は村民一般に富有の狀態なりしが、廢藩後は藩士散じ人口の減少と共に蔬菜の需要激減し收入殆んど半額に下り、剩さへ都會の風潮に染まり奢侈に陷り家政衰微し高利貸の跋扈するところとなり、明治三十年頃には數萬の負債を生じ金融の途杜絕し、土地の他に移轉するもの多く民心の廢頹默過すべからざるに至れり、明治三十一年中央耕地整理組合を起し全村五百數十町步に亘り整理せらるゝに及び低利資金を得工事費に投ずるは村內金融の圓滑を見るべしとは云へ竣工の曉は之れが償還に當りて美田を失ふものなきを保し難きのみならず、村內疲弊の因は奢侈と高利の借財にあるを憂ひ、此の機に於て之れが挽回策は獨り產業組合の組織に俟たざるべからずとなし、村內有志家に圖れりと誰も賛意を表するものなく、却つて敎育家の身を以て金錢上の機關に干與するが如きは戒しめざるべからずとなし勸告するものすらあるに至れり、然れども氏は極力所信を貫徹せむとし朝夕各戶を訪ひ組合の必要を說き、或は講演會を開き組合趣旨の宣傳に努めたる結果、辛じて六十名の同意者を得信用組合の設立を見るに至れり、爾來機會ある每に組合趣旨を唱導せるため漸次加入者增加し、明治四十三年には二百五十口に及べり、然れども貯金は貳百九拾餘圓に過ぎざる狀態なりしを以て銳意勸儉の思想を鼓吹し、或は講話會を開き或は部落講話を行ひ、或は約束貯金を奬め、一面各種團體と連絡を圖り百方勸誘に努めたる其の効空しからずして、今日に於ては奬勵に待たずと雖進んで貯蓄するに至れり、又組合資金の活用により專ら舊債整理を斷行し產業資金の融通を圖れるに因り村內經濟の狀態一變して高利貸日無盡貸の跡を絕ち。組合設立以來年々七八町步の土地を買戻し、今や反って他町村の土地を

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

買入るゝの狀況に至れるは主とし氏の功績に因る所なりとす。

秋田縣仙北郡荒川村無限責任稻澤信用購買販賣組合組合長理事　茂木徳治

氏は明治二十八年より大正七年まで二十四年間村會議員に就任し、又其の間郡會議員、村學務委員及其の他の各種地方委員として村治敎育産業に盡したる勳に依り、知事郡長より表彰せられたること數回、殊に産業組合に對しては、明治四十一年五月組合設立以來、組合長として勤續十四ヶ年八ヶ月間誠實經營の任に膺り之れが實績を擧げたる功勞顯著なるものあり、今其の概況を述ぶれば左の如し。

本組合の區域は山間に偏在し土質瘠薄、交通も亦頗る不便にして産業振はず、部落民の經濟狀態年と共に悲境に陷り、殊に金融機關不備にして資金の融通は勢ひ個人若しくは銀行等より融通を得ざるものは高利貸の手に委するの外なく、一面無盡續出し負債逐年嵩み、部落民の不動産は年々他に流出する狀態にて將來寒心に堪へざるものありき、殊に明治三十七八年戰役後國民一般に戰捷の好況に醉ひ、漸く惰弱に陷り輕跳華美の惡風に感染するもの漸く多きを加へむとする有樣なりき、玆に於て同氏は深く將來を思ひ舊來の弊風を打破し衰頽せる農村の挽回を講ずるには産業組合の設立に如かずとなし、熱心に部落民を勸誘せしも、當時は未だ組合の趣旨を了解するもの殊んどなかりしため容易に之れに應ずるもの尠なく、徒らに中傷讒誣するの狀況なりしと雖、意志鞏固なる同氏は熱誠を以て勸誘に當り、遂に四十二名の同志を得、明治四十年十二月無限責任稻澤信用組合の設立の許可を得、推されて組合長に就任し事業を開始せり、然れども設立當時は資金に乏しく事業の經營意の如くならず、爲めに目前の利に趨る輩は他の中傷を信じて徒らに孤疑悲觀するもの多く、總會の如きも役員の外出席するもの少なく、一面組合趣旨普及せざるのみならず、他方面に設立せられたる産業組合並に諸會社の經營失敗に終りしもの等の風評は一層の困難を伴へりと雖も氏は益々意を固め、或は自ら他の幹部と共に戸別訪問をなし、或は推々講師を聘して講話會を開催する等專心組合員の指導訓育に努め、且つ組合經費節減のため自宅を事務所に充て、無報酬にて執務萬端を管掌し組合基礎の確立を圖りたる功空しからず、年と共に組員も組合の效果を感得し加入するもの殆んど全部落の九割に及び、又購買販賣と事業をも兼營し事務所兼店舗を設くるの隆盛を見るに至れり、又經濟上に於ては勤儉貯蓄の勵行に依り浪費惰弱の弊一掃し、資金の圓滿なる運用とに依り産業の發達を促し倒産者を救濟し、購買部の設置により小賣店及行商等の暴利押賣の惡弊を除き、販賣部の開始に依り標準相場を定め、又一面納税會矯風會濁酒密造矯正會及一日一善會等を組織し組合員を指導鞭撻したる結果、風習の改善漸次行はるゝに至れるは主として氏の功績に因る處大なりとす。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

露領沿海洲に於ける朝鮮人の生活

陸軍步兵大尉　田北功

一　鮮人移住の歷史

朝鮮人が初めて露西亞へ移住したのは、今から五十九年前、西暦一八六三年に、浦鹽の南のポセットと云ふ海岸へ、北韓の住民が行つたのがそうだと云はれて居る。併しそれも餘り確かな事ではないかも知れない、と云ふのは其ポセット地方、即ち今の沿海洲の南部は、其三年前の一八六〇年に、露國政府が支那との條約改正て、支那から取つた結果、露西亞と朝鮮とが國境を接して、隣り合わせになつたのだから、其以前に支那の領地の時代に、移住して居たに違ひないと思ふが、何樣記錄も何も無い支那の事だから、不明なのだらうと思ふ。

其後明治元年頃に、朝鮮の北部に非常な凶作があつて、其時大分移住をしたのであつたが、其頃には露西亞側では、朝鮮人が來るのを大に歡迎して居たから、貧乏な朝鮮人は喜んで、一族相伴ふて移つて行つた爲めに、明治四十年頃には、沿海洲丈に六七萬人の朝鮮人が住んで居た。

それからも追々と增加して、全西比利亞では、大分の數になつて居る樣であるが、何樣戶籍調査も、國勢調査も出來ない、目下の情況であるから、矢張り正確の事は不明であるが、大體十五萬から二十萬位なものであらう。て多いのは矢張り沿海洲て、黑龍洲のアレキセースク市附近にも、大分集まつて居る。沿海洲では、ニコリスク市附近が、殆んど根據地見た樣なものである。ザバイカル洲の方にも、多

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

少は行つて居る樣てあるが、其數は僅かなものてある。

二　移住鮮人の人情風俗

朝鮮人が露西亞へ行くのは、多く日本人と違つて、一族が家を擧げて移住するのて、出稼ぎは少ない。日本人の方は前に述べた通り大出抵稼ぎてある。何れが將來の日本の爲めに有利てあるかは、色々議論もあらうが、自分は何處迄も移住の決心て行く方が好いと考へる。移住朝鮮人の人情は、それ等の大部分が、元來朝鮮の咸鏡北道、同南道邊から來たのてあるから、其地方の住民と變りなく、慓悍て純朴てあるが、所謂根本的の事大主義て、何ても强い者や、大きな國の云ふ事を聞くと云ふ風てある。それに色々と五六十年間、露人の支配を受けた爲めに、露西亞人の呑氣な性質の影響を受けてる樣だ、而してそれは都會の近所丈て、田舍へ行けば全くの朝鮮人其儘てある。

呑氣なのは好いが、他の方面では、團結心は少なく、責任觀念とか、義務觀念とかも無く、極端に個人主義て、兎に角文明人としての資格は、始んど無い、最もそれは多年露西亞人の官憲の壓迫を受けた事にも原因をして居るだらう。

敎育等は始んど、今日迄全く行はれて居ないから、理解力がなく感情のみに支配はれて、他人の煽動には直ぐに乘り易い、不逞鮮人の此方面に多いのも、無理のない事てある。

風俗習慣等も取立てゝ云ふ程の事もないが、大體は根本の朝鮮風俗を其儘に維持してる樣て、只都會の近所に住む者が、多少露西亞人のそれを眞似てる位のものてある。彼等の多くが北鮮の住民てあるから、南鮮人みたいに白服ばかりてはない、田舍の部落には結髮男子も居る、田畑を耕すには朝鮮獨特の牛車を使つて、悠々とやつて居る。家は土窟の樣な小さな小屋て、現代離れのした生活をして居る、女

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は暇さへあれば洗濯をやる所等は、其故國の習慣と何等變らない。

併し一方都會なり、都會の近傍に居る者で、露國へ全く歸化した者になると、言語、宗教、習慣等皆露國式でやつてる者も相當にある。朝鮮内地の女は他の知らぬ男に遇ふ事を非常に厭がるのであるが、そんな習慣は、それと全く正反對の習慣を持つ露西亞人の感化を受けて、朝鮮内地人の樣な事はない。

斯樣な情態で兎に角移住をしたのであるが、元々何の理想も、抱負も持つて出て來たのでないから、本來の性情から免れて居る者は殆んど無い。懶惰安逸等の言葉は矢張り、是等の人々を形容するに適當な言葉である。只生きて行く丈、それ以外に自已の生活を改造するとか、進歩を計る等の考へは、此處暫らくは起り相もない。同胞としての親しさと、同情を以て日本人は、此人々と共に新らしい天地の開拓に努力する必要がある。

三　移住鮮人の住む重なる地方

前に述べた樣に黑龍の洲方面は不明であるから、沿海洲丈のを記載する

沿海洲では尼市を中心として、其附近が最も多いのであるが、「スイフン」河地方に、永安社、柳市社河口社、閑山社、と云ふ四つの村が、秋風四社と稱せられて、非常に澤山居るが、これは最初に露國官憲が、特別に歸化鮮人の爲めに作つた村なのである。

其他に「グロデコーウオ」「ムチナヤ」「スパスカヤ」「ラズドリノエ」等の地方にも大分散在して居る。

前記秋風四社は比較的富裕な者が多く、大抵の家に自分の耕作地を持つて居るが、其他の地方は自分の所有地はなく、所謂小作人で、彼方に二十戸、此方に十戸と云ふ樣な具合に點在して居る情態であるから、露國革命後は全く無警察狀態になつて、馬賊の爲めに無茶苦茶に荒らされるし、地主からは思ふ、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

樣搾り取られて、益々疲弊して行くばかりである。
沿海州方面の重なる鮮人村落の戸數、人口は大略左の通りである。（大正十年三月調査）

位置	戸數	人口
スーヤギノ附近	八四	四六九
スパスカヤ附近	五七五	三、九八四
クノーリング附近	三八一	二、一一四
ムチナヤ附近	三四六	一、五五一
ラズドリノエ附近	三一六	一、八一七
グロデコーウオ附近	八八八	三、八四一
尼市附近	二、三四五	一四、八八九
合計	四、九五五	二八、七七五

四　鮮人の職業と產業

此地方の鮮人の職業と云へば、殆んど全部農業と云つても差支ないが、其內でも大部分は小作農で、憐れな畑を上げて居るに過ぎない、最も近來前にも述べた樣に、金錢をかけても、直ぐに馬賊にみんな掠奪されて仕舞ふから、貯藏する丈の物を稼がない、只自分が食ふ丈で滿足してるわけである、尼市とか其他の大きな村落には、多少の商人が居ないでもないが、それとて只其附近の鮮人を相手にして、日用品を賣買する位のものか、左樣でなければ阿片賣買者位のものである。

製造工業等に至つては、とても御話にならない、元々何等の智識のない上に、資本が一つも無いのであるから全くこれと云ふて書く程の事もない、企圖心等は全くない上に、數百年來馴れて來た懶惰の習慣は如何に貧困になつても、副業一つやるでもなく、一年の大半は溫突の上に、胡座をかいて、長い煙管で煙草を飲むか、阿片を吸ふかの外何もしない、安價な自巳陶醉に陷つて居ると云ふ、哀れな情態である。が扨て其處に彼等の爲めに何等の仕事も無いてあろうか、近く勞農政府の治下に這入つた此地方の住民が如何なる產業なり、職業なりに向つて行くかは、興味ある問題である。

併し將來露國爲政者が如何なる施放方針をとるにしても、彼等の長い間の習慣を無視する事は出來ま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

い、故に其既往に於ける殖産事業の概要を知る事は決して無益な事てあるまい。

其一、水穂耕作　此地方鮮人一般が從來自活の爲の農耕は、主として粟黍の耕作てあつたが、近年になつて水田の試作が案外な好成績を示したので、俄かに水稲事業が盛んになつて來た。此沿海洲は一帶に濕地が多く、水田の好適地は到る處に散在し、其總面積は三百萬町歩を超えて居る、そして元來露西亞人は性質上水に入る耕作を好まないからして、此方面の水田事業は朝鮮人の獨占事業てある。殊に此地方は土地が非常に肥えて居るから。殆んど肥料を要せず、作り方も至つて單簡てあるから、餘り勤勉でない朝鮮人に持て來いの仕事てある。

前述の通り可耕面積は三百萬町歩に餘るが、既に彼等に依つて耕された水田は、約四千町歩位なものて、全く九牛の一毛てある、だから仕事は無論これからである。此稲作の起源とも云ふ可きは、大正六年北海道種を北鮮から「ノワチレン」地方に試作して成功し、其翌七年大々的に事業を擴張し、以て漸く前記の四千町歩に達したのてある、其内一番適當な地方は「スイフン」河の流域一帶、グロデコーウオ地方、興凱湖沿岸、ウスリー河沿岸、「キバリソフカ」附近てある。

此地方で作る稲の種類は、北海小田代種、咸北黄細、赤毛種其他三四種て、品質から云ふと咸北種は内地米と少しも變らず、酒も作れる、普通反當り一石六斗位の白米收穫がある。それのみにかゝれば一日て五六町位は作つて居る樣てある、其作り方は内地のそれに比べると餘程原始的て面白いから一寸概略を書いて見よう。

耕作法。

1、最初草を水田としようと思ふ處へ、一度水を充分に入れて土地を濕らして それから水を落す。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

2、左樣すると其土地へは、僅かに非常な草が繁茂する。

3、其茂つた雜草を薙ぎ倒して、又それに水を入れる、そして十日も水を入れ置くと其草が腐つて仕舞ふ。

4、其土地を打ち返して平にし、其處へ五月の下旬から六月の上旬迄の間に、種籾を平らに蒔く

5、すると直ぐに芽が出て、苗が二三寸位になつたら適宜間を置く樣に間引く、それから生へて來た雜草を取る、草を取らんでも出來る事は出事る。

6、右の樣にすると八月中旬には花が咲いて、九月末から十月初めにはもう収穫が出來る。

斯う云ふ風にして、同じ土地を五六年繰り返しても、肥料は全くいらない、五六年の後にはそれを畑として仕舞へばよいのである。

今大正九年の水稻の作付収穫の情況は大略次の通りてある。

地名	作付面積(町)	収穫高(石)
ニコリスク地方(一里以内)	三五	五八八
クンネフク	一五	二四〇
シネロフカ	四	八五
コルサコフカ	九〇	二、〇〇〇
ノヴチレレ	二〇〇	三、三九〇
スミツヤツケ	八三	一、四一二
スンツガン	五〇	八四七
モシルヤノーフスカヤ	二二五	三、八一四
モチエレン	六六	一、一三〇
オルピノコオ	五〇	八四七
土城子	一五八	二、六八三
コオシヤチヤ	一四一	二四〇一
セロプスカヤ	八八	一、四九七
サリカ	四五	七六二
パラノオレンブルグ	三二〇	五、四二七
コンニサウタイ	四一	七〇六
ソスナヤパージチユントン	一七五	二、九六六
ソオクセアレクセー	六六	一、一三〇
グロデコーヴオ	一三三	二、二六〇

右は只ニコリスク地方と、グロデコーオ地方丈の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

調査てあるから、尙此外にも大分ある筈てある。

其二、阿片栽培及集散。支那人が酒の禁止の露西亞へ中々旨まく酒を密輸入する、處が露國官憲は、條約違反の對策及自己の利益から割出して、露領內に阿片(罌粟)を栽培し、之を支那領に密輸出する事を默認する様になつた。ニコリスク地方へ移住して來た朝鮮人は、移住當初は其地方の土地がよく肥えて蒔き放しても自由に澤山の收穫があつたので喜んで居たが、明治四十年頃から次第に收穫が減少して來て困つて居た時に、丁度支那人が露支の國境附近て、阿片の栽培してるのを見て、副業的に栽培して見た處が案外に結果が好かつた、其處て元來が懶惰安逸を貪る鮮人の事だから、忽ち彼等の間にそれが流行し、現在ては何處の鮮人部落へ行つて見ても、罌粟を植えて居ない處は無く、又それを本業にして居るものも澤山ある、併し近來何様同地方一帶が秩序が亂れて居るから、馬賊に掠奪されたり、民警に苦しめられたりするので、中には中止するものもあるが、それでも多數の農民は眼前の利益に眩惑して、今ても盛んに栽培して居る。

前にも述べた様に此阿片の栽培は、最初支那人の作つてるのを見て、朝鮮人は初めたのてあるが、歐洲大戰以來最大の阿片の御得意の支那へ、南露及高架索方面から輸入されて居たのが杜絕して仕舞つた爲めに、一斤十三元位の相場が、一度に十四五元になつた、其處てニコリスク地方の朝鮮人は、競つて之を栽培し初めたので、大正四年頃にはニコリスク西方面の朝鮮人は、殆んど此阿片の栽培をやつたのてある。

この罌粟は四月の末頃に土地の凍つたのが解けて、十日位すると直ぐ播く、それから苗が四寸位になる迄に、四回位草を取つたり間引いたりする、それて肥料も何もやらない七月初旬になると花を開き、三四日すると花が散つて仕舞つて、所謂坊主が

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

出來る、そしたら直ぐ收穫を初め、二週間位で終つて仕舞ふ。

一町歩の收穫は十五斤から二十五斤位ある、其耕作に要する人夫四人を草取期間に一週間雇ふとして、四週間分の費用が其耕作費用になるわけである、そして其收益は一町歩の收穫量最少限十五斤として、一斤十七元乃至二十元であれば、三百余元である。ニコリスク地方の産額は大正九年には十五萬斤と稱せられて居たから、總價額約三百萬元である。此ニコリスク地方は最も此阿片栽培に適するので、其品質が大變よく、最近に於ては上海の市場で最優等の名聲を博して居る。

以上の通りニコリスク近傍で出來た阿片も、遠く露支國境や、スパスカヤ方面で出來たものも、一旦皆ニコリスクの市場へ集まつて、其大部分は東支鐵道で、哈爾賓、長春、大連、北京等に行き、又一部は浦潮に出て上海方面に行くのである、處が其運搬方法は矢張り公然とやる事は出來ないから、鐵道の從業員、稅關吏等に賄賂して搬出するのである、それ故時々發見押收されて、莫大の損害を蒙る事がある、又露人官吏は其密輸出を知つて、不當な家宅搜索を行つたり、運搬途中に現品を差押へて、不當な私利を貪るのであるが、朝鮮人は元々禁制品なのだから訴えて出る處もなく、何時も泣寢入の狀態である、然しそれでも決して其搬出は止まない、ニコリスクに住んで居る朝鮮人の有力者や、富豪は凡て阿片事業に關係して居ないものはない有樣である。

將來勞農政治下の沿海洲となつても、元々呑氣な露人の事だから、本性の賄賂結托で、依然として阿片栽培は盛んになる事であろう、否勞農政府は公然とこれを認めるかも知れない。

其三、亞麻栽培。 亞麻も又水稻阿片に次ぐ有利な鮮人の農業の一つである、亞麻は元來よく肥えた土地でなければ發育が良好でない、處が南部沿海洲には

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

非常に肥沃な處女地が未だ澤山あるから、同一の土地に連年肥料もやらずに、品質良好なものが澤山に出來る。

亞麻は陰曆の三月下旬、卽ち解氷期になつて麥と同じく疎散に蒔きつける、三四日すると芽が出る、それから三四寸になつて一二回草取りをやる、それきりで別に肥もやらず、間引く事もいらぬ、亞麻は間引かず可成密生した方が、幹が細長くなつてよいのである、それで陰曆七月頃迄に六七尺になる、其處でこれには綱用と布用との區別があるが、綱用は七月下旬に拔いて葉を落し、五日か七日位水に浸けて置いて皮を剝ぎ日光に乾かし、布用は七月上旬に取つて、釜で蒸し後で日光に乾かすのである、相場は歐洲戰前には二千斤二百圓位のものであつた。

其四、養蜂。西比利亞は人も知る如く、土地廣大であるが、人は少なく夏は野生の草花が非常に多い。そして冬は寒氣が非常に強いから、色々な蜂が冬越しが出來ないから、人に保護せられる蜜蜂以外の蜂が少ない、從つて蜜蜂の大敵たる熊蜂も全く居ないから、蜜蜂を飼ふのには非常に都合がよい、卽ち管理が內地よりも餘程容易である、ニコリスク北方イポリトフカの一露人は大仕掛の養蜂をやつて、一年間の收益二十萬圓に達するものが居た。

管理法は內地と別に變りないが、只冬は必ず暖爐を焚く部屋の中へ入れてやらねばならぬ、どうせ冬の間家の中は絕へず暖爐を焚いて居るのだから、一向手數にはならぬ、そして四月上旬から室外に出して十月の中旬に又入れてやる、野生の草花が日本內地に數倍する程咲いて居るから、內地だと一平方里に三四十巢以上飼ふと、蜂は蜜に困ると云ふのであるが、此地方では七八個位飼つても尙澤山の收穫がある。

露西亞人は大抵住宅に近い、林檎畠の中に三四十個以上を飼つて居るが、近來は朝鮮人が眞似をして

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

盛んに飼ひ初めた、收益は先づ蜜が六貫目位とれて其價値が十八圓位、それから分巣をするからそれが一巣十圓位に買れて二十圓、合計一個の巣から三十八圓を得られるわけである。それ故一軒で三十個飼つて居れば約千百四十圓の收益と云ふ事になる、此收益計算は內地に比べると餘程確かである。

其五、養蠶事業。「シネロフカ」と云ふ處に住んで居た、安俊鎬と云ふ朝鮮人が、十年前程前から桑を植えて養蠶を初めた、處が其桑も蠶種も至つて劣惡、手入も下手であつたにも拘らず、中々成績がよく、好い糸が出來て、其地方の朝鮮人はそれで絹布を作つて使用して居る、目下の桑畑はまだ五町內外であるが、若し將來露國の秩序が回復されて、これに力を注ぐ者が居て、佳い桑苗を植えて、之れを初めたら、土地は肥えて桑の生育等には持つて來いであるし、夏は雨が少なく、濕氣も少なく、非常に有望である。同地方二十萬の鮮人の仕事として、研究の價値があると思ふ。

其六、蘭草。ニコリスク市以北ウスリー鐵道以西の、濕潤涯てし無い濕潤地の平原には、それこそ本當に無盡藏の蘭が繁茂して居るが、まだ如何なる朝鮮人もこれを利用しない、此の莫大な蘭草を利用して、簾や莚等を作つたら、無爲徒食の鮮人子女の爲めには、有利な仕事であらう。

其七、行李柳。沿海洲地方の朝鮮人は、大抵は水流の近傍に居住して居るが、其自然の放流に任せてある、澤山の河の兩岸は濕地が大變多く、到る處に行李柳が叢生して居る。そして其枝は土地が肥えて居るのと、氣候の關係上成長が迅いから、內地の田等に肥料を與へて作つたものよりも、遙かに性質のよいものが、これも又無盡藏に出來て居るのであるが、朝鮮人達はまだこれには殆んど手をつけて居ない、これも將來鮮人の爲めには有望な副業である。

其八、其他の農業。其他に鮮人の農業としては、柞

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

叢、甘草等も有望なもので、これは多少やつた者も居たが、まだ事業として發展したものでない、其外牛馬鷄豚の飼養も多少やつては居るが、之れは先天的能力を有する露人の牧畜業に比べたら、全く物にもならない、卽ち、露人は牧畜を本業とし、鮮人は耕作を本業とするのが、自然に叶つたものであろう。

○

以上頗る單純な話であるが、これでも沿海洲に於ける三十萬人の朝鮮人の生活の一斑は、了解される事と思ふ。世界の疑問たる勞農政治が、如何に沿海洲に現われるかも興味ある問題であると共に、其れに運命を托して居る、沿海洲在住の朝鮮人の運命にも、吾等は深甚の注意を拂ふものである。

外遊漫筆

鷹松靈巢

○紐育市の街區と交通整理

米國の都市は何れも最近十數年の間に異常の發展を遂げたもので、其の街區は凡そ一定の計畫に依つて建設せられたのであるから、實に整然として規則立つて居る。如何に土地に馴れぬ旅行者でも、一葉の市街圖さへ手にすれば、案内者なくして自由に市中を見物することが出來る。

紐育市はマンハタン、ブロンス、ブツグリン其

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

他の五區より成つて居るが、其の中心はハドソン川とエスト川との間に位するマンハタン區である、同區は其の南端に商業地域を置き、東西を第一區より第十一區のアベニーに、南北を二十餘區のストリートに分つ。其の中央をブロードウエの大通りが、十五哩に亘つて長蛇の如く貫通して居る。其の後余は英國を初め諸大陸の幾多の都市を見たが、街區の整頓に就いては英國の都市に遠く及ばないことを知つた。

紐育市の殷盛は一般に知らるゝ所で今更喋々するを要しないが、今より三百年前に移住せる和蘭人が土人から此のマンハタンの地區を、僅に現今の七十五弗に足りない代金て買受けた。當時には何人が今日マンハタンに聳えて居る多くの摩天閣や、カイスレクーパーや、タイムススケーヤの不夜城の光景を想見し得たであらうか。

紐育市の交通整理巡査

紐育に於いては交通頻繁なる街區には多數の巡查を配置して整理に努めて居るのであるが、殊に第五街ては辻の中央に信號臺を設け、赤白、青の電燈を以て自動車や馬車の進行停止を一齊に爲す、尙巡查は其の間に立つて巧に手を擧げて通行人に其處止まれ、其處進めと指圖をして居る。紐育市の警官一萬七千人の內、交通の整理に從事をしてゐる者八百人に達するさうてある、道路の總延長四百哩に近き大都市であるから、尙不足を免かれないから、增員の計畫中であると云ふことを聞いた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

學校や病院附近の街路には、必ず青色の板に白字て學校の在る。町又は病院のある町なることを掲示し、馬車や自動車が靜かに通行すべき旨の注意をしてある。又交通の頻繁なる場所では、學校の始業放課の都度特に巡査を派して、通學兒童保護の任に當つて居る。斯くの如きは我國の都市では思ひ及ばぬことである。之れは交通整理とは關係はないが、紐育市には兒童の遊戯をする場所が少ない爲めに、夕方一定の時間道路の一區を劃して人車の往來を止め、運動場に代用して居る、之れと同一の方法はオレゴン州のポートランドでも實見したのである。

道路の一部を劃し兒童の遊戯場とする狀況

○歐米の少青年裁判

近來我國でも、兒童の保護感化に關する事業の必要を一般が認むるやうになり、殊に最近には少年法、矯正院法などの制定を見るに至つたのは、洵に結構なことである。此の際余が紐育や倫敦で實見した、彼地に於ける少年裁判の狀況を玆に記すことは、あながち無意義ではないと思ふ。

刑罰に關する觀念が昔と變つて來たことは、少年裁判のに發達に與つて大に力がある、卽ち不良少年は犯罪を行つた爲めに、國家が之れに懲罰を加ふるのではなくて、彼等は孤兒や貧兒と同樣に、國家が所謂終局の親（ウルチメート、ペアーレン）として、特に保護監督すべきものであるとの觀念から出て居る。從つて少年裁判の手續きは、嚴格なる刑事ではなくて、寧ろ民

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

事手續と稱すべきである。判事は兒童及び其の家族より極めて非形式的なる訊問や調査により、兒童の身體、精神、家庭の狀況、教育程度等を斟酌して、果して兒童が不良又は放任の狀態にありや否や、而して如何なる手段が此の狀態の矯正なりやを決するのである。少年犯罪が、兩親の有無、環境の良否等に至大の關係あることは、次の統計を見れば明かである。一千九百十三年には三萬七千五百人、一千九百十七年には五萬一千三百人、一千九百十九年には四萬四百人と云ふ數字である。此の内一千九百十七年度に著しく增加せるは、全く歐洲大戰の爲めに父兄が出征して家に在らざる爲めである。又余が倫敦イイストエンドの貧民部落を、市の役人に案内されて視察せる際、街路に遊べる多數の貧兒を指して、是等の兒童の兩親又は其の兩親の兄弟にして、警察又は裁判所の厄介にならん者は殆んどないと云ふことを聞いた。

米國て少年裁判を設置したのは、今より二十餘年前即ち一千八百九十九年、イリノイ州法に依り市俄古に設置されたるを嚆矢とする。次てデンバーコラト、紐育の各州に及び、現時各州何れも少年裁判所、感化院、少年、兒童に對する禁酒制限等に關する規定を設けて居る。余は紐育東第二十二街に在る少年裁判所を見たが、之れと同樣のものが市内に尙五箇所あるとのことである。法廷は判事の私室と思はるゝ小さな一室て、其中央に一つの机を置かれ、一人の判事と書記とが其の机を圍んて夫れを占めて居る。傍聽は一般に禁ぜられて居るので、別に傍聽席もない。余は判事の好意て一つの椅子を與へられたが、一時間ばかりの間にどし／＼と約十件ばかりが審理せられた。何れも父兄などに伴はれた少年子女て、戒飾の上兩親に責付せらるゝものが最も多くあつたが、唯淫賣常習の少女が一人矯正院（インスチチユーシヨンに收容されたのみてあつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

英國少年裁判の發達は米國より少し遲れ、一千九百八年に少年法て初めて少年裁判の事務を、總べて警察裁判（ポリスマート）の法廷て、日を定めて少年事件を審理することになつた。倫敦ては警察裁判と分離した少年裁判を特別にするに至つたのは余の滯英中て、即ち一昨年の夏以來のことてある。余はリショップスケート町の北に在る、タウンホールて開かれた少年裁判を見たが、余の傍聽した時は、警察裁判所より分離して設置せられし以來第二回の開廷日てあるとのことてあつたが、裁判は二人の保安判事（ピース・オブ・ジャスチース）と立會判檢事（マジストレート）が審理をするので、保安判事の一人は婦人てあつた。傍聽を禁ずることは紐育と同樣てあるが、大きな卓子の正面に三人の判事が列席し、兩側には警官や辯護人や（ソリシター）市の不良少年係の役人などが列席する有樣は、紐育て見たものよりは餘程大袈裟てあつた、其の日の事件は窃盜、器物毀損、賭戲、傷害等の十數件てあつたが、輕きは兩親に責付し、其の他は保司の監視に附する者や、罰金に處せらるゝ者もあつた、又情狀に依りて矯正院（レフォマトリースクール）、感化院（インタシチリマルスクール）に收容を命ぜらるゝ者もある。少年に對し罰金を科するのは如何かと判事の意見を質した所、兩親は小供に每日二片の小使錢を與ふるとすれば、其の都度一ペンニーを引去つて、二ケ月に其の小供が五シリングの罰金を納めることが出來るのてあると說明した。

少年裁判に關する制度の精神は甚だ宜しいが、愈々之れを實行するの曉に於て、效果を十分ならしむることに餘程困難なことと思ふ。現に米、英兩國にありては其の實施以來二十年の星霜を經て居るが、今尚研究中にあると云ふ、夫れて一昨年の夏ブラッセルて開かれたる國際兒童保護會に於ても、少年裁判及び不良少年、青年の感化事業が會議の主題とな

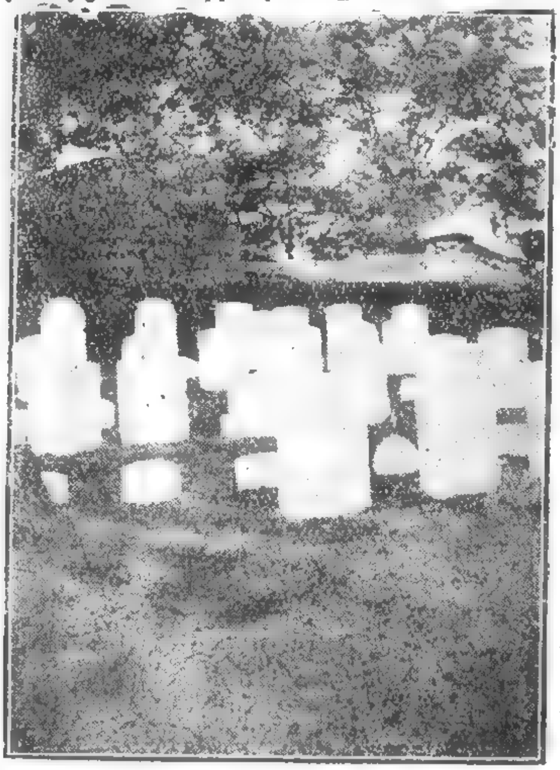
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つたのである。

○米國名士の墳墓

米國の建設者ワシントンの墓は殆んど市を去る十數哩のポトマック川の右岸、マウントバーノンのワシントン宮廷内に在る。川に近き芝生の丘を下つた處に設けられ、些やかな鐵柵内の方から内部を見ると、二つの大理石に棺槨が覗はれる、其の右方はワシントン、其の左方はマルタ夫人で、不朽の名と共に靜かなる眠について居るのである、何等裝飾を加へざる小な墳墓が、其の瀟洒なる宮廷と共に如何にも此の偉人の人格に相當しく感ぜらるゝ。

南北戰爭に有名なる大統領グランド將軍の墓は紐育に在る紐育を訪づれる者は何人もハドソン河畔に將軍の墳墓あるを知るであらう。コロンビヤ大學に近くリバーサイド中最も景勝の地を占め、外面は花崗石内部は大理石で作られた堂々たる伽藍(ドーム)て内部中央は圓形の地窖を爲し、稍々赤味を帶びたる棺が安置せられ、又堂の四圍の小室には將軍が出征の戰功を語る。幾多の軍旗が陳列されて居る。墓の後方數間を隔てゝ將軍と親交ありし李鴻章より手向けられた功戰史がある、漢英兩文で記述されてあつた。



ワシントンアーピンクの墓
(中央圓形の稍大なるもの)

ハドソン川を溯る十數哩にしてタワータウンと云ふ小邑に達する。余が學校時代に、アービングのスケッチブックにあつた、ハソーピーホローの古話を記

憶する。ハソーピーホローは其の昔からハドソン川の近くに南面して在る、和蘭人の移住當時より少しも俗塵に汚されないやうな靜な場所だ。玆に大きな共同墓地があつて、スケッチブックの著者のワシントンアーピングも葬られて居るのである。何れも同じ形の墓碑が多數並んで居るので、見付けるのが困難であつたが、漸く小丘の中腹に之れを見出すことを得た、一族の墓碑に交つて白大理石にして、半圓形の高さ三尺ばかりの小さなものである。此の墓地には前年死亡した、カーネギーの墓もある、未だ墓碑は建てゝなかつた。

之れは名士の墳墓と云ふ譯ではないが、余の最も印象深かつたのは、アンアホアにあるミシガン大學を訪れた時、偶然に發見した日本人の石塔である。表面には日本文字で武石貞之助之墓として、一千八百八十年沒とあり。此の人は明治初年此の地に留學して空しく異郷の土と化したのである。若し此の人が學成りて無事に歸朝をしたならば、知名の學者或は政治家となつてゐたかも知れない、同情の念禁ずる能はず草花を取つて手向けたのである。（完）

日章旗

照國公遺事云。安政二年乙卯公在レ都。令下石原龍助駕ニ藩所レ造軍艦昇平丸一航海而東上。三月來泊ニ于品川海上一。居數日。都下喧傳。諸侯伯以至ニ士庶人一。請ニ上レ船觀一覽者滿ニ於岸上一矣。水戸烈公。亦從ニ其臣藤田彪等數人一。來觀。特賞ニ公之烈一。製ニ和歌一以贈。鹽谷世弘作ニ之記一。大槻磐溪亦賦レ詩以上。詩曰。

四海三檣我一檣。　驚看新造擬西洋。
只應直筆傳千載。　日本軍艦是濫觴。

蓋都人士聞ニ公有ニ此擧一久矣。故船一至。傾レ都奔波。皆來請レ觀。以ニ軍艦之製實始ニ於公一也。閣老阿部正弘遣ニ書公左右一。諭以ニ幕府欲レ得レ船之意一。左右以聞。公曰幸甚。願吾之製ニ軍艦一。欲レ供ニ國家之用一耳。明日獻ニ船幕府一。公因見ニ正弘一曰。已有ニ軍艦一。不レ可レ無ニ國旗一。不レ知公且何以爲ニ旗章一。正弘曰吾儕議未レ能レ及ニ于此一。因問レ公。公曰用ニ日章一如何。正弘曰然。以聞ニ大將軍溫恭公一。溫恭公可レ之。於レ是下ニ令天下一。以ニ日章一爲レ旗。亦レ自是始矣。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

寄書

偶感録

平壤　山石生

○忘れられた民風改善

よく民風改善といふことがいはれる。そうして之に關する種々の施設が現はれ、色々な事業が行はれるが、其の爲す所を見るに多くは、內地人たる官吏が、朝鮮人たる民衆に對して行ふ所の作用であり、活動てある。成るほど朝鮮文化の促進上、結構は結構て大にやらねばならぬことだが、今一つ取り殘された事がありはせないかと思ふ。それは、內地人相互の民風改善是てある。內地人はよく言ふ吾人は母國人なるが故に朝鮮人の模範たるべきものであると、然り實際に於て斯くありたいものてある。然るにその實その人格の點に於て、其の行爲に於て果して彼等の模範となり、儀表となり得る者のみであるならば洵に幸てあるが、熟々思ふに直に首肯するとは出來ぬ。否、寧ろ顰蹙すべき事實は其の例に乏しくない。見よ圓滿なるべき團體にして內訌の伴ふこと多く、公正なるべき所に、醜聞の百出するが如き事例も少くはない。或は官等の高下によつて私交上の問題を惹き起し、或は職業の相異によつて、甚だしき阻隔を來し、互に相反目しつゝある狀況も珍らしき圖てはない。加之その鮮人に對する態度等にも、遺憾の點を發見することは多い樣に思はれるのてある。斯の如くにして尙且朝鮮人指導の位置にあり得るものと考へる輩もある樣に思ふ。鮮人有識者は常に此點を遺憾として居る。血氣旺の青年等は此點に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

憤慨する者もあるのである。尚又一面その家庭生活に於ても大に注意を要すべき點は夥しいものである。かるが故に民風改善は獨り朝鮮人側のみに望むべきでない。內地人の民風改善は更に必要であらねばならぬ。否內地人相互間大に覺醒を要する次第である。

○下駄穿て農業

下駄穿の儘て田畑に下り立つ農夫があつたら、誰が立派な農夫だといはうか、柔らかにすべき土地は硬くなるばかりて、到底立派なる效果を收むることは出來ぬ。余が內地より渡鮮する者を見るに、恰も下駄穿の農夫を見る樣な感じの起ることが少くない。內地より朝鮮に渡る者を送るに際し、餞けの言葉として「決して朝鮮化してはいけないよ」、甚だしきは「ヨボ化してはならぬ」といふ言葉を以てする合も少くないといふことであるが、否かゝる餞けに接せぬ人ても、朝鮮化せないといふことには充分努力して居る人も少くないだらうが、余は此點に就ては餘程考へねばならぬ事てはないかと思ふ。朝鮮に來て唯內地人は內地人としてのみ活きようとするならそれてよかろうが、苟も朝鮮で事を爲さうとする者は、朝鮮に住居する內地人といふ點に特に注意をせねばなるまいかと思ふ。朝鮮人と共に生活し、共に文化に進まうといふ大なる覺醒がなくてはなるまい。否眞に彼等と相融和し。誠意を以て之を導くの同情がなくてはならぬ。此同情を養ふには、進んで其人情風俗を解せねばならぬ。その人情風俗を知らうとするには、幾分自ら之に化して行くことも必要であらうと思ふ。朝鮮化してはならぬと力んで居れば、朝鮮語を研究しようといふ考へも起らぬ。朝鮮人と席を同じうし、互に胸襟を開かうといふ勇氣も表はれない。余は常に思ふ、高位高官の人はいざ知らず朝鮮に於て事ゝ成さんとする者は、其職業の何たるとを問はず　一、朝鮮人の人情を解すること

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

二、朝鮮語を使用すること　三、朝鮮食に馴るゝこと、この三つは最も必要なる條件だと信じて居る。「決して朝鮮化すべからず」などいふことを座右銘として居る樣な連中には、朝鮮語研究の熱情も起らぬ。

朝鮮食膳に對して鼻をつまむ輩は、到底朝鮮人の眞の人情を解することは出來ぬ。その人情を解せずして、之と和し、苦樂を共にすることは至難の事といはねばならぬ。奬勵金がなければ、朝鮮語を研究せぬといふ有樣では、お話にならぬ。彼の外國宣教師などは、此點に於ては實に、はまり込みがよい。最初から洗足になつて畠に飛び込んで、自分から肥杓を取つて仕事をして居るように思はれる。第一朝鮮語の研究と、練習を充分にして居るから、よく朝鮮人の老幼男女と談話を交換して居る。隨て朝鮮人は西洋人とは割合によく融和し易いが、內地人とは融和することは困難だといふて居る。考へねばならぬ點である。國語の普及は著しいもので、內鮮人の意志の疏通上非常に好都合となつたが、壯年以上の朝鮮人には、國語を解せないものが甚だ多い。否目下地方に於ける有力者中、國語を自由に使用し得る者は、まだ少いから、朝鮮語の必要は大にある。兄弟たり、同胞たる內鮮人間に、通譯を介せざるを得ざる時、客たり、他人たる、西洋人と朝鮮人とが自由に、隔意なく談話し得るが如き、又は內地人と西洋人との談話に、朝鮮語の通譯を必要とする場合も少くはない。是等は頗る珍現象と言はねばならぬ。

其の他朝鮮に於ける、風俗、習慣に關する知識に於ても、誠に薄弱な樣な感じがする。渡鮮後十餘年も經て居て、餘ほどの朝鮮通であらねばならぬ筈の者が、案外朝鮮事情に通ぜぬ向も少くない。其の他歷史地理上の問題に關しても、殆んど無關心の感を有するのではないかと思はるゝ節もないではない。强いて朝鮮化を勸誘するのではないが、少し奮發し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て諸肌を拔いてかゝらねばならぬてはなからうか。

○ヨボと君

彼のヨボといふ言葉は、呼びかけの言葉て、國語のモシ〳〵、と呼てかける時の言葉に相當するのを朝鮮人といふことの代名詞かの樣に、「ヨボガ來タ」とか、「ヨボガドウシタ」とか、平氣て使つて居る、近來「ヨボ」と言へば、朝鮮人が怒るからといふて、「ヨボサン」と敬語を附する例は少くないが、朝鮮人側ては愈益不快の念を起すといふことてある。

京城に於ける或る內地婦人が、子供を連れて電車に乘つた。どうしたはづみかその子供の帽子が、電車內に落ちたので、向ふ側に座つて居た朝鮮人紳士が、その帽子を取り上げて、その子供にかぶせてやつたので、其の婦人は其好意に對し自ら禮を述べ、更にその子供に對して「あのヨボサンにお禮を言ひなさい」と命じたが、彼の紳士は怫然として顏色を變じた。婦人は誠意を以て感謝した、元より些の惡意はないのだ。ちよつとしたことて、折角の誠意は通ぜず、却て向ふの感情を害して仕舞つたのは遺憾なことてある。

鮮人の嫌ふ言葉に「君」といふ言葉が今一つある。余は此言葉の爭て、二つの活劇を見た。某學校に內地歸りの朴とい生徒が居た。或る日運動場て、或る兩班の子て、同級の學生たる李某に對して

おい君來たまへ……とやつたが、李は眞赤に怒つて言ふのに

何だ生意氣な、暫く內地に行つた爲に、「君」なんかつて人を輕蔑するな

と來たので朴は、

君と言つたのは決して輕蔑した譯てはない、お互親密な間柄に使ふ言葉だよ。

と辯解して見たが、中々聞かない。其間互に言ひ爭つて、遂に毆き合を初めた、それが爲に、李は三日間缺席までした。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

又或る邑內に、內地から來たWと稱する金融組合の理事があつた。或る時、同組合の總會を開いた。理事は組合員に向つて一場の話をしようとしたが、折惡しく組合の通譯が不在だつたので、偶〻郡廳から、種々の便宜を與ふる爲にBといふ鮮人の郡屬が來て居たので、理事はB氏に向つて、『B君ちよつと通譯をして與れ玉へ』と言つて指し招いた。B氏は國語は充分出來るし、通譯は元より上手であつたが、何等の返答もせず、頑として應ぜなかつた。理事は狼狽して遂に話を中止するの止むなきに至つた。後通譯の來るを待つて、漸くその目的を達したが、何故にBが之に應ぜなかつたかといふに、理事がB君と言つたのが癪に障つたのであつた。朝鮮人は禮を重んずる。內地人に取つては問題にならぬ些細な事でも、朝鮮人に取つては重大な問題となることがある。言葉遣ひには、特別に注意が必要である。しかし是等は些細な事だ、根本問題は、朝鮮人に對する誠意是れである。朝鮮が我國の保護國であつた時代には、政策上幾分か威儀を示すといふことも必要であつたかも、知れんが一旦併合となつた以上、何の策略が要らうが、只々誠意を以て之を導くより外はないのである。余は併合前に於ける、日本官吏の赴任當時の物語を聞くに、赴任の際は、可成威儀を整へ、正々堂々と乘り込むことを奬勵したものらしい。或郡書記の赴任當時の話によれば、赴任の際は必ず轎子を用ひよ、朝鮮馬などにては威嚴を損すること夥しいからと、注意を與へられたものだ。そうして郡衙の門に入つても、下りるの必要はない、郡守が出迎へたらば、その時轎子を降りるも、遲くないといふ風で、强いてから威張りをさせられたものだといふて居る。官吏の風がそうであるからして、民間に於ける內地人の氣風も、自然、その惡影響を受けて傲慢になつた。隨て朝鮮人に對して、親切な口でもきくものは、却て馬鹿にせられたものだとい

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ふ。其の弊風が今に殘つて居はせないか、時勢の進運に伴ふて、吾人も覺醒せねばなるまい—勿論朝鮮人諸君にも望む所は少くないが—しかし是等の弊風を根本的に矯正しようとするには、教育の力に俟たねばならぬ。附け藥では根本的治療は困難である。這般消極的方面の問題は言ふに及ばず、朝鮮統治の實績を擧げようとするならば、教育の力によらねばならぬ。特に初等教育者の力に俟たねばならぬ、然るに同情すべきは、

○忘れられた初等教育

である。言ふまでもなく、文化促進の原動力は教育であらねばならぬ。殊に朝鮮に於て、その緊切なるを感ずるのである。此點に於て、社會は教育者に向つて特別なる敬意を表し、之を優遇するの途を講ぜねばならぬ。然るに朝鮮に於ける初等教育者は、それ相應の尊敬を受けつゝあるか、それ相應の待遇を受けつゝあるか、實に寒心に堪えないものがある。

誰か我子の可愛さを感じ、我子の將來を案ぜぬものがあらうか、子供が生れ落つると間もなく、教育問題は起つて來る。家庭教育に、學校教育に、家庭はやがて子供中心となつて來る。子供問題は教育の事が大部分を占むる樣になる。從て學校問題に關しては、近來家庭に於てもよく注意する樣になつたのは、誠によろこばしい現象であるが、「教員の待遇問題」に就ては、誠に冷淡なものである。教員に缺點でもあらうものなら、十分と攻撃もする、批難もするが、教員に對する感謝の念は至て薄弱なものである、隨て教員優遇問題に就て考へる樣な父兄などは、殆んどない位だ。教員待遇の向上は、負擔額の增加だといふ考への方が、寧ろ先に立つてはなからうか、是等は誠に合點の行かぬ點だと思ふ。獨り物質的待遇のみでなく、精神的方面に於ても、果してどの位の敬意を拂ふて居るであらうか。先生々々と

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いふ言葉には、どんな意味を含んで居るか。「先生といはれるほどの馬鹿でなし」といふ川柳は、何を説明して居るであらうか。

併し教員の物質待遇を父兄に望むは、當を得た問題ではないから、此點に就ては、爲政者に適當の處置を願はねばならぬと思ふ。

小學校教員もだが、普通學校教員に就ても同樣考へてほしいものである、朝鮮文化の向上發展に關し普通學校教員の功績は看過することは出來ぬ。これは詳細に論ずるの必要はなからう。余は常に思ふ。彼の騷擾事件勃發の際、若し普通學校がなかつたならばどうであつたらうか、雞林八道青少年の思想は、獨立思想の爲に悉く風靡せられたではなからうか、槿域一萬四千方里は、排日思想の火炎に舐め盡されたではなからうか、幸に至る所に公立普通學校の設けがあつた爲、不穩思想は玆に防止せられ、玆に緩和せられたのではなからうか、私立學校職員生徒が、至る處に、獨立萬歲を絕叫し、同盟休校を敢てせんとする時、獨り公立普通學校は、毅然として授業を繼續した。——一二忌ほしい事件を惹き起したものはあつたが——即ち公立普通學校の大部分は、實に靜肅であつた。其の當時に於ける普通學校長の苦心は一通りではなかつたのである。

かゝる非常の場合のみならず、平日に於ても、法令の周知に、産業の奬勵に、民心の指導に、內鮮人の融和に兒童を通じて行ひたるものは、根柢があり力があるものである。教育は不生産的の事業である樣であるけれども。此點から見れば、決して不生産的のものといふことは出來ぬ。否寧ろ生産事業の根本たる人物の養成であるから、生産事業より以上重大なものであると言はねばならぬ。此點から見て、教員の待遇向上の法を講ずるは最も緊要のことである。

今回、面長を奏任待遇となすの途を開かれたのは

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

實に結構な事である。これは面長の職務が、朝鮮統治上重要な事項であるからといふことが、主なる理由でありとするならば、小學校、普通學校長を奏任官とすることも、亦大に必要なことであらねばならぬ。今や面長に奏任待遇があり、一般判任官は、理事官たり、府尹たり、郡守たり、島守たり得る、技手は技師たり、警部は警視たり、看護婦養成所の教官は奏任官となり、僅二三學級の實業學校にも、否更に下つて補習學校にさへ奏任官校長を置き得る今日、小學校長普通學校長にのみ獨り此途を與へぬは、如何にも不審と言はねばならぬ。小學校長の奏任待遇は內地にも樺太にも行はれて居る、獨り朝鮮になきも亦遺憾の點である。教員は天職に安んぜよなどいふ、古い教訓などに滿足し得る時代ではない。中等教員以上には、それぐ\高官に登るの途がある時、獨り小學校普通學校教員のみに對して、之を强ゆるは無理も亦甚しいと言はねばならぬ。技術官の待遇問題は、技術官の結束によつてその改善を促し得たが、教員はおとなしいから、其の儘に打過さるゝのではなからうか、果してそうであるとすれば、由々しき大事である。法規が許さぬといふならば、改正の途がある。要するに、根本は人の頭の問題である。上下共に教育尊重の念が起るならば、法の改正は難いことはあるまい、教員も人である、優遇すれば優良の教員は隨て起るのである、教員の素質は低下するといふことは常に聞く所であるが、これは果して何に基因するであらうか。

機略

會寧　幽溪隱士

社會百般の事を處理するに當りては「誠實、熱心」と、「執着、勤勉」が根柢でなくてはならぬ、又夫れが缺けては何事も成功すべきでないと謂ふことは、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

多くの場合、多くの人によりて言說唱道せられるのであつて、亦實際夫れは眞理に相違ないのである。が、爾かし私は尙其上に是非附け加へたい……事實見逃がすことの出來ない……一要件を指摘したいのである、換言すれば、之を脫しては、何だか物足らぬ樣な感を常に抱懷しつゝある次第である。

夫れは外でもない、本文の題目として揭げた「機略」と謂ふ一事である。

凡そ吾人が一事を處理するに當つては謂ふまでもなく至誠と熱情と、そして執着勉勵とを必要の成功條件とするが、尙其上に「縱橫微妙にして且敏活なる施措能力」、所謂「機略」なるものを加味するの一層切要であることを痛感するのである。

今假りに或一人者が、彼の天を貫き神に徹する底の至誠を抱き、加ふるに何者も及び難き溢るゝばかりの熱情を流露し、必らず爲し遂げざれは止まざる執着も、强烈なる勤勉努力を傾注して一事の處理に當るとするも、不幸にして之に對する適當の機略を用ふることを知らなかつたとすれば、其結果は如何であろうか、私は信ずる、夫は蓋し次の如きものであらねばならぬ。

一、熱誠の存在と努力とは認識せらるゝとしても、主要の目的は完全に成就し難い。

二、目的の不成就の上、或は熱誠の存在と努力の不足をも疑はれる(勿論誤解ではあるが)。

三、僥倖的に成功を得るとしても、其間多大の時間と勞苦とを徒費する。

而かも斯かる切要の機略といふことに就ては、世間多くの論者說者が比較的冷視し、言及しない常例的傾向を存するのは何故であろうか、私は常に世の指導者乃至經世家なるものに對して、斯點に少からざる不滿を感ずるのである。

私は思ふ、至誠とか熱心とか傾倒とか執着とか勤勉とか努力とかいふことは、極めて通俗的言辭て、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

何人にも容易に諒解し得るに比して、機略といふことは、説示解明が困難で抽象的言辭では容易に言ひ表はし得ないので、俗に謂ふ「要領」とか、「コツ」とか謂ふ役の「墨繪に書きし松風の音」式で、自然多くの場合此貴重な要件が言説から省略せられるのではないかと、但し事は夫れ程困難ではあるまい、手近な一例を執れば、彼の戰鬪の如きものであろう。

今爰に忠誠無二て、且戰鬪的技能と働作に熱心熟達し、報國奉公の熱情燃ゆるが如き強力の軍隊ありとしても、之を縱横に操率する機略に富む適當の指揮者と、其靈妙の鬼策とが缺けたとすれば、其軍隊の運命の終局は果して如何であろうか。

私は謂ひたい、然らば所謂「機略」とは如何なることか、夫れは事に處するに當つて「機會」を巧妙に把捉し、且「程度」を適切に案定して、之を善用し得べき智的能力であると。

所謂此機略なる個中の消息は、蓋し玄妙機微の間に存するので、言辭容易に中らぬのであるが、私は世の先覺者の工夫に委して、常に言説講話の機に於て、之が切要なる所以を指摘教示に努められむことを望むで止まぬのである。

但し所詮「機略」は實學である、單なる理法を以てしては容易に對者をして首肯せしめ難いのは謂ふ迄もない、私は特に實踐躬行の識者先進に對し、其後進に之が垂教指導を吝まざらむことを切望する次第である。

更に私は所謂「機略」運用の具體的實例を次に紹介して擱筆する。

（田村又吉翁村治復興機略の一端）嘗ては伊豆の三難村として評せられ、後日には我邦三模範村の一として表示せらるゝに至りたる、靜岡縣稻取村に於ける村治復興の元勳田村又吉翁は、夙に機略に富める熱誠の士であつた、彼が村勢振興の爲め旦夕焦慮辛勞の際、當時の村長として一日小學校を參觀したの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

てあつた、然して多數の徒弟が擧措端整、頻りに勉學に耽つて居る態度が、一見家庭に在る彼等と全然別人の如き感があつたので、翁は悟り且大に稽ふる所があつたのである。そして學校を辭するに際して校長に會談を約し、一夜役場樓上に兩人相會したのてある。其際田村翁は端然容姿を整へ禮儀を正して校長を上座に請じ、慇懃に告げて曰く、「余過日偶々學校を參觀したるに學童の擧措態度正しく、全然家庭に於ける彼等とは別人の感があつたので、大に貴下の御辛勞を多とする次第であるが、爾かし亦同時に本村の教育は所謂學校の教育であつて、其校門より外に出てて居ないことをも痛切に感じたのてある、貴下の熟知せらるる如く、今や本村の治勢は極難に陷つて居るのであつて、未來有爲の村民養成は素より必要事に屬するが、現下の狀況に照し寧ろ此際學童以外全村民の敎化訓育を最急要務と信ずる、希くは貴下の德望才識を以て更に進むて本村民全般の教養指導に任じて戴きたいのである、斯くして始めて難治復興の業蹟成就を得む、切に貴下の任俠義心に訴へ速かに快諾を悃望する。」と、熱誠面に溢れ聲淚交々下る眞摯の態度を以て懇說哀願する所があつた、校長も亦遂に翁の至誠の熱情と、其倚信の厚きに感動して、敢然即時附托を快諾甘受し、且其策を謀る、翁乃ち豫め案策せる青年、處女、戶主、主婦の各會組織と、之が教導の方法を具狀し、老幼男女の全村民に涉る敎化普及の方途を確立するに至つたのであつた（後日更に耆老會をも設けた）、そして此夜徹宵謀議互に其成功を誓盟して別れたのである、稻取村治復興の曙光之より輝き、爾來兩々相議して着々偉效を收むるを得たのであつた、田村翁の熱誠素より凡俗無比てはあるが、其用意周到なる神策鬼籌正に常勝軍の慨を示したのは蓋し卓絕せる其機略の發露であつて後事を爲す者の輕々看過すべからざる一要義てあらねばならねと信ずるのてある。

普通教育の普及に就て

京畿道坡州郡　佐々木守巳

内地に於て中等程度以上の學校への入學難、それに伴ふ非教育的教育の實施は、世界に見ない一奇現象である。勿論、初等教育に於ても無理に七八十人の幼童を狹い部屋に收容し、その上二部三部教授乃至は三學級二教員等と稱する變則な教育を執行しあることも、又世界に見ない一珍現象であることは周知のことゝてある　然るに朝鮮に於ける教育の實際は猶一層甚だしい、之れ或は内地に於ける人の知らない一珍奇現象かも知れない。中等程度以上の學校への入學難はまだしも、初等教育すら受くることの至難たる到底想像だもつかぬことゝてある。

四五年前までは普通學校は生徒募集難で苦しんだが、社會の進運に伴ひ一展轉して入學難と變つた。當局は教育策として、募集難に苦しんだ四五年前にその時を標準に立て、教育普及を計るの第一として三面一校を實施した。其の策が當を得たのか、或は裏切られたのか、三面一校を教育普及の最良策としたは非か計畫した、卓見よりは、社會の進運一般の自覺は、一歩否百歩も先に飛び越したのである。

何れ入學難を絶叫するに至りたるは、他より見るときは向學心の向上、教育熱の勃興、何れにしても嘉みすべきことゝてあるが、この嘉すべき機會に志望者の一部又は過半をして、教育の恩惠に均霑せしむることの出來ぬやうにして置くとは、爲政上の一失態ではなからうか。經費其他の事情より中等以上の學校教育を滿足せしむること能はざるは、或は政策上から考慮すべき餘地もあるだらうが、初等教育普及は國家政策から見ても、社會政策から見ても焦眉の急を要する問題である。明治五年の學制頒布の詔勅に於ける、邑に不學の徒なからしむると云ふその御趣旨は、如何なる世、如何なる地に於ても服膺すべきことゝて、社會問題のやかましい昨今特に一日も

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

[illegible]の出來ぬ問題である。普通教育から特殊教育の完備。職業教育普及は勿論、社會教育の充實を見つゝある今日、三面一校の實施を見たり、之れから進んで二面一校、一面一校、而して普通教育の理想境に向はんとするのである。然り而して向學し來る一般學童を滿足せしめ、教育の普及する機も近きにあらん。然れども經費其他の關係上目下のところ之れ以上不可能である。教育を受くることと一年遲るれば一年の損なり、個人としては勿論であるが、國家社會にとつても大なる損であることと喋々するまでもないが、此の間幾年、幾百幾千人たるを知らない。從つて其の損害は莫大である。

現在朝鮮に於ける教育策は、教育する爲めに學校を設けるのではなくて、學校を設けた爲め教育せんとしてゐるのである。故に收容力が限られてゐる學校であるから、如何に志願するともそれ以上は入學せしむることは出來ぬとして拒絶してしまう。教育が主眼であるならば、卽ち教育する爲めの學校であるならば、收容力を限定しないで幾十人でも、幾百人でも收容し教育するのが本體である。校舍が狹い設備が不充分であるならば、二部教授もよいでせう、三部教授もよいでせう。乃至は三學級二教員制もよいでせう。應急的の教育である以上幾則教育も免かれないのである。只普及と云ふことに重きを置き、一人でも多く教育すると云ふことは、個人の利益は勿論國家の利益である。教育すると云ふことが第一問題で、學校云々は第二第三の問題である。凶年にて飢餓に苦しむもの幾百千人あつたとする、之を救ふの資不足であるから、先以て內何十人のみ救濟し、漸次他に及ぼさう、今のところ他は餓死するもやむを得ないとしたならば、この策を以て誰が上々と考へえん。薄くも不充分で先づ以て全部を救濟し、徐に善後策を講ずるは識者を俟たない處置だと思ふ。

朝鮮に於ける教育策は果して之れに類してゐないであらうか、教育を受くるは一部である、他の一部は無教育に終り知的に餓死する。之は大に考慮すべき焦眉の重要問題ではなからうか。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

鮮内通信

○京道地方改良講習會

京畿道に於ける地方改良講習會及び郡屬講習會は、豫定の通り二月十三日より開催せるが、其日割及び講習科目左の通りである。

二月十三日地方行政に關する事項（道地方課長山澤和三郎氏）、副業に關する事項、（道技師小賀野清藏）、文化生活と消費節約（道囑杉氏）△同十五日社會事業に關する事項（總督府社會課長矢島杉造氏）、警務に關する事項（道警察部長馬野精一氏）、稅務に關する事項（道財務部長穗積眞六郎氏）△同十六日地方行政に關する事項（總督府地方課長石黑英彥氏）、社會教育に關する事項（高橋教授）、副業に關する事項（岡田茂次郎氏）△同十七日社會教育に關する事項（高橋教授）、產業に關する事項（道農務課長山内忠市氏）、地方行政に關する事項（道地方課長山澤和三郎氏）、地方改良に關する事項（道内務部長佐藤七太郎氏）

○京城府社會事業研究會

京城府社會事業研究會は十五日午後七時より府立圖書館に於て開會、來會者三十名、開會の挨拶に次いで會務報告あり、社會事業御奬勵としての御下賜金三百圓は基本金として永久に保存することに協定し、終つて「都市生活と都市計畫」の題下にて河野工學士の講話ありて午後九時半散會せり。

○釜山修養團支部發會式

釜山修養團支部の發會式は紀元の佳節をトし、特に東京本部より差遣されたる坂本、妹尾兩幹事及橋本京城支部長臨場の下に十一日午後一時から大正公園武德館に於て擧行された、定刻に至るや三百の青年團員を始め、澤田慶南知事代理、下村財務部長、吉成在鄉軍人分會長、坂田釜山武德會副會長、各學校長、新聞記者一同着席、開會に先ち坂本幹事の指導にて靜座、進拝、心の力の朗誦あり、終つて飛鋪理事官開會の辭を述べ、一同君が代を合唱、本田支部長は攝政宮殿下の令旨を奉讀し、次いで一場の式辭を述べ、夫より會員五島君の支部の組織に關する經過報告ありて、坂本幹事は嚴かに團長の訓辭を朗讀し、妹尾幹事代つて團員の宣誓を受け右終つて飛鋪理事官より齋藤總督、有吉政務總監の祝辭朗讀あり、次で下村財務部長、澤田慶南知事の祝辭を代讀し、池田府學務主任の本團顧問澁澤子爵、森村男爵及東京本部並に當沼修養團理事長、全南知事の祝辭を朗讀し、各支部よりの祝辭祝電の披露、來賓吉成在鄉軍人分會長の祝辭あり、終つて、坂本幹事の發聲にて一同團歌を合唱し、二時三十分飛鋪理事官閉會を告げ、五分間休憩の後直に當日の講習會日程に入り講師坂本到氏は起つて修養團と善化運動の實蹟についての題下に次いで、橋本京城支部長の朝鮮と修養團、下村財務部長の國體の精華と修養團の使命につき、各約三十分の講演あり。

○平南民意箱

平安南道孟山郡に於ては、民意の暢達を圖り、以て郡治上の參考に資せむが爲め先頃民意箱なるものを調製し、郡面の在地適當の個所に備へ付くることゝせり。思ふに其效果期して俟つべきものがあらう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○慶南金融組合聯合會山根理事長

は客年十二月二十八日着任、翌二十九日一瀬前理事長より事務の引繼を受く。氏は金融組合聯合會月報紙上に其抱懐を述べて曰く。

今度、私は本道金融組合聯合會に轉勤を命ぜられ昨日着任致しました。随て今後は、朝夕各位と相携て天職に精勵することを得るの悦びます、卽ち此の機に於て所思の一端を開陳致して置き度いと思ひます。

組合運動の眞髓　私共の仕事は常に力の結合に依つて成就せられます。申す迄もなく、私共個々の力は微弱であります、以て何事をも成す事が出來ません。が、相倚り相助くると云ふ精神の集合體は初めて偉大なる力を創造致します、此の力たるや何事をも成就する所のものであります。而も金融組合は力の纏合體としては微弱たるを免れません。更に組合と組合との結合が、そこに要求せられます。我聯合會は卽ちその現化たるは云ふ迄もありません。而して聯合會を結合する所の、中央機關の創設は近く吾人の努力に實るべきでありませう。

思ふに、協力の發揚には、必ずやそこに相當の試練―個々の見地よりすれば、犠牲とも思はるゝ痛手に堪ゆる力―が要求せられます。私共は何迄も斯る乏しき試練に應へ得る力と、人格とを、養はなければなりません勿論私は皆さんに、犠牲心を、强要する勇氣も、力も、考も、持合せありません、が併し小異を捨てゝ大同に倚ると云ふ事は、苟も社會の一員たるものゝ、悉くが肯定する所でなければなりません。況んや協力の大を信條とする所の、皆さんに之を説くは釋迦に說法の譏を免れますまい。私は常に、組合運動は自己放棄に於ける自己主張である、自己の爲めに自己を捧げるものであつて最も强く自己を主張し肯定するものであると考へて居る、換言するなれば、小我を捨てゝ大我に目覺めよと云ふのが、私の組合運動に對する、不斷の主張であつて、組合運動の成敗は、茲に別るゝものと、確信して居る。若し此點に就て、少しにても、遺憾とする所があるなれば改めたい、否改めなければなりますまい。

安全貸付と貸付金の增大　私は、我が組合の貸付は何所迄も安全第一で行きたいと思つてゐる。而して此の點に關する私の要求は極めて平凡である。(1)組合員に對する貸付は、その力の七分目に止めよ。(2)擔保物の鑑定は、極めて嚴格であれ。と云ふ二つの主張に過ぎない。之が私の拾有余年に於ける貴き經驗に基く叫びかと思はることは、自ら聊か、忸怩たらざるを得ない樣にも感ぜらるゝが、而し、此の簡單なる主張が讀者の頭にどの位の深さに刻まるゝであらうか――！何と云つても、組合の貸付は、その對人たると、對物たるとを問はず、內輪にすると云ふ事が鐵則である安全第一である。茲は是非我が理事者の三省を煩はしたい點である。往々使途が定つて居る以上、貸付金をこぎると云ふことは、使途の適實を誤る所以でないと云ふ人もあるが、それは一顧にも値しない、理想論である。食ひ過ぎは胃腸を害するが控へ目に食餌を採るからと云つて、餓死した例はない。反て一層健康を維持するのが一般である味は茲にある眞理は常に吾人を敎へて居る。然しながら、一方又、貸付金を增大することは、吾人の使命に鑑みて、片時も忘れ能はざる點であるが、聯合會も、所屬組合も此邊に就て、今後一段の、努力を要するではあるまいか、吾々は不斷、手堅く融通する事に心掛けると同時に、廣く低利產業資金を普及す

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る事を、工夫せなければ責任を疑はれても仕方がない。低利資金の枯渇してゐる、地方の實情を知れる吾人は、之を霑す泉でなければなるまい。吾人の貴き使命はそこにあるのである。私共は日常克く源を養ひ渇せる蒼生を霑さなければなるまい。

資金の涵養と預金　借て金を貸すと云ふ事が、吾人の大きな仕事の一つである以上、吾々は其の資源を養はなければ、なるまい。吾人の努力は、そこに要求せらるのである、經營の苦心、玆にあるべく慰安も亦此所より求めらるゝであらう。此の點に就て、今具體的方針を陳ぶることは避けよう。而し地方の狀態と組合の信用に鑑て、餘り多くを期待しない、吾人の努力に對する、報酬と云ふものは、必ずしも大ではあるまい。自ら限りがあらう。否寧ろ、此レベルを超へての仕事は、無理が伴ふ恐れがあらう。

そこで、私は此點に就て差當り(一)組合の短期貸付は資源は可成自力で造ることに努むべきである、又其可能性がある(二)組合の長期貸付資源は聯合會の融通に俟つべきであると考てゐる、短期貸付は資源の消化に困憊して居るのも、長期資金の借入金を短期に流用して整理に苦惑して居る向も將た又、短期貸付資源に枯渇して居る組合も顧みて經營の缺陷を講究せらるべきであると思ふ。

○水稻原種畓並水稻採種畓經營綱要

咸鏡南道內務部長は二月二十日付を以て左記の通牒を各郡守に宛てゝ發したり。

水稻奬勵品種普及更新計畫に基き水稻原種並水稻採種畓の經營に關しては大正十年三月二十二日付農第二一七號農蠶業技術員會議に於ける協定事項に關する件中農事奬勵計畫遂行上必要條件及其の實行方法に關する件に規定通牒致置候處其の後實施の狀況に鑑み取捨改廢を要する事項を認め且つ其の經營並指導監督上に便ならしめむが爲め今回別紙水稻原種畓並水稻採種畓經營要綱を定め施行致度候條該要綱に依り經營上萬遺憾なきを期せられ度尙米作改良奬勵に關しては從來主として奬勵品種の普及に其の全力を傾注せるも今や時代の進步に伴ひ更に進んで耕種法の各般に亘り其の改良を斷行し益々該品種の特性を發揮せしめ產米改良の實を擧ぐること愈々急を要するに於ては本道現下の稻作狀況に照し之が改良を必要とする事項を別紙乙項耕種方法の通り取纏め產米改良增收の根本方針を決定致候條一般當業者中特に米作に熱心且つ篤農家たるべき水稻原種畓並水稻採種畓の經營者をして其の經營に對し必らず該方法により之を實施せしめ優良種子の生產に努むると共に一般當業者の模範たらしめ以て產業の改良增殖を期せられ度依命及通牒候也

（別紙水稻原種畓並水稻採種畓經營綱要略す）

○咸鏡北道慶源郡內慶源郡行政研究會

同會に於て同會長申郡守が本年初頭に試みたる講演にして前號の續き左の如し。

第二　事務は實務的才幹の發揮を必要とする

理由

一、**思慮は周密決斷は迅速**　決斷力に富んで居る人が少しも逡巡躊躇せずに、流るゝが如く處するのは誠によいが、併し斯樣な人の通弊として、其の用意の粗漏である爲めに後に之を悔ることが多い。又之に反して、考へが緻密に行き渡つて、常に過ちの少い人は、何うしてもその決斷が鈍い。爲めに機敏に事を處するの働きがないのである。思慮は周密にして決斷は迅速、此の兩用共に宜しきを得ることは事務の資格の最

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

要件であるが、併し此の所全は極めて六ケ敷いのである。

二、過失なく鈍い人、失策の人　仕事に過失はないが鈍い人、又仕事は機敏であるけれども失策の多い人、之は第一は人々の性質に依つて分る。尙更に年齢の加減にも依つて違つて來る。例へば概して壯年時代には果斷力に富んで居るが、其の思慮は年老なるに從つて周密になるが、決斷力が鈍る。次には境遇に依つて分れて來る。例へば田舍の人は丁寧ではあるが併し機敏ではない。都會の人は機敏ではあるが、併し田舍の人程同じことを幾度も繰返し、考へ直し方々へ行つて相談すると云ふが如き事はないのである。次には時代の影響に依つても違つて來る。例へば昔の人の考へは甚だ疎漏であつた、唯果斷一方で仕事を取つた、けれども今日では昔のやうなやり方ではとても行かない。社會の發達上疎漏が段々少くなつて、萬事緻密に進んで來た。それと同時に果斷の方が段々鈍くなつて居る。

三、錯綜せる事を一括せよ　凡そ一件を斷行せむとするに當つて、必ず色々と複雜した關係がそれに纏綿して居るものであるから、その爲めに果斷を妨げられることが多い。故に一口に云へば先づ其の纏綿したる關係を取り纏めて、之れは　である。あれはあゝであると殘らず概括して其の利害の點を緻密に調べる。之だけの害はあるけれども、又之れだけの利益の點もあると、其の利害の關係をはつきり調ぶれば、如何なる面倒な事件も容易に判斷を下すことが出來る。一度判斷を得た後は、最早逡巡せず、どし〳〵決行するばかりである。幾ら緻密に考へを廻らしても、直ぐ實行しなければ、下手の考へ休むに似たりで、周到なる用意も何の役にも立たぬ、我等は大體に於て此の方法に依り、仕事を行ふことに主義を取つて居るが、用意周到と共に、一段定めてあることは直ぐ實行に取り掛ると云ふ、實行の果斷を失はないと云ふことが實務上の最大要件である。

四、盲斷、蠻斷　果斷も精確なる果斷後で悔ゆるやうな果斷は、寧ろ之れ盲果斷或は蠻果斷とも云ふべきものであつて、全く無用有害である。所が世間には果斷と云へば盲斷、蠻斷が隨分多いのである。精確なる果斷は極めて少いのである。凡て精確なる果斷は前に述べた通り、先づ其れに必要なる材料を充分に蒐めて公平なる觀察眼を以て精確に其の利害關係を調ぶることである。之れさへ出來れば判斷に過ちのある筈はないのである。所が材料蒐集が不充分であゝ、觀察が疎漏である爲めに、僻見或は謬見に陷つて、飛んだ處で間違が生ずることが屢々ある。例へば四角い火鉢がある。それを三方だけ見て、他の一方を見落したものがあるとすれば、其の結果は非常な間違になる卽ち其のものが火鉢の面積を計算すれば、四角なものを三角で計算して居るから、面積は半分しかない。其の計算には間違へはないけれども、計算の根底に謬がある、卽ち判斷する材料の取り纏めに、疎漏がある爲めに甚だしき僻見謬見に陷つて、飛んだ判斷を下す始末になつて居る。世間に此の種の例は幾らもある。殊に多くの學者が屢々此の謬見をなして、少しも氣付かずに居る事が多いような譯である。

五、萬人萬樣の判斷法　世間の總ての判斷は、皆一つの利害の上に立つて居ないものはない。利少くして害多きものを去り、利多くして害少きものを取るは人情の自然で

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ある。如何なる人の如何なる判斷も、皆利害の關係を基礎として割り出して居るから判斷の仕方には殆んど誤るものはない。唯其の過失或は誤謬の根本は、判斷に必要なる材料の取纏め方が疎漏であるか、或は材料の觀察の仕方が明確でない結果である。

余が今日迄の經驗を以て言へば、或る事件に就て判斷を下す場合に、蒐めた材料を取り纏めて、考へを凝すには、大概靜かな所に閉ぢ籠つてやる。人の話を聞くと之に就て皆色々の癖があるやうである、或庭園の森の中をぶらつき歩き乍ら考へると云ふ人もある。或は靜かに椅子にもたれて考へる人もある、夜がよいとか、朝がよいとか云ふ人があるけれども、斯う云ふことは出來る人はない。併し實務室にありて、難しい事件に出逢つた度毎に庭園に行つたり、一室に籠つたりすると云ふやうな事をして居ては、仕事が捗取らないのである。併し大事件は一室で考へた方がよいように思ふ。

一、事件判斷の根本　一事件判斷を下すに就て其の判斷の材料を蒐めるには、余の經驗では靜かな處よりも寧ろ忙しい所がよい。それと云ふのは事務室で雜務を執りながら材料を蒐める。目に物が觸れたり、耳に雜多の事を聞き乍ら、一寸々々と事件に關係ある事柄と思ふものは手帳に書き付けるか或は符箋を附け置く、或は鋏で剪り拔く、（剪り拔くことは場合と考慮を要す）之は非常な便利でちつと考へて居てもなか〳〵時間がかゝる。雜務を執り乍ら不圖思ひ出すこともあれは、思はず耳へ這入ることもある。斯うして寸時も怠らず材料を蒐めて其の事件に關した事は、殘らず取り纏める。材料の蒐つた以上は、解決は一刀兩斷で進む方がよい。

七、同じことを繰り返す事　世間普通の人が六ケしい事件を考へる方法を見るに、如何にも考へ方が惡い。此の事件は何う處置すればよいかと一寸考へて見る。所が容易に考へがつかぬから、ついぞやめて了ふ。又考へて見。けれども前と同じ處迄考へて其の先の考へが出て來ないので又やめる、其後も又考へて見て何時も同じ所までしか進まない。何時迄經つても決着が付かない。是れはよくある例であるが、人に物を賴んで「此の頃迄に考へて異れ」と賴む。暫く經つて其の返事を聞きに行くと「あれは考へて見たが一寸考へが付かなかつたから、ついあれきりになつて居る」と云ふ。善かれ惡かれ、何とか道を付けて置けばよいのに、何とも型がつけないから、賴んだものも賴み甲斐がない。世間の決斷の鈍いもの、はき〳〵事を運ばす事の出來ないもの、急な用事の間に合はないもの、大事を托するに足りないものは、皆此の種の優柔不斷の徒輩である。

八、焦れては解決が付かず　容易に解決の着かない事件を解決しようとするには、初めより立派に考へを纏めて行かうとせずに、最初は兎に角その大體を決定することが必要である。之れは斯うならなくてはならぬものと云ふ大體を定める。然る後要點〳〵を白いとか黑いとか考へを付ける。さうすればその翌日になつて考へ直したにしても、昨日の考へと比較が出來る。昨日は此の點を定めて居たが、併し斯う云ふ事實を見落して居た。實は白いのであつたと云ふ樣に、段々と考へを進めることが出來る。此の方法で考へれば、如何なる難問題でも、其の解決を下すのは何でもない。然るを大體を定めずに先づ小口より「斯うてあ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

か、あゝであらうか」と狐疑逡巡して居るから、遂何時迄經つても解決のつかない始末で終るのである。先づ事務に當つての判斷は斯う云ふ處に置いてやれば決して間違へはない。是れ實務才幹と云ふ内の、最も重要な部分に屬するのである。

九、敏捷は斯くせよ　事務はなるべく敏捷に處斷しなければならぬものであるが、何うも内鮮人は理想通りに敏捷でない。蓋し原因は種々あるに相違ないが、結局は内鮮人の風俗習慣が、敏捷に事務を取るべく出來て居らんからであらう。例へば内鮮人は習慣上坐つて事務を見る癖がある。坐つて居た日には自然立つことが臆劫になる。臆劫になる處から、つまらぬ事にも直ぐ人を使ふ様になる。火箸一本倒れたと云つて給仕を呼んで起させると云ふ始末では、實務の成績が擧る譯はないのである。）

而して事務を簡易にし、所謂繁文縟禮を省くことでありますが、役所にしろ公共團體にしろ、仕事を早くして行くと云ふ事は、社會公衆に利益幸福を與へる處の要諦である。例へば諸請願届や、認可許可等が、一日早く濟めば、一日だけ餘計に利益を受ける、二日早ければ二日だけ利益を受ける譯になるのであるから、此の點に於て我々官吏たるものは、所謂役所風でなく着々事務の進捗を計り、出來る丈け繁文縟禮を省き、又事務が進捗する様に工夫施設をして行くと云ふことにせねばならぬ。余は或る雜誌を繙いた處が、水野内務大臣は大阪市公會堂に於て消費節約に就ての演説の中に以下の如き御話が書いてある。之れは電報の話でありますが『電報の如き實に無駄に使はれて居る、手紙でやつて事の足る様なことを電信でやつてゐる、手紙で大體のことを書いて「委細電信」と書いた（笑聲起る）者が居ると云ふ話もありますが、兎角電信を濫用する、遞信省では電信料の收入が増すと喜ぶかも知れませんが、國家全體の上から云へば成るだけ節約しなければなりません、單に節約と云ふのは費用の點のみを云ふのではありません、前に遞信次官をして居られました前島密と云ふ男爵其の人が、地方へ出張に行かれた時、隨行の人が電報を打つ時一々自分で其の電文を直したさうである、「只今着御安心あれ」斯ぅ云ふ樣な電文があつた時に、君は之を直せ之れは餘計だ「今安着」之れだけで宜しいと言はれた、然うすると屬官が閣下電報料に違ひありません同じ二番信ですからと云ふ、前島閣下は聲を激して「我輩は電報料の多少を言ふのではない。電報に長きことを書くと電信局では之を取扱ふ人が夫れだけ手數が要る、手數が要れば夫れだけ時間を要する、發信局で手數を要すれば着信局でも手數を要する、是れは單に我輩一個人のことであるが、多くの人が斯う云ふ事に餘計なことを書くならば、それだけ電信局の手數を要し、時も要し、隨つて電信局の事務員も餘計に要ることであるから敢て電信料の多寡を論ずるのではない、今後に於て總ての事務は斯くせよ」と言はれたと云ふ話でありました」如何にも尤もなることで、所謂人の能率を高め、若くは無駄の手數を少くし、事を敏捷に處理すると云ふ心掛けからの注意である。

一〇、眞の勇氣を以て仕事を迎へ　實務に當つては勇氣が伴はなければ、少し込み入つたところになつて直に厭になる。畢竟後廻しにしようなどとのよくない考へが起る。左様すると仕事に追はれなければならぬこ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

とになる。所が勇氣を出して仕事をやれば常に愉快である。困難と云ふ事に遇はない。早く捌くことが出來る。兎角何れ丈の得になるか分らない。

仕事を追ふてやるのと、追はれてやるのと何れ丈の違ひがあるか知れない。仕事には決して追はるるものではない。追はなければならない。之丈の餘裕があれば人は常に愉快を感じて居ることが出來る。實際仕事に追はれて居つては遊んでも遊ぶ氣持にならないのである。

それには何うしても元氣が大切である。空元氣を出して見た所で詮方がない。空元氣は永く續かない。何時かは衰へる。何うしても眞の勇氣でなければならないが、眞の勇氣は其の仕事に趣味を有するところに依つて、始めて出るものである。趣味なく不愉快勝の勇氣は空元氣になる。趣味を以て仕事をするのと、然らざるのとは何れ丈の損得があるか知れないのである。

一一、頭腦冷靜法を守れ　大に頭腦の疲れたのは、身體の疲れたのよりも一層酷く感ずる。殊に我等のやうに兎角國家の重要事務を預つて居る者は、第一頭腦の働きが敏捷でなければならんのであつて、若し疲勞して居ると敏捷な働きも、入り込んだ事務も判斷することが出來す、それに精力が續かなくなるのである。精力が續かないと、實務に當つて到底巧妙にやれるものでない。

其處で余は此の疲勞した頭腦の冷靜法に努めて居る。先づ日曜とか大祭日には、一切の俗務を忘れるやうな方法を執つて居る何う云ふ方法かと云ふと、庭に出て鋤を携へて野菜畑を耕作するとか、或は改良鷄を飼養するに鷄舍の掃除をやるとかにして、一日樂しく働くと、第一平常頭腦は餘りに多く使用し過ぎてを居るが、運動の方が不足して居るのを補ふことも出來るのである。而して自分が作り、自分が飼ふたのが期節になつて食べられる丈の野菜が成長し、又は人の希望に依り、交換若くは配付に應ずる丈の改良鷄の雛卵を得ると云ふことは、實に何とも云へない愉快な心になるのである。余は常に思つて居るのであるが、假令自分の頭腦冷靜をやるにせよ何か收獲がないと面白くない。人に依つては謠曲をやるとか、或は書畫を樂しんで精神の娛樂とし、精神の疲れたのを忘れて居る人もある、之れも或る意味に於て非常によい、娛樂である。且つ高尚であつて奬勵すべきものであるけれども、併し是れは收獲がないから。何時迄經つても張合がないのである。或る職員に於ては魚釣を樂んで居らるることであるが。是等は大に收獲のある運動であつて、且つ頭腦冷靜に叶つて居ると思ふ。

（了）

○慶尚南道の表彰

慶尚南道に於ては去月十一日の佳節に左記面長面吏員其他に對し表彰を行ひたり。

金海郡長有面長[illegible]璡氏　河東郡辰橋面長姜永熙氏　咸安郡竹南面長趙秉錫氏　陜川郡妙山面長鄭[illegible]鳳氏　金海郡進禮面長宋世勳氏　梁山郡東面書記許漢亭氏　同郡熊山面書記徐鎭[illegible]氏　河東郡花開面書記金太性氏　居昌郡熊陽面書記李鉉奎氏　陜川郡太陽面書記李英淳氏　昌寧郡昌寧面書記河柄赫氏　金海郡下東面書記金珣載氏　固城郡介川面書記崔式林氏　河東郡古田面書記鄭鍾和氏　昌寧郡南旨學校組合管理者川合圭一氏　居昌郡居昌學校組合管理者芳川佐内氏　金海郡金海水利組合理事三澤武衞氏　同郡金海學校組合書記高瀬久逸氏

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

海外

“Ze Ceety Pays”

ハロード・エイ・キャパン

逢ひ此の頃の事或る暖い日に。私は紐育市内のとある公園のベンチに腰を下して居りました。其の筋向ふのも一つのベンチには、親揃て頑健さうな一家族が、楽しげにお辨當を食べて居るのでした。此の人達か一家族だと云ふ事は、よく似てゐる其の容貌を見たゞけでも分りました。勿論ポパさんも居れば、モマさんも居る。小供達は二呎六吋位の小さいところから、三呎一吋程の大きな者まで五六人も居て、何れも此れも皆ニコ／＼して居りました。其の筈です。お天氣はよし、結構なお辨當を食べて後片付けはせずも可しと云ふのですから。

やがてポパさんは、ビスケットでも出て來さうなボール紙の箱を一人の小供に渡しました。小供は其れを受取ると、上包の紙を滅茶々々に破り始める、と紙片は風のまに／＼八方に飛び散つて行きます。ポパさんは人の善さゝうな顔をしてニヤリ／＼其れを眺めて居るのでした。

其の時私は、公園内の人夫が紙屑を拾ひ集める様子を思ひ浮べました。誰も御存じの筈です。老年の人夫がスパイクの付いた棒と袋とを持つてやつて來ては、紙屑を一片々々突き刺しては袋の中に入れる。斯んな具合にやつても、彼は一日には隨分澤山な紙屑を拾ひ集めるのです。

それから私は、此の人夫の外にも多數の紙屑拾ひの雇はれて居る事、彼等に支拂はれる費用をも考へました。一體なら人々自身に拾ふべきものだし、又決して斯の様に撒き散らすべきものではないのだ。シカゴの南公園では、此の紙屑拾ひの爲めに、年々二萬八千弗を費すと云ふ事を思ひ出しました。これだけの金があれば水泳場も出來る、運動場も出來る。其の他庭球のコオトでも何でも、隨分金の使ひ甲斐あるものが出來るのに莫迦らしい話です。

で私は此の人達に一言云つてやるべき機會だと思ひましたので、近寄つて申しました。

「君、君、あんなに小供に紙を裂き散らさせてはいけないぢやありませんか、あの紙屑は皆拾ひ取らなきやならないでせう。而して其の費用は君や僕等が出し合ふ事になるのでせう」。

ところが彼は上機嫌にニコ／＼顔で申すのです。

「否、否、ちつとも構はねィだよ、市で彼奴を拾つて呉れるだから、乃公等一文も要らねイだよ。」

「さうです、ですけれど」私は尚ほ云ひ張つた「ですけれど、一體市と云ふものは何か、君は御存じないですね、君や僕や其の他總ての市民がつまり市なんだ。斯う云ふ仕事が皆税金を出し合つてるんだ。吾々は皆税金を高くし、雜貨や衣類や家賃などゝいやが上にも騰貴させるのです。」

「否ーえや、あんたも分んねイ人だな、乃公等一文も出さねイだよ。市でお金を出すだよ。」彼は頑強に主張するのであつた。

斯う云ふ人を納得させるのは容易の業でな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いと知つたので私は斷念しました。

○自動車のお風呂

米國でも矢張り自動車が泥まみれになる事があると見え。之れを簡單に洗ひ落す方法が案出された。此の考案が始めて實行されたのは、ミネソタ州のセントポール市であつた。先づセメントで固めた一つの大きな水溜を造り、其れに水を充たす。何の事はない子供等が遊ぶ水泳場と云つた形である。水深は周圍が五吋で、中心に近付くにつれて次第に深く十七吋迄を限りとする。自動車を洗ひたいと云ふ希望者は、番人に僅かばかりの入場料を拂ふと、番人は射熱器の上にゴムの蔽を掛けてくれる。自動車の主は直ちに件の水溜の中に車を驅り入れ、適度の水深を計つて縱横に乘り廻す。すると池の底に波狀の鐵が造られてあつて、車體の進行につれ水は自然に波立つて、車體の底や側に付いてる泥を奇麗に洗ひ落して呉れるのである。出口には別に水道栓がある。尚ほ車體其の他を手落なく洗ひ得る仕掛になつてる。それから簡易な電氣の乾燥裝置を經て仕事は完了する。

水溜の水は、日に二回宛清淨な水と入れ代へる。自然底の中央に溜る泥は、別にホースを用ひて沈澱池に押流す。此の裝置の利益は從來普通の自動車掃除よりも僅に五十分間は時間を節約し得る事で、單に泥を洗ふだけならば、三分間あれば充分なさうだ。

同じ企業家達は、之れと同樣の水溜（之をポールと稱してる）を各都市に設けて、自動車乘りの便宜を計る意氣込なさうだが、何處よりも眞先に造つて貰ひ度い所が東洋にある事を殘念ながら御存知あるまい。

○水上に建てられた都會

水の都と云へば、誰れしも先づ指を伊太利のヴェニスに屈する程に、此の美しい大都會は取り置きとして、其の外全く水上に建てられた大都會はと云へば、ボルネオ島のブルネイと呼ぶ町を第一に數へなければなるまい。此の町は、ボルネオ島のブルネイと云ふ同じ名の獨立州内にあつて、外洋とは遠く隔絶し、文明人種とは全く交通がない爲めに、少しも其の名を知られて居ないが、馬來人種から成る住民の數は約一萬人、一時は其の二倍もあつた事があると云ふ隨分繁華な都會である。市街はすべてブルネイ河と呼ぶ矢張り同名の河の流れの上に建てられてゐる。兩岸の青々とした丘に圍まれて、島の如く水上に浮ぶ。市街の長さ二哩餘、家屋はすべて水に腐蝕しないやうに、一種の棕櫚の木の杭の上に建てられてゐる。勿論全部が木造の平屋で可成り原始的な構造である。

此の町で最も奇異なる特色は、一萬の住民が悉く其の職業に依つて住居區域を異にし、それ〲嚴重な區劃の内に相分離して生活して居る事である。即ち金屬を取扱ふ職業の者衣類を製造する者、漁師、商人と云つた風に各職業別に住居區域を分け、それ〲の部落は水路に依つて分離されてる。而して各分離された區域は、竹を張り渡した幾列もの市街を通じてゐる。

水上の都會であるから、市場は元より水上に開かれる。此の目的の爲めに市中の一部分は特に廣き水面を殘してある。市日には町の婦人達と、附近の田舍の婦人達が、朝早くから船を仕立てゝ此の市場に落ち合ふ。町の方からは魚類や各種の製造器を持ち出し、田舍からは果實や野菜や、其の他山の産物を持

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

済つて互に物々交換を行ふ。水の都の女も、山の女も、一樣に不思議な丸い大きな藁細工の帽子を冠つて居る。其の形は鉢を引くり返したやうな物で、直徑三呎から四呎半もある。（蓋し酷烈な日光を避くる爲めに、菅笠やうの笠を冠つて居るのだが、其れとは御存知なき白人が帽子を冠つてると一流の觀察を下すところに反つて愛嬌がある。）

○重寶な「人間蠅」

或る時米國華盛頓府の官憲で、府内の郵便局の高塔に少しく修繕を要する事があつたので、適當な職人を求めたがなか〳〵見當らなかつた。すると一人の吏員が「人間蠅」と云ふ不思議な綽名を有する人間の事を思ひ出して、早速其の者を呼出すと、程なく出頭して來て仕事の現場を見せられた。

「何です斯樣な仕事ですか、譯アありません」といきなり受合ふので、驚いたのはお役人達である。

「だつてお前達か、足場掛か準備が入るぢやないか」

「何だの足代だのつて、そりや素人衆の云ふ事ですよ。私は其樣な物を使はずに歩いて登ぼつて行くのです。だから「人間蠅」と云ふ肩書を頂戴してるんです。」

「それぢや此の壁でも登ぼれると云ふのか。」役人は何にも取付場のない壁を指して、餘りに人も無げな此の男をへコマしてやらうと云ふ了見であつた。すると其の男は「登れますとも」と云ふ言下に、小鞄の中から妙な靴と手袋とを取り出して、其れを身に着けるかと見ると壁に取り付き、正しく蠅の身振其の儘ですする〳〵と天井に頭がつかへる迄登つて行つた。

此の男は其の名をフレツド・サマランドと云ひ、ロスアンジェルス市の産で、既に三十五六年間も此の同じ仕事に從事してゐる。「人間蠅」と云ふ綽名は彼の最も得意とするところで、獨り生れ故郷の米國のみならず、歐洲諸國までも其の名を知られてゐる。彼は是迄にワシントン記念館に登る事七回、巴里のエツフエル塔の塗替へ工事もやれば、獨逸はケルンの大本山の尖塔上でも働いた事があり、英國グラスゴーなる化學工業所の大煙突にも攀ぢ上つてゐる。

彼の專門の職業はペンキ塗り、急勾配の屋根や旗竿の修繕である。之れは普通なら總めて危險な仕事で、一寸した修繕にも足場掛を要するところから、費用も容易な事ではない。そこでサマランドは此の足場掛の代りに、一種の靴と手袋とを考案したのだ。其れには一種の吸ひ付き仕掛があつて、之れを用ひて一旦壁面に吸ひ付けば、千五百磅の重量を加へられても容易には離れないと當人は誇稱してゐる。併し近來彼は非常に肥滿して重くなつたので、吸ひ付き靴手袋の代りに多くは腰掛けて釣り上げられる方法を用ひてる。

彼の職業や綽名などから考へると、いかにも細そりした小男のやうに思はれるか知れぬが、實際は反對で身長こそ餘り高くはないが、ズングリト肥えて、一見頑丈さうな男である。斯んな恐い物知らずの無神經らしい男でも、やはり人間だから仕損じと云ふ事はあつて、是れ迄に二十一回も何百呎の高所から轉げ落ちるやうな椿事があつたが、不思議にも何時も生命を取り止めてゐる。或る女の豫言者が、二十八回目には屹度死ぬと豫言したさうだが、彼はそんな事には全く頓着なしだ。隨分辛い目は見てゐるから徐々怖氣が付きはしないかと或人が聞いたら、「人間にはそれ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

〵死期があります、其の時期が來る迄は私は決して死にやしません、併し又其の時が來れば何物も私の命を助ける事は出來ません」と答へたさうだ。

○藥に勝る信念

そんじよ其處らに澤山活神樣や、精神療法の大家などが轉がつてる國には、敢て珍とするにも足りないが、これは、佛蘭西と云ふ檜舞台に現はれたエミル、クエーと申す老人、斯術に掛けては世界的の盛名ありと傳へらるゝからには、一寸紹介の勞を取るだけのものはあらう。クエーはナンシーに生れ、夙に醫藥に依らざる療法の研究に志し、兼ねて精神々祈學の造詣も深かつたが、遂ひ近年迄は其の名をすら知られなかつたのである。ところが例の歐洲大戰に會して、頓に其の存在を認められ、ナンシーの治療所は日々百名の患者を迎ふるに至り、越へて一千九百十九年、首都パリに出づるに及んでは、獨特の靈腕着々其の效を奏して、遂に國內を風靡して了つた。一昨冬は海を渉つて英京倫敦に遊び、カーゾン卿夫人を始め多數の人々を病苦より救ひ出し、時の大宰相ロイドジョージ君と聲名を分つの觀があつた。で今度は愈々米國に押渡り珍らし物好きのヤンキーをアツと云はせて名實共に世界の大家たる事を明らかにするのださうな。

クエーの强味は彼の容貌其の物である。患者一度彼の面前に立たんか。彼の顏面に溢るゝ春風の如き微笑は、直ちに患者を魅了し、斯人必らず吾を救ふと信ぜずには居られないと云ふのである。クエーは斯う敎へる。「吾等の身內には無量の力がある。此の力は之を無意識的に用ふれば、往々にして不測の禍を釀す事がある、之れを意識的に正しく扱へば、唯に自己の疾患を治癒し得るのみならず、如何なる症狀である他の病人でも之れを救助する事が出來る」と。

彼の信條は、若し人が或る事を爲し得と自らを說服し得れば、其の事にして可能性ある限り必らず其れを成就し得ると云ふにある。即ち彼は意志に對して一種の想像力を立てる。而して彼の所謂意識的自働暗示に依る自己支配を以つて、此の想像力を働かすのである。簡單に云へば堅き自信に依つて想像を實現さすのである。

彼は此の大方針に基いて患者に對するのであるが、云はゞ唯臨機應變で一定の技術などはない。或る鍛冶屋さんで片手の不自由な者が、彼に治癒を求めて來た時、彼は權威あるものゝ如く聲を勵して云つた「お前さんは十年來自分で自分の手を肩から上に擧げ得ないと思ひ込んで來た、サア今度は、私は手を擧げ得ると思ひなさい、サア早く、私は擧げれる、私は擧げれる、と思ひなさい」其の鍛冶屋さんは不思議の力を得て歸つて行つた。而して早々工場の鐵床の前に出て槌を握つた。果して其れから再び原々通り働ける身となつたと云ふ。

○人と動物との腦の大きさ

人間同士では腦の大きい者が比較的知能も優れて居ると云ふ通り相場になつてる。ところで和蘭はアムステルダムのウエーベル教授の說に依ると其の絕對重量に於て人間の腦よりも重い腦を所有してる動物は象と鯨だけで其の他何んな大きな動物でも人間程重い腦の所有者はない。併し身體の總重量と腦との比から云ふと人間の上に列せらるべきものが二三ある。其れは何れも比較的身體の小さい者ばかりで諸種の猿類や栗鼠族の一種や二十日鼠などが其の中に數へられる。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

内地だより

○長崎縣の漁業是

長崎縣に於ける水産業は逐年發展しつゝありと雖も、新漁場の開拓、漁業經營法等に至つては、尙未だ幼稚の域を脱せざるものあるので、縣當局では徹底的に之が改善を計るべく、今回漁業是を策立し、將來の計畫を樹てる事となつたが、從來同縣水產業が地の利を得乍ら、比較的遲々として進まざりしは

一、民間に於ける水產團體、殊に漁業組合の振はざる事
二、漁業組合の指導監督の不徹底
三、水產に關する知識の幼稚
四、水產資金の缺乏
五、沿岸漁業に跼蹐する事
六、販路の擴張に關する施設無き事
七、漁場の數從に多く整理の之に及ばざる事。

等の缺陷が重なる原因であるが故に、大體方針を樹つるに當つては之が矯正を以て根本となし、而して水產業の指導奬勵を其根本要義として、指導奬勵が縣下斯業に幾何の影響を及ぼすべきかを考究し、斯業の實際に觸れんとする方針である、殊に補助政策は事業啓發上肝要の事項なるも、若し之が事業の進展を誤る時は、寧ろ弊害を助成すべきに依り、補助を與ふる事業の施設は

一、其漁業が縣下重要漁業なるか、又は將來重要漁業たるべき要素を備へ、補助金を交附するに非ざれば到底改良・實を擧げ能はざるもの。
二、新規事業又は將來有望と認むべき事業にして、補助金を交附するに非ざれば事業の遂行困難なるもの。
三、施設事業の成績優良にして、他の模範となるべきものに對し一層の改善を期せしむる爲。
四、特定の方針を定め、之が實現を期する爲に其事業に着手するもの。

に對して交附し以て當業者の覺醒を促すを本義とし、大體の方針を次の如く定めたりと

一、生產額の增加を計る事
二、漁業組合の內容を改善充實せしむる事
三、水產に關する知識を普及せしむる事
四、漁村生活を向上せしむる事
五、水產物の販路を擴張し水產貿易の進展を期する事。
六、漁業組合の改善を計る事。
七、漁業組織の改善を計る事
七、遠洋漁業の奬勵
八、漁業監督の勵行
九、漁業免許及許可を迅速ならしむる事
十、水產會の設立を督勵する事
十一、漁場の整理を行ふ事

○堆肥デーの設定

農民生產品費の最高なるものは、金肥の購入費であるが、長野縣では金肥の節約のため、之に替ゆるに堆肥の造成を奬勵してゐる、今堆肥造成で成功してゐるところの一例を揭げると、東筑摩郡の片丘農事組合では、從來二十五町步の耕地に對して金肥二千二百七十餘圓を費して來たが、堆肥を奬勵して以來

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

最近七萬五千七百五十貫を造成したところ、金肥購入費は約一千二百五十七圓となり、堆肥奬勵前の約半額に減じて、農産額も增收を來たしてゐるが、その堆肥奬勵法は最初組合員が相互に金肥の三割以上を自給堆肥にて補はふと云ふ申合せをなし、堆肥デーを設定して、その日には任命された肥料主任をして、各組合員造成の堆肥を檢査すると云ふ方法を執つてゐて、成績は極めて良好であると云ふ。

○自治訓練と生活改善

京都市は十二年度豫算に於て社會教育課を新設したるが、その豫算說明によれば總額一萬四千四百五十八圓の內、從來社會事業諸費に於て支辨して來た費用中から、四千三百圓及び從來學事諸費に於て支辨してゐた壯丁教育程度調査費の三百圓とを加へて、所謂市民の社會教育を實施せんとするものであるが、市理事者は果して如何なる用意と抱負を有するか、然して京都市に於ては素より東京大阪市の如く徹底に近き施設を希むは、到底注文多くして財力之れに伴はないを勿論である、只然し目下の考案の一部を窺ふに、市民の思想善導の爲めに市民講座を設け、公民科、職業指導及紹介、生活改善、一般社會事業都市計畫の諸科目を包含せしめて、隨時市民を教導するとし、體育奬勵には各種團體の會合運動を指導し、公共營造物や社寺を開放して之を利用し、その他懸賞募集や各種展覽會音樂會を催し、活動寫眞を應用して一般市勢を知らしめ、市民をして京都市の現情を知悉せしめようとする腹案である、かくして市民讀本の編纂、固定及巡回通俗圖書館等を漸次施設し、市民の自治生活の訓練や、生活改善に向つてその目的に近づくことになるのである。

○青年團の奉仕的道路改修

愛媛縣伊豫新居郡多喜濱村荷內から宇摩郡の天滿村に通ずる郡道は、從來粗惡にて人馬の通行には故障が生じて、村とても限りなき厄介を醸しつゝあつたが、同村荷內部落に於ける青年團では、我村內に斯うした厄介至極な道路の有る事を頗る憂慮する處ありしが、昨年一月頃青年團は協議會を開き、その結果として自發的觀念から起つて該難道路に對する改修工事を計畫した。青年の總ては奉仕的勞力を犧牲に供して改修に努力し、約一ヶ年の後には實に見替へるほど立派な完全な道路に改修する事を得たので、村としては全く該道路は青年の賜として深く喜び、更に道の難所として堪へず通行人が迷惑を感じて居つた、河川下流に於ける渡船場架橋工事が今回工事竣成を告げ荷內橋と命名した、新居と宇摩の兩郡境とは、お船山に續く一帶の山脈であつて、何れを廻りても通路は極めて難所ばかりであつて、鐵道省に於ても豫讃鐵道の布設には一大難工事と目されてゐる多喜濱トンネルを拔いて居る程の難所である。そこ丈に兩郡の人々は荷內橋の出來たのは絕大の喜びを持て居る、兩郡に取ては頗る有便な荷內橋が出來るに至つたりしも、みんな荷內青年團の賜として深く感謝して居る。

○災害警防の動員計畫

北海道に於て、夏季より初秋に亙り河川溝渠氾濫に伴ふ、浸水其他の被害は毎年の例にて、之が警防方法に關し、道廳警察部にては

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

昨年七月中全道各署長分署長に宛て警戒救助部隊を編成し、報告通信從事者は豫め之を指定し置き、/署員中操船又は水泳の心得ある者は之を調査し置き、避難方法同場所青年團在郷軍人團等と連絡共助方法を協議し置く等通牒する處ありしが、愈々警察部保安課にて各種の災害に對し豫め動員計畫を樹て、防止避難、護救濟の方法を講じ、並に擔任事務を定め一朝有事に處するの訓練をなすは、災害の場合に際し活動を敏速ならしめ、損害を減少せしめ且災害を未然に防止する樣努力するは最も必要なりとし、左記計畫を本年三月末日迄に報告する樣更に通牒を發したりと。

第一條 警察官署長は市町村長各種團體等と協調し本規程に據り災害動員計畫を樹て略圖を添へ報告すべし其變更ありたる時亦同じ第二條 前條の計畫事項は必要に應じ實地演習を行ふべし演習の結果は施行後十日以内に報告すべし第三條 火災消防動員計畫は概ね左記標準に據るべし、計畫地域は適當に區分し主要なる建物又は發火し易き地點に出火場を假裝する事二、火災急知の方法を定むる事三、假裝出火場に對し防禦線其方法並使用すべき水利を定むる事四、火災區域擴大し第一防禦線を突破せられたるときの退却方法第二第三の防禦方法並水利を定むる事五、非常線係員配置個所に定むる事六、罹災者避難所を定むる事七、被救護者收容場竝救助の方法を定むる事八、救護從事者並其擔任事務を定むる事九、其他必要なる事項第四條 火災動員計畫は概ね左記標準に據るべし一、水災地帶を適當に區分し、水災事實を假裝する事二、水災豫報並急知の方法を定むる事三、防水並避難の方法を定むる事四、救助具を準備する事五、前條第五條乃至第八號の計畫を定むる事六、其他必要なる事項第五條 火災以外の災害發生を豫想し得らるべき地に對して前條の標準を斟酌し適當なる動員計畫を定むる事。

○福岡縣の蔬菜果實

福岡縣では一ヶ年間約二千萬圓の蔬菜果實を消費するが、内五百萬圓は縣外から移入し、約千五百萬圓を縣内で生產し自給して居る。本年一月末の調査に依れば、縣内園藝組合は百四組合あつて、組合員數四千九百六十九名を擁護して居る。其各郡別組合數次の通り

八女	一六	築上	六
田川	一二	鞍手	六
筑紫	一二	遠賀	六
京都	七	企救	六
糸島	七	嘉穗	五
朝倉	五	粕屋	四
宗像	四	早良	二
三池	二	浮羽	二
三井	一	山門	一

而して是等百四組合中其設立の最も古いのは宗像郡南郷村大穗果物組合で、大正元年二月組織せられ、次は久留米植木業組合の大正二年三月設立、粕屋郡園藝組合の四年三月、京都郡新田原園藝同志會及鞍手郡山口園藝組合の各四年四月等で、其餘は殆んど全部一兩年前の組織であるから、何れも尙ほ發達の道程に在る、又是等の内特殊のものは築上郡八屋漬物組合の漬物、久留米植木業組合の植木、八女郡上廣川村六川組合の花卉、京都郡諫山村竹林組合の筍等で、其餘は悉く蔬菜果實を生產して居る、各郡市別蔬菜果實の生產額左の通り。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

	蔬菜 圓	果實 圓
福岡	二七、七四三	八、六三四
若松	五五、八九五	四、一九五
八幡	一二九、三〇六	二、六一七
粕屋	三九〇、二〇〇	八四、八七九
宗像	四〇九、九〇六	一〇五、三六五
遠賀	七九七、四〇八	一〇八、八二一
鞍手	二九七、九六六	九三、七八三
嘉穗	六八〇、七五八	七九、三二九
朝倉	五九二、二六九	一一〇、一三三
筑紫	七四三、四一九	二八〇、一一二
早良	一十三、六四九	四三、三三七
糸島	二五七、六一五	六〇、一八四
久留米	二九、二六八	六、一三三
大牟田	一五六、七〇六	五、五一四
浮羽	三八七、三九二	三一、〇五〇
三井	一、〇〇九、七四六	四一、七五九
三潴	二三一、四九三	三七、九〇五
八女	一、二四三、九四八	二七八、八九三
山門	六六五、九五四	三三、四三二
三池	五八五、七七三	六一、七一九
門司	九五、七〇六	五七九
企救	六四〇、六五四	一〇三、九七四
田川	七四〇、九二四	一一五、八三七
京都	四〇五、七九〇	一八五、四九〇
築上	三四九、四七五	一七二、一五六
計	一一、〇九八、九六三	二、〇五六、八三〇

園藝業の確實な發展は組合の共同的作業に俟つの外ないが、多年の奬勵に依り漸く如上の組合成立を見た、尙同縣內現在園藝技術員は十五名あつて、是は郡制廢止の結果來四月より縣移管の筈であるが、多くの蔬菜果實を需要する市部は是非園藝技術員を設置し、自ら模範的園藝作業を行ひ、同時に隣接郡部と連絡を取る事が緊要で、九州の首都たる福岡市の如き先是を實行するが宜いと。

○婦人農事講習會

明年度の新事業として栃木縣農會が計畫を立てた婦人農事講習會は、來る四月の新年度に入れば早速その地方の農閑期を利用し、逐次全縣下に亙つて開設の豫定だが、同講習會は從來一般に行はれて來た所謂家事作法や、調理裁縫などに關した講習でなく、農業經營の大意とか、農家々政などの方面に對する知識の涵養を意味し、即ち農業經營上に於て一般農家の主婦が誤つた補助を行つて來た結果が、農林の振興を妨げた方面の弊害を除去し眞に目覺めた農家の主婦たらしめる目的の下に開設するので、大體に於てその郡內に一ヶ所宛は開催し、尋常小學校卒業程度の處女主婦に對し、約一週間同講習を行ふので縣下に於ては全く最初の試みであると。

○吳の防火宣傳

吳市役所警察署では聯合して防火宣傳の爲め宣傳ビラ二萬枚を市內各所に掲示し、又左の防火宣傳都々逸を印刷せるもの數萬枚市內に撤布した。

一、やつと仕揚げた巨萬の富も消えてなくなる今朝の火事

一、月に村雲花にはあらしそして家には火事が仇

一、あけのかねならかへさですむがかじの餘ならぜひもない

一　夫婦なかなら燒いてもよいがやいてならぬは家と倉

一、釘の穴から巨船も沈む火の子都を灰にする。

一、胸をこがすはあなたの故よからだもや

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

すは油斷から

一、主の煙草の吸殼故に火事となるのがにくらしい

一、可愛瑩も火を出す罪で何時か人手に捕はるゝ

一、子供寢かして主やすませて妾は竈の火の末

一、長い苦勞を一夜の中に煙にするのも油斷から

一、火元したので七生の恨み可愛孫子が門に立つ

一、蟻の穴から堤が流れマッチ一つで町を燒く

○女の消防

靑森縣北津輕郡脇元村と云へば、小泊村に隣して北津輕郡の北端に位してゐる一漁村であるが、同村は山林が官行事業となり、漁業思はしくないので、小泊村と同じく男子は[illegible]へず北海道に出稼をなし、四時不在村に居る男と云ふは老人と子供ばかりで宛然たる女護ヶ島の狀態を呈してゐる、斯く男氣が不足であるから、村の女達は從つて男の分も仕事をせねばならぬので、脇元地方の女と來たら實に男勝りの體格と勞働能力と元氣を有してゐる、扨て此の脇元村では前記の如く男子が居ないものだから、公設消防でなくとも私設の消防も造ることが出來ず、一旦有事の場合には大なる苦痛を嘗めなければならない、そこで村の女達に依つて、消防を組織しやうではないかと相談が持ち上つた、それは各婦人消防手にもモンペイを穿かせて手押ポムプを一個つゝ配布し、平素によく修練して置て有事の際に出動せしむると云ふ趣向だそうだ。此事は稍々具體化し吉田金木分署長にまで話があつたそうであるが、何等か考慮して實現させたいものだと同地一有力者が語てゐた。

○島根縣授產會

先般紀元の佳節に畏り貴き邊りより金子三百圓の御下賜を辱なふした島根縣授產會は、去る明治四十四年時の檢事正內田氏と屋山典獄休職中の（屋山氏の前任）綾部氏等の主唱の下に丸山知事及び官民有力者諸氏の賛助を得て創設したものであるが、此の間第一期の會長綾部氏を始として內田唐渡加藤川田（現）の五代の會長及五代の理事を送迎し、其主任者又終始一貫兎四の敎化、指導に勉めよく今日の大をなすに至り、是又同日を以て島根縣知事より表彰せられた八束郡本庄村出身授產會保護主任津森百太郎氏の偉大なる愛の力、崇高なる其人格は推賞す可きものである、同氏の此救世濟民の結晶は刻勉精勵よく困苦に耐へ。漸く唐渡會長の時に至り其志望は達せられ、現在の授產會事務所を敷地共購入して百年の大計を決定するに至つた、此敷地及建物は名醫の噂天下に名高く、一世の慈心に貧民を救濟した久城春臺の故邸とは實に奇しき因緣といふべきである、尙昨年に至り現會長は會の基礎を確立するために、縣下各郡に各宗寺院住職を以て成る聯合の保護會と云ふ支部を設け、郡市町村に補助を受て經費支出の道を限定し、こゝに全く會の手足共に相整ふに至り、會の基本金の如きは一萬五千圓餘に達した、本會の事業をあぐれば

一、指導敎誨を爲す事

一、就職の紹介を爲す事

一、保護舍に收容し產業を授くる事

一、疾病其他の不幸に遭遇したる者に必要の救助費を惠與する事

一、出獄の際着衣又は歸鄕旅費なき者に之を惠與する事

一、本條の保護は場合により出護者に準じ刑の執行猶豫者及起訴猶豫者に及ほす事

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

あるべし。

以上の如くであるが本會の保護を與へしもの現今迄に計百八十五人であつて、此の內より今は數人の職工を使用する立派な工場主となり、一向に甦生の感謝の淚にむせんで居る者や神戶地方に於て、優秀な其技術により月收數百圓を得てゐる國家の爲めに有爲な人物も出て居る。鄕黨保護（鄕里に歸宅中の者の保護にして直接は郡の保護會に依賴、郡の保護會よりは該村の寺院住職に保護せしむ）數は四千八百八十一人であつて、是等の免囚は本部に於てそれぞれ臺帳が出來てゐて、死亡其他の事故には悉く此の臺帳の整理を行ひ、又全國の各當局から諸種の身元紹介等は一切近來は授產會に來るものが多いそうだ。

○關西九州水產會協定

關西九州水產主任協議會並に有明海水產研究會は去る十五日から三日間長崎に於て開催し各縣からの提出問題は左記の通りで、漁業取締の統一に關してはゲンシキ網は長崎、福岡熊本の三縣は許可漁業となつて居るから佐賀縣も之を許可漁業とし、又長崎は船數增加の場合は少くとも其半數は縣外者に割當し、他四縣共操業船數は當分現在の儘とし、若し增加の場合は四縣協定の上で增加する事を協定し、鰯漁業は當分制限を設けず許可を與へる事、但し筑豐專用漁業は關係各縣に於て圓滿に協定する事となつた、其他の諸件は大體に於て提出各縣の意志の如く、主務省又は朝鮮總督府に稟請する事に決定したが、有明海水產研究會に於て視察したのは島原の車蝦蓄養ツヽジ海苔の生殖狀況大村灣に於ける眞珠貝養殖貝釦製造、模造眞珠製造、平戶の魚肉粉末（ミーキング）工場等で、ツヽジ海苔は南高來郡土黑村千二百間ばかりの地區に生殖して居るが、日本には沖繩及鹿兒島栗野の三ヶ所丈で生產極めて少く天然保存に指定されて居るものである、大村の眞珠貝養殖は大正七年から開始し昨年から製造に着手した位で成績は未だ云ふに足らぬが模造眞珠は頗巧妙な者で眞物との區別つき兼る者ありミーキングは日本では未だ平戶に一ヶ所あるのみである

○長崎縣提出

一、漁業取締統一に關する件
二、機船底曳網漁業取締勵行方法に關する件
三、出漁者の保護督勵方法に關する件
四、漁業組合理事者の相互委託養成に關する件
五、水產物の共同出荷獎勵の方法

○福岡縣提出

一、機船底曳網漁業船長が漁業者の意志に反し第八條に違反したる場合船長の身を罰する事に同規則を改正せられんことを主務省に申請する件
二、機船底曳網漁業取締規則第十六條に依る船長の變更を命じたる時は一定期間機船底曳網に乘船を禁ずる事に規則を改正せられんことを主務省に申請する件
三、機船底曳網取締規則に於て違反者に停船を命ずるの一項を加入する事を主務省に申請する件
四、機船底曳網漁業者の漁獲物運搬船の取締の件
五、機船底曳網に於て違反事件を檢擧したる時は裁判所の判決を待たず直ちに犯罪事項日時場所及び船名漁業者の住所氏名を關係各縣に通知する事
六、爆發物に使用する漁業者の取締に關する件

○熊本縣提出

一、通漁者に對する公課其他手數料等の統一に關する件
二、機船底曳網漁業者の一般漁業者に對する影響に關する件
三、朝鮮漁業の開發統一に關する件

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

外來思想批判一斑

東京帝國大學教授
文學博士　深作安文

私は外交思想の批判を致すやうにとの御依頼を受けまして出ました次第であります、今日は以前に較べまするど、社會なり國家なりの事情が、餘程變つて居りますのであります、其變り方の人の注意を惹きまする一つの點は、大戰前は多くは一人の偉人或は少數の偉人が、社會的に國家的に權力を有ちまして、社會を導き國家を治めてまゐつたのであります、ところが大戰中から大戰後にかけましては、一人若くは少數者の社會又は國家に於ける指導、支配といふことが餘程其影が薄くなつて來て、是に代つたものは民衆である、少なくとも社會的に國家的には無名なる者である、固より法律的には何の某といふ姓名を有つて居りますが、社會的なり國家的なりには名の無い者である、其無名の民衆が一人若くは

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

少數者に代つて大切な役割を社會的國家的に演じるやうになりました。然らば何故に無名の民衆がその樣な勢力を持つて來たかといふと、其重立つた理由は彼等が思想なるものを挾んで結束するからであります。彼等の要求するところは全部が全部不合理といふべきものではないてあらうけれども、中には一人若くは少數ては到底貫き得ぬものをば、多數を恃んて貫かうとするのてございます。此時に際して彼等を支配するものは民衆中心の思想てあります、以前は思想といへば專門家が硏究したに止まつて居ました、學者の中ても哲學に關係ある者が之を硏究したのてあります、ところが今日は政治家といはず、軍人と言はず、實業家と云はず、外交官といはず、總てその職務を圓滿に遂行する爲めには、此思想を解さなければならぬことになつたのてあります、是に至つて吾々は時世の推移の餘りに急激なるに驚かされるのてあります、吾々は確に一大驚異の時代に生きつゝあるのてあります、若し今日の御話が、諸君が現代を知られる上に些かなりと役立ちますれば、私の目的は達せられた譯てあります。

いふところの外來思想は實に種々雜多てありまして、詳しく申せば餘程の長時間を要するのてありますれば、本日はカイ摘んてその一通りを申上げる考へてあります。先づ最初にデモクラシーに就いて申して見ませう。今日日本の思想界ては最早之を口にする人も筆にする人も少ない、日本民族の一つの弱味として新しいものは非常に好くのてある、しかも其者の根本的硏究といふことは多くは致しませぬ內に、これに飽いて他の新らしいものを迎へるのてあります、デモクラシーに就いて同胞が果して何れ丈けその根本的硏究を致したかといふことは疑はしいさうしてそれを送出して仕舞つて、日本民族はデモクラシーを慌たゞしく迎へて、又之を慌しく送つたのてある、ところが安んぞ知らん、今日歐米てデモ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

クラシーは社會改造の中心勢力を爲して居るのでありまして、先づ此デモクラシーを解することが世界思潮を解する上に必要なのであります。我國でも今日デモクラシーは筆にする人、口にする人は減じたのであるが、さて民衆的精神は到る所に磅礴して居るのでありまして、例へば各自の流し下にも、役所の小使部屋にも、デモクラシーの精神は活動して居るのであります、この故に外來思想批判には此デモクラシーから入るのが順序と思ひます。然らばデモクラシーとは何んなものかといふに、學問でもなく宗教でもなく道德でもない、若し學問ならば學者の著書を見れば分る、宗教なら經典を見れば分る、道德ならば經典を讀めは分る、ところがデモクラシーは學問宗教道德でなく、一寸、把へ惡くいものである、人に依り國に依りまして之が說き方は一致しませぬ。そこで私は斯やうに申しましたならば大體デモクラシーは盡すことが出來はせぬかと思ふ、自由と平等とは人間の生れながら得て居る權利であると斷じまして、之をば多數の力に依つて、吾々の生活の諸方面に實現せんと欲する精神及び其精神を實際にする努力がデモクラシーと思ひます。繰り返へしまするとデモクラシーといふのは自由と平等とを以て人間生得の權利であるとなし、此權利をば多數の力に依つて人類生活の諸方面に實現しやうとする精神及努力である。然らばその自由は何人の自由であり、その平等は何人の平等であらうかといふと君主の自由平等でない、又富豪貴族の自由平等でもない、一般民衆の自由平等であるのでありますから、デモクラシーといふものは之を日本語に譯しますれば、民衆主義といふと大體當るやうに思ふのであります。此民衆主義が人の政治生活の方に現はれると政治的民衆主義といふものが生じます、人の生活の一方に政治生活どいふものがある、民衆主義かこの政治生活に現はれると、政治的民衆主義となるので

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

あります。然らば政治的民衆主義は何ういふ主張をもつて居るかと言ひますと、人は自由であり平等であるのだから、一人の者が一國統治の主權を有つて居るといふことは道理に合はない、又少數の優者が政權を握つて居るといふことも道理に合はない、道理に合ふ政治の樣式は一般民衆が主權を握つて居る場合である、一般民衆を擧げて悉く主權者である場合である、是が政治的民衆主義卽ちいはゆる民衆主義であります。今日米國や佛國に行はれて居る政治が是でございます。

次に民衆主義が吾々の社會生活に現はれると社會的民衆主義となる、此主張は如何にと申すと、眼前の社會、吾々の生きつゝある社會を見ますると階級がある、富豪の階級、權力家の階級といふやうな階級がある。又或階級には特權がある、或特權は世襲的になつて居る、父から子、子から孫といふやうになつて居る。是では自由なる者平等なる者が生きる場所としては不適當である、就いては社會から階級を取つて仕舞はなければならない、社會から世襲的特權を取つて仕舞はなければならない、さうして無階級の社會、無特權の社會を作り出さねば可けない是こそ吾々の住み甲斐のある、理想的社會である、是が社會的民衆主義の主張でございます。

次に民衆主義が吾々の産業生活の方へ實現されます。生活に必要な物質を作ります方面に現はれますさうすると産業的民衆主義となります。是は何ういふ議論を致すかといふと、今日の産業組織は企業主、資本家といふものが富を得るやうに出來て居る、ところが事實、物資の生産に當るものは企業主でない資本家でない、事實としての生産に與るものは勞働者である、手を黑くし、足を黑くし、顏を黑くし、マカリ間違へば機械に生命を奪はれる危險を冒して、勞務に服しつゝある勞働者である、然らば其勞務は正しく酬いられるか、生命を犧牲にする程の危險や

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

職業を買して、勞務に服して居る勞働者は正しく酬いられるか、正しく酬いられない、賃銀制度といふものがあつて報酬には限りがある、であるから今日の產業組織は富の分配の上に如何にも公正を缺いて居る、事實としての生產に與からざるものが富の過半を取つて仕舞つて、それに與つて居るものは至つて少額の報酬はか得られない、卽ち富の分配の上に公正を失して居る、此故に吾々は今日產業組織を作り替へて、企業主、資本家をして、嘴を容れさせぬ產業組織にしなければならない、產業界から資本主、企業主を驅逐しなければならぬ、是が產業的民衆主義の主張であります、所謂ストライキやサボタージュの思想的根底は此處にあるのであります。

終りに民衆主義が吾々の文化生活といふ方に現はれます、すると文化的民衆主義となる。文化的民衆主義は分れて二つになる、其一は教育上のものである、教育上の文化的民衆主義は、社會を形作つて居る人の內、或人は社會といふものに就て確かりした觀念を有ち、社會に對して常に利害の念を有つて居る、斯うありたい、さうありたいと、對社會の心配をして居る。ところが社會の他方面のものは、社會などといふ考へは少しもない、唯だ吾の利益、吾の生存あるのみである、對社會的の利害心などは少しもない、是では社會の存立と發展とは旨く行かない、同じ社會に住みながら、一は年中社會を念とするも他は少しも念としない、却つて中には反社會的行爲に出るのである、是では行かない、之を改めるには教育の力をもつて、何人にも社會觀念を扶植し、熱心に社會奉仕を爲させる、斯うすれば社會は充分に存立し、發展して行く、是が爲めには下は小學校から上は大學まで其門を何人の子女にも開かなければ可かぬ、或人は大學に入れるが、或他の人は入れない、是では可けない、何の學校も何人の子女をも喜んで迎へるやうにしなければならぬ、卽ち機會均等

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

といふことを教育の上に適用するのである。もう一つは藝術上の文化的民衆主義であります、是は何うかといふと、是までの藝術といふものは劇でも小說でも其他一般の文學といふものでも、富豪や貴族の娛樂に供せられた、富豪貴族の消閑具とせられた、ところが眞の藝術といふものは左樣な生優しいものでない、眞の藝術といふものは之に觸れ、之を樂むものをして人生の眞といふものを會得させるものである、藝術の目的は之を享樂するものをして眞の姿の人生を諒解させる所にある、でありますから同樣の藝術は劇でも小說でも彫刻でも、其題材を眞劍の生活を遂げて居る人の側から仰がなくては可けない、日に々々眞劍の生き方を致して居る人から其題材を仰がなくては可けない、然らば果して誰がさういふ生活をして居るぞといふに、それは一般民衆である、富豪にあらず貴族にあらず、一般民衆が眞劍生活を營んで居る、だから今後藝術の題材を彼等の生活から求めなければならないといふのであります。

主なるデモクラシー即ち民衆主義は以上の四ヶ條即ち、政治的民衆主義、産業的民衆主義及び文化的民衆主義であります、進んで是に就きまして一亘りの批判を致して見やうと思ふのであります。（未完）

○帝國十萬以上の都市

我國には人口十萬以上を有する都市十八あり、其の第一位を占むるは東京の二百十七萬、之に亞ぐは大阪の百二十五萬、神戸の六十一萬、京都の五十九萬、名古屋の四十三萬、横濱の四十二萬にして、以上は世に六大都市と稱せらるるものなり。其の他京城、長崎、臺北、廣島以下八幡に至る十二あり。

（大正九年十月一日）

	人口	順位
東京	二、一七三、二〇一	一
大阪	一、二五二、九八三	二
神戸	六〇八、六四四	三
京都	五九一、三二三	四
名古屋	四二九、九九七	五
横濱	四二二、九三八	六
京城	二四七、四六七	七
長崎	一七六、五三四	八
臺北	一六三、六八二	九
廣島	一六〇、五一〇	一〇
函館	一四四、七四九	一一
呉	一三〇、三六二	一二
金澤	一二九、二六五	一三
仙臺	一一八、九八四	一四
小樽	一〇八、一一三	一五
鹿兒島	一〇三、一八〇	一六
札幌	一〇二、五八〇	一七
八幡	一〇〇、二三五	一八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

投明須到

朝鮮總督府參事官　守屋榮夫

本稿は昨年五月十四日曹洞宗州院に於ける講演の速記にして、本年一月二十二日守屋氏洋行の途中、香取丸船中に於て校訂の上本會に寄せられしものなり。

今日は御免蒙むる積りでありましたが、吉田さんから何か話をしろといことでありますから、此の間此處て御話を承つた「投明須到」といふ句にあたるやうな御話を致して見たいと思ふのであります。之も其の意味合が出て來るか、出て來ないか解りませぬが、其の積りで御聽きを願ひたいと思ひます。

華盛頓會議が開かれまして、世界の平和といふことが世人の頭脳を支配するやうになりました、各國共に軍備を制限して一層文化的の施設の實現を計るといふ風に、大體の傾向がむいて參りました。殊に四國協約が出來上りまして、兎に角世界の四大强國の間に、平和を尊重して行かうといふ誠意が認められて來たのであります。是は誠に結構なことてあります、併しながらこういふ平和に關する色々重大な事柄が決められて來たといふだけて、世界の平和が確保されるものてありませうか、どうてあらうかと考へてまゐりまするど、是は必しもさういふ譯には行くまいと思ひます。何故かと申しまするど、世界

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の列強が華盛頓會議に於て示しました態度、其の後に於ける各國の形勢を考へて見ましても、世界の國と國との間にはまだ猜疑心が取れない。自國本位の立場からして、各種の政策を實行しやうとして居るのであります。自國本位で他國を排斥するといふことが大體に於ての趨勢になつて居るやうに思はれるのであります。斯ういふやうな次第でありまするから、軍備の制限に對しましても、華盛頓會議で決めやうとしましたよりも、もつと狹い範圍で決めなければならぬといふことになつたのであります。四國協約といふやうな問題でも、或る方面から申しますると、一種の政策といふものに使はれて居るやうな形も見えるのであります。軍備制限と申しまするものの、歐羅巴各國が長い間の戰爭から、産業上非常なる打撃をうけ疲弊をして居るといやうな立場から、他のさういふ疲弊をしない國家からうくる色々の壓迫や、刺戟をば、正々堂々たる看板で拂ひ退けて終ふといふやうな意味合のものもありはしなかつたかと考へるのであります。さういやうなことから考へますれば、世界平和の曙光は認められるが、必しも將來永遠の平和がこれに依つて確保されるものとは思はれない。飜つて世界の平和といふやうな問題でなく、之を日常我々の生活、或はもう少し廣い言葉で申しますると、宇宙の森羅萬象といふものの關係に就て之を見ても、實に競爭、といふものが其の常態ではないか、生存競爭といふものが、大體宇宙の實態ではないかと思はるゝのであります。生きて居るもの、所謂生物と生物又は生物と無生物との間に存する交渉は、矢張り一種の戰爭と申しますると語弊がありますが、一種の競爭であります。生物と無生物との間、又は生物相互の間に行はれて居る各種の關係は、多くは競爭であります。或る意味から申しますると。強い者が弱い者を征服するといふ關係でないものはないのであります。國と國との

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

間にさういふ競爭の起るのは勿論てあります。家と家との間に競爭の起るのも勿論てあります。父子、兄弟相互の間にかうした競爭の起るも勿論てあります。最も皮肉な關係を申しますると、一人の母を中心として母の胎内に在る子供と、母の外に在る子供とが生存競爭を始めるてはありませぬか、一つの乳を母の内外の子供が競ふといふことになるのてあります。さうして其の間の生存の要求がどういふ風に解決されるか、多くの場合は勿論、兩者共存の道に出づるものてありますが、兎に角兩者の競爭とが起つて來るのてあります。さういふやうな事柄から考へて來ると、世の中のものが何等かの、競爭をして居らぬものはないといふても差支はないやうに思ふのてあります。廣い森羅萬象に就て見ても、最も狹い我々身體の各部に就て見ても、各種機能の中に於て御互に他と競爭する。皆御互に他と力比べをして行かうといふ狀態があると思ひます。斯ういふ生存競爭の世の中に當りまして、常に敗けることなく常に贏つといふ途はないか、その道は果して如何なる途てあるかといふことを考へて見るのも、一つの面白い題目てはないかと思ふのてあります。

之には先づ、我々が競爭に贏ち得る所の力を有つことが、第一の條件てあります。第二には、其の有つて居る力を宜しきに從つて運用することてある。第三には、競爭も窮極する所は、調和美統一美の實現にあることを知ることとてあります。第一に力がなければならぬ、之には色々の力があります、物質上の力、精神上の力、其の他色々な廣狹强弱の力があります。殊に人間界の力になつて來ると、智力、情力體力、斯うした力がありますが、結局心の力、もう一つ進んで申すと佛心力、佛心の力といふものが一切の力の基本をなすものてあらうと思ひます。刀て人を斬るにいたしましても、何處て一體斬るのか。是は見樣てありますが、決して刀全體て斬つて居るの

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

てはない。切先て斬るのてある。而して切先の力は切先自體の力ばかりてはない、刀て斬るといふけれども、決して刀だけて斬れるのてはない。腕の力が切先に集るのてある。腕には自然に力が出て來るのてはない、身體の力の一部が出て行くのてある、しかも身體の力といつても只肉體の力だけが這入るのてはない。實は心の力てある。心の力が働いて、それが身體を通し、腕を通し、刀の刃を通して切先からほとばしれば、人を斬る強い力となつて發現するのてあります、要するに見方は色々ありますが、眞實の力といふものは、斯の如き基本となつて居る心の力から湧いて來なければならぬものてあらうと思ひます。さういふ根本的な力を我々が有つて居なければならぬのてあります。

併しながら其の力を我々が有つて居るといふだけては、常に贏つて、何時ても敗けないといふ譯にはいかない。其の力の運用宜しきを得なければ力敗けをする。要らない時に力を使ふ。さうして迂つかりすると、力敗をして倒れなければならぬといふことになる。故に力を有つて居ると同時に、其の力を機に應じ變に應じて宜しく使ふ、五の力を以て打つべき時に五の力を以てし、百の力を以てすべき時に百の力を以てする。其の力を振ふ時にあたり、綽々たる餘裕を有し、有らゆるものに對峙し宜しきに處して行くといふことて、始めて何時も贏ち、一つも敗けないといふ成績を收むることになると思ひます。而してさういふ境涯に這入るには競爭とか、力の實現とかいひましても、歸する所統一美、調和美の實現に外ならぬものてあるといふ確信――信仰と申しますか――兎に角さういふ根本的な心の狀態にならなければならぬものてあると、考へらるのてあります。第三の條件はかうした解説だけては分りませぬから、後の話て御合點が願ひたいと思ひます。

世の中には臆病の人がある。臆病の人は力のない

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人他人に對して迚も勝つことが出來いといふ風に、初めから自暴自棄して居る人である。斯ういふ人は殆んど問題にならぬのでありまして、先づ力を得ることに努めなければならぬのである。又力を有て居る人、決して人に敗けないといふ自信を有つ居る人でも、中々さう甘く勝てるものではない。勝負と申しますものは、必しも我々が平常考へて居るやうにのみ決まるものではない。我々が平常考へて居つて勝つたと思つて居る時に、實は敗けて居る、所謂勝中敗がある。又一般の人から見れば負けて居る場合でもちやんと勝つて居る者がある。敗けるが勝てある。もう一歩進んで來ると勝ちもしない、負けもしない、併しながら勝つて居るやうなものがある。勝ちもしない、負けもしない、併しながら負けて居るといふのもある。勝負の定まるのは唯我々が日常角力取や、撃劍や、柔道を見るとかいふ場合のやうに極く簡單に行くものではない。敗けず勝たざる中に勝つといふやうな、さういふ境涯は中々難しいものであります。今川義元が桶狹間で敗けた、之などは大變解り易いので、織田信長が勝つたのでありますが湊川で足利尊氏が楠正成に勝つた。是は單に戰に勝つたといふことを以て、永久に尊氏が正成に勝つたといふ譯には參らぬ。或は廉頗將軍と藺相如との爭の如きものでも、藺相如將軍が逃げたから敗けたと見ることは出來ない、此の勝負などは、所謂逃げた藺相如が敗けたのではなくして、追ふた廉頗將軍の敗である。世の所謂五分五分勝負、或は七分三の勝負、或は九分一分の勝負といふやうなものは、見て居る方は如何にも面白いし、勝敗の事實が素人にも明瞭に分りますが、さういふ單純な勝負はさう値打のあるものではない。たゞ見物の目を樂ましむるのみであつて、大なる見地から見ますると、殆ど擧ぐるに足らものであります。

斯ういふ話を私は今思ひ出すのであります。塚原

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

卜傳は武藝の達人であつたが、會々旅行をして居る時に、肝馬が荒ばれて道を塞いで居るのに出會した。見物人は塚原は武藝の達人であるからきつと取つて押へるだらう、少くとも飛越して行くだらう位に考へて居るとさうはやらぬ。ちやんと廻り道をして行つたといふことである。塚原卜傳に肝馬を禦する力がないかといふと、是はきつとある。然るに其の力を出すだらうと一般の人が考へて居る時に、其の力を出さないで、ちやんと廻り途をして行く。之などは餘程妙味があると思ひます。更にもう一つ塚原卜傳の話をすると、事柄だけ覺えて居りまして、つい場所を忘れたのでありますが、確か琵琶湖を船に乗つて行く途中、大變な撃劍自慢の人が乗合はして、撃劍では日本國内では自分に匹敵する者は一人もない、塚原卜傳などといつても吾輩に掛つては殆ど問題ではないなどと大言壯語して居つた。塚原卜傳はそれを知つて居つたのでありますが、默つて聞きのがして居つたのであります。所が船中に塚原卜傳を知つて居る人があつて、此處に塚原先生が乗つて居るといふことを話したので、前きの人は高慢した手前もあつたてせうそれならば一つ仕合を願はふと申込んだ。卜傳に有つては迷惑千萬なことであります。其の時卜傳がどういふ態度を執つたかといふと、私は塚原卜傳ではない何かの間違てせう、決してさういふ者ではないと答へると、其の武藝者は私の腕前を恐れて仕合をしないのであらう、是非仕合を願ひたいと要求するので、それならば已むを得ない、申し込に應じませうといつて承諾をした。すると相手の方は向鉢卷になり、袴の股立を取つて仕度をし初めたが、卜傳は此處のやうな混雜の所て迂つかり試合でもしやうものなら、乗合の人が怪我でもするといかぬ。幸ひ向ふに離れ島が見えるから、彼處迄行つてやらうと言ふことになり、船頭に命じて向ふの離れ島に着けさすことにした。船が島に着くか着

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

かぬ間に、其の男はばつと飛び立ちて、船から陸地に上つた、さうして鉢卷を〆め股立を取つて待構へた。さうすると卜傳靜かに立上つて矢張り鉢卷をし股立を取り上げ、そして船頭の有つて居る竹をちよつと貸して貰ひたいといひ、其の竹を手に取つて向ふの岸に勢こんでさしこみ飛び下りるかと思ふと力を極めてぎゆつと押した、忽ちにして船が三間計り沖に出て終まつた。彼の男は「卑怯者船を返せ、船を返せ」と呼ぶけれども、卜傳は「はい左樣なら」と言つたのみで相手にならず、ズン／＼船を出して終つた。高慢振つて立會を申込んだ人は、とう／＼一人島に殘されて仕舞つた。こうなつては幾ら力量を振はふと思つても仕樣がない。之なども仕合としては頗る面白いものであります。卜傳には其の劍士を敗かすだけの力がないとは思はれない。勿論あつたでありませうが、其の力を出さない、出さないが、其の結果に於てはどうかといふと、誰も塚原卜傳が敗けたとは思はない勝つて居るのである。斯ういふ戰の仕方、斯ういふ競爭の仕方は餘程面白いものではないかと思ふのであります。

勝海舟の所に備前の何某とか言ふ侍が來まして、盛んに議論を吹掛けた。何とかして勝海舟を屈めてやらうといふことで用意して居つたのでありませう。其の際勝海舟は默つて聽いて居つたが、最後に「君の元氣のあるのには驚いた、迚も自分等の及ぶ所てはない」と言つて、如何にも敗けた風である。其の侍も大いに慢じ、意氣沖天の勢で貴下も議論では吾輩の敵ではない、序に貴下の畏敬する西鄉南州をへこましてやるから紹介狀を貰ひたいと言出したので、宜しいと言つて紹介狀を書いてやつた。その文章のうちに、此の男は非常に元氣のある男で、私の所に議論しに來て私は敗けたのである。御前の所にも行つて議論をして勝ちたいといふことであるから、貴下も敗けてやれと書いてあつた。其の男が何にも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

知らず南州の所に行つて其の手紙を出した。南州が拔いて見るとさういふ事が書いてある。そこで南州のいふには、「折角來て吳れたが、實は此の間も霧島山に旅行して十六錢出して買つた馬鈴薯を持つて歸る途中、山路で狐に憑されて皆取られて仕舞つた樣な馬鹿爺であるから、到底君のやうな元氣のある人とは話も出來ないと言つた。こんな風では此の男も吁つ氣に取られざるを得なかつたのでありませう。斯んな野良くら老爺迚も話が出來ないといふて歸つて仕舞つたそうてす。此の樣の角力は餘程心の修養が出來た人でなければとれないものであります。此の相撲はどちらが勝つたのか、敗けたのか、團扇がどちらに擧がるのでせうか、恐らく備前の侍に團扇は擧がらないことゝ思ひます。もう一つ面白い話は勝海州が京都に居られた時に、勤王黨の侍のうちに彼の志を誤解する者あつて附狙つた。或る時四條通を通りまするど、覆面をした一人の侍があつて、勝海州を擊たうとして鐵砲に彈を込め狙を附けて居つたのを發見した。こうした場合は餘程難しいものでありまして、力はあるけれども力の出しやうがない。相手は鐵砲で火蓋を切るといふのでありますから、力の出しやうがない。死中活を求める、暗中光を求めるといふやうな狀態であります。さうするとそれを見付けた海舟は立止つて二三步其の男の所に進んで聲を掛けた。おい〳〵そんなことては俺は擊てない、狙ひが違つて居るぞ。さう言はれて侍は驚いて終つた。擊つて中らなければあの人にやられると思つたから一目散に逃げて終つた。同じやうな話が南州にもあります。勝海舟の所に幕府の者で、佐久間とか人見とかいふ樣な人々が、南州に逢ひたいからといふので紹介狀を貰ひに來た。其の紹介狀にはどう書いてあつたかといふと、此の三人の者は幕府の連中で、今般足下を殺害する目的で面會を得る爲紹介を得たいといふことであるから、紹介申上げると

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いふことが書いてあつた。此の紹介狀を持つて鹿兒島迄出掛けて行くと西鄕は喜んで逢つて吳れた。そして其の紹介狀を見て、南州は少しも驚かない。「あなた方は私を殺しに來たさうだが、長い所御苦勞でムつた」といつた。而して顏色なり、態度なりには少しも動搖がなかつた。「長い所御苦勞だつたな」、かう云はれて見るともう手が出せない、遂に目的を達せずして歸つて仕舞つた。斯ういふやうな競爭、斯ういふやうな取組は、誠に面白い所があるやうに思ふのであります。

更にもう一つ申上げたいのは白隱禪師のことであります。或る大家の娘が番頭と姦通して子供を孕へたのでありますが、自分の兩親には番頭と密通したといふ事實を申す譯にはいかない、さうして居る間に御腹が脹れて來る、どうしたのかと言はれた時の通辭として、白隱禪師樣から關係をつけられて斯ういふ風になつたのですと出鱈目を言つた。其處で其の兩親は非常に怒つた。飛んだ所に糞坊主奴が手を出し居つた。兎に角子供を生んだら坊主奴に育てさしてやらうといふので、生むや否や親爺は子供を抱へて行つて、白隱のお寺に置いて來た。さうすると白隱はそれを返すかと思ふと返さない、田舍を托鉢して廻つては、赤ん坊を懷に入れて、乳のある人から乳を貰つて、育てて居たのであります。それが暫くの間續いたのであります。併しさういふことが決して長く續くものではないのであります。女の方は甘くお父さんを騙して其の怒りを免れた。又番頭との密通が世の中に分らず濟んだと思つたでせうが、さうはいかぬ。子供の始末よりも、良心の始末が着かない。其の女の腹の中にある心の始末が著かない。身體は段々痩せて來るし、遂にはヒステリーのやうになつて仕舞つたのであります。殊に何の罪もない白隱禪師が子供を懷に入れて堪へ難い罵詈讒謗を浴びせられながら、人の乳を貰つて育てて居るといふこ

とが分つて來ると、遂に心の始末が着かなくなつて其一什始終を自分の兩親に打明けたのであります。今更ながら吃驚したのは兩親であります。さういふことであつたならば誠に申譯のないことをして居るといふので、低頭平身して、曩に置いて來た子供を貰ひに行つた。さうして誠に面目ない申譯のないことを致しましたといふと、白隱禪師は怒られる樣子もなく、「さうか、それては返さう」と言ふて返されたといふことてあります。

最後に南隱禪師と雲照律師との問答の話がありますから、それを申上げて此の話を終りたいと思ひます、雲照律師と申しまするど目白に居られ、私共の中學時代、日本に於ける十大偉人を雜誌の太陽が募集した時に當選した人て、其の寫眞を見ますと瘠せた氣骨稜々といつた風の人てあります。南隱禪師は白山に道場を開いて居つた人てあります。孰れも亡くなつてから二十年近くになるのてあります。二人の高僧は性格が全く違つて居つて、雲照律師は威儀堂々といつた風の人てあり、南隱禪師は一見した所、純朴なお婆さんらしく見えた想てあります。どちらも佛敎の大家て、優れた人てあつたのてありますが、宗派がちがひますから一緒になることはない。一方は目白に居り、一方は白山に居りまして、逢ふことは殆どなかつたのてありますが、或る年東亞佛敎會の主催て、各宗が聯合して東京市内て托鉢をしたことがあつた想てありまして、其の時に目白の雲照律師と、白山の南隱禪師とが同じ家て折よくも出會つたのてあります。其の際雲照律師が便所に行かうと思ひまするど、便所の手前に南隱禪師が胡坐をかいて坐つて居つた。其處て雲照律師が南隱禪師の許に行つて、「何卒側に御寄り下さい」と言ふと、南隱禪師は「何卒股いで通つて下さい」と言つた。さうすると雲照さんが、「それては困りますから、何卒側に御寄り下さい」と言ふと、南隱が『少しも構ひませ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ぬから股いて通つて下さい」と言つた。又雲照さんが「あなたの方は御構ひなさらぬても、私の方て困りますから、少し側に御寄り下さい」と言ふと、南隱禪師は「何も彼も承知して居りますから、股いて通つて下さい」と言つた。この問答てはどちらが勝てせうか。これも餘程面目いやうに思ひます。何時か南隱禪師の所に學生が來まして、私の宿の女が惚れて困りますが、どうしたものてせうかと尋ねると「少しからかつて見る位の氣持て居つたら宜からう」と言つた。それから又或る女が參りまして「私は一人て家を守つて居るものてすが、泥棒に這入らるゝ心配があつて困ります。どうしたものてせうか」と言ふと「そうか、それならば熊坂長範のやうに、何處か泥棒に這入る所はないかと考へて居た方が宜からう」といはれた。又行誡上人が亡くなられる時に、自ら此の男は本願相當の者て、極樂に往生すべき者てあるから、御迎へに來るやうにといふ手紙を書かれたといふことを聞いて、南隱禪師がこれを評していはるゝには、行誡さすが死を恐れず從容自若として居らるのは結構てあるが、極樂から迎ひが來なければ行かぬといふやうな所はどういふものてあらうか。何處ても構はぬ、迎ひに來れば地獄ても極樂ても逆トンボカヘリを打つて喜んて落ち込んて行く處にならなければナア……と、言はれた想てあります。これなども意味深長なことてあります。

以上が『擧趙州問投子、大死人却活時如何、投子云不許夜行投明須到』に當つて居るかどうか知りませぬが……。皆樣の判斷を願ひます

（終）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

短編小說 **若人の群**

山名白紅

一

マッチ箱を竪にしたやうな安ぽい二階建の外側は緑色のペンキを塗たバーが本町二丁目の角にある。入口には波ガラスの箝つた片開戸て、それに赤文字て『ローズバー』と書かれてある。狹い入口の左右には、麥酒樽を二つに鋸き切つた代用植木鉢に、高野槇と、曲た松とが一對に植えて並べられてある。

白のエプロンを掛けた化粧の若い女が四、五人傭入られてあつて、彼等はいつもキャッ／＼と笑ひ交りに客と騷いでは忙しそうに立働いて居る、その様子が時折道行く人の耳目に觸れるのも珍らしくはなかつた。

若い男の人達は、その甘い刺戟にひかれて勤先きからの歸途や散歩の序にはよく立寄つてバーを賑はすのであつた。強烈な酒や冷たビールに一醉を求め

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ては、若い女の一嫁を買ふのがその人達の樂むところてあつた。階下は、入口を仕切つて衝立て圍ふた踏み込みの大ホールて、二階は大小三間に區劃せられてあつた。

AとBとCとは、或る日曜の夕方、散歩歸りにローズバーの二階の小さい部屋に上つて行つた。

部屋には丸いテーブルが中央に置いてあつて、所々汚點のついた白金巾が掛けられて、眞紅の色をした小さい花が叢がつて咲いて居るゼラニュームの植木鉢が、破隙の入つた西洋皿に載せたまま眞中に置いてあつた。側にはビールの廣告がしてあるマッチが一つと、灰皿が一つ置かれてある、机を圍んで籐椅子が五脚配置せられて、一方の壁には名も知れぬ西洋畫の額が一つ吊下げてある外、室内には何の飾もなかつた。

三人はドヤ／＼と部屋に這入つて、机を圍んで椅子に腰をかけた。

可愛い十八九歳のお鶴さんと云ふ女中が、キリンビールと紅で染め拔いた白いエプロンを掛けて、Aの腰掛けて居る椅子の後ろに立つて、片手をその椅子にかけながら云つた。

『ご注文は……』

髮は七三の流行形に依らないて、舊式の銀杏返し、顏には化粧の白粉が手際よく施されて、襟脚には少し濃い白粉が奇麗に筋を立てて塗られてある、襦袢と銘仙とを重ねた着物の襟が、心持ち拔衣紋に美くしい頸筋を隈取つて居て、お鶴さんの横姿が馬鹿に美くしかつた。

片手を椅子にかけてAの後ろに立つて居つたお鶴さんは、足の趾先きてトン／＼と床の上に音をたてながら、

『ね、早く仰いよ、何にしませう』

と自烈つたさうに催促した。

『君は再三やつて來ると見くるね、心安そうだ……

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ね、C君』

とBがAに訊ねながらCに同意をめ求た。CもAも時折このバーに、やつて來たことがあるので、クックッと獨て笑つて、知らぬ顔で煙草を喫み初めた。

『なあに、そう、一度か來たね、C君、それもタッター度だよ、然し君が餘り引込み主義だから一つ引張り出して、新しい空氣に當ててやらうと思つてね、はは丶丶丶實は慈善心を起したのだよ』

AはAらしい口振りて返事をした。

『君の慈善心！　何だか些と變だね、先づ有り難う、然し君自身もその慈善に浴したいので、僕を引張つて來たのだらう』

『何にそう云ふ理由てはないさ、君にも一つ時代の反影、少し話が大きいが…此頃のバーの一時間とも云ふ氣分を味せてやらうと思つてね、C君が頻りに進めるものだから、つい…はは丶丶丶』

Aは今宵の計畫を全然Cに捺り附けて仕舞つた。

『嘘を云つてはいけないよ、は丶丶丶はC君は話が旨いからね、僕は何も勸めはしないさ、寧ろ初めから否定論者だつたのを、A君が見たいものがあると云ふものだから』

『はは丶丶丶失敬、失敬、イヤ馬鹿な、見たいものなんか有るものか、散歩歸りの疲れた足を休むる爲に、つい…はは丶丶丶』

とAは苦しそうに辯明した。

『大方C君の云ふのが誠だろう、A君の平素に見て、然りと斷言して間違ひあるまい、然しA君が見たいと云つたのは、君夫は何だね？』

Bは不思議そうにCに訊ねた。

『ウム…そいつは曰く言ひ難しだ、A君に訊て見給へ判明するよ』

Aは捨置き難きい訊問に早速

『なあに嘘だよ、懲な家に何が見るものがあるか、部屋の中を見給へ、ご覽の通りのブアーを…』

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と圓轉滑脱にBの問を突つ放した。

『でもC君の言ふことは噓ではあるまい、ね、C君そうだ、ね』

Bは執着く更にCに訊ねたが、CもAも返事をしないのみか『クッ〳〵』笑つて居つた。

『君等は要するに共謀だね……』

B、がこう云つて灰皿に朝日の喫ひさしを推し込むだ。

『お待ち遠さま』

と云つてお鶴さんが注文の料理第一皿を、麥酒と共に持つて來たので話は途切れた。

三

ビールの泡立つコップを元氣よく、三人は同じやうに第一杯を呑み乾した。Aは手早く鑵を持つて、各自のコップに波々と注ぎながら云つた。

『アー旨いね、焦茶色の此液體が、乾びた咽喉をスーッと下るときの氣持ちは別だね。輕い苦味と、微かな香りが何とも云へないね、酒飲むべからずとは、天下の敗殘者か、ヘナ〳〵の病人の云ふことつたね』

『石部宗のB君だつて此味は捨てたものでもなかろう、ねB君』

とCが焚き附けるやうなことを云つた、秋の日の照り附ける散歩の歸途に、腹は減つて居るし、冷たい麥酒の泡を口に注ぎ込むのはBも流石に滿更ではない氣持ちであつた。

『ふふ……、成る程旨いね、同感だよ、然し、然し旨いからと云つて必ずしも飲むことに同意するのではない……』

『亦初めたね理窟を、よせ〳〵、理窟なんかどうでもいいよ、旨い此味を嚙みしめて……』

『ビールを嚙みしめるて什麽するんだね』

とCが横から口を出した。

『嚙み締めると云つたのは料理の方で、グーッと流し込むのは麥酒の方だよ、孰れも旨いと云ふ點は同

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れ』

Aは口腹の享樂を主張して居る。

『そうだ旨い、だが流し込み且嚙みしめるのを唯一の享樂とする君等の主義は不賛成だ、君等のは全く子供のやうに、未開人のやうに……』

『未開人……』

Aが云ひ終るのを待たないでAは

『未開人が惡ければ牛獸主義』

と云つてBとCの顏を見た。

『牛獸主義は更にひどい……はつはゝゝゝ』

三人が一諸になつて笑つて居る。

西洋料理は喰ひ盡された仕舞つたとき『おかわり……』と云つてお鶴さんが第二皿を机上に列べて、不用の皿を片付けた。

三人の顏には稍微紅が漂ふて居つた。

『オイお鶴さん、ビスマークかブライアンの旨しそうなのを持つて來給へ』

とAが戯談を云つた、けれどお鶴さんは戯談とは知らないから

『ヘイ、何ですか』

と更に聽き返した。

『ヤコーレでもデッケンスでもいいさ、下へ行つて云つたらわかるよ』

Cが云ひ足した、けれど『ふゝゝゝ』とAもCも笑つて居るので、お鶴さんは聞たことのない料理の名ではあるし、お客さんの戯談だと早くも悟つて仕舞つた。

『貴方がたも隨分人が惡いのね、知らないと思つて……ね、旦那さん』

とBの後に立つて居つたが、輕く其の背に手を當てて、覗き込むやうにしてBに云つた。白粉の甘い香りと、髮油の女らしい臭ひとが噎るやうにBの鼻を打つた。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

四

『君、今のは女中かね、別嬪だね』

理窟屋のBが平常に似合はないことを云つたので

『之は破天荒だ……用心しろ……大變だ』

とAが仰山に云つてのけた。

『前後未曾有だね、B君の口から婦人の讃仰視を聽くことは、待ち給へ明日は天氣が變るよ、きつと………』

Cは態とらしく窓の方から外側を眺めた。

『君達は直ぐそれだ、何も騷ぐには當らないさ、僕だつて美醜を判別するの明は持つて居るよ、美を美とし、醜を醜とするに何の破天荒も、未曾有もあつたものじやない、別嬪だと云ふ感覺と、憧憬すると云ふ心的狀態とは別だよ、君達のは何でも直ぐ欲望が伴ふけれど……』

『B君の今の説明は些と怪しいね、讃仰心も起らず、憧憬心も惹起さない眞善美が單に客觀として存在し得るかね、疑ふね、單に自己心上の鏡に映ずる一抹の現象として消えて行くとは、ね、C君、君は什麼思ふ。』

『僕か、僕が兩君の說の孰れに左袒するにせよ、お鶴さんが美人だと云ふことは疑ひないね、バーの繁昌する唯一の原因は、お鶴さんの存在と云ふことに歸するのを見ても分る……けれど、思ふに斯る女には得て虫が付いて居るよ、之は昔からの通り相場だ』

『そんなことは無いだろう……』

とBはCの虫付說を容易に信じなかつた。

お鶴さんはどの部屋へ行つても、引手數多の客に止められて、忙しい軀を更に忙しそうにやつて居つた。

　用事もないのに呼び立つる客もあれば、袖や、袂を握つて離さない醉客の戯言云ふのも珍らしくなか

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

じだね』

　Ａは口腹の享樂を主張して居る。

『さうだ旨い、だが流し込み且嚙みしめるのを唯一の享樂とする君等の主義は不賛成だ、君等のは全く子供のやうに、未開人のやうに‥‥』

『未開人‥‥』

　Ａが云ひ終るのを待たないでＡは

『未開人が惡ければ半獸主義？』

と云つてＢとＣの顏を見た。

『半獸主義は更にひどい‥‥はつはゝゝゝ』

　三人が一諸になつて笑つて居る。

　西洋料理は喰ひ盡された仕舞つたとき『おかわり‥‥』と云つてお鶴さんが第二皿を机上に列べて、不用の皿を片付けた。

　三人の顏には稍微紅が漂ふて居つた。

『オイお鶴さん、ビスマークかブライアンの旨しさうなのを持つて來給へ』

とＡが戯談を云つた、けれどお鶴さんは戯談とは知らないから

『ヘイ、何ですか』

と更に聽き返した。

『マコーレでもヂッケンスでもいいさ、下へ行つて云つたらわかるよ』

　Ｃが云ひ足した、けれど『ふゝゝゝ』とＡもＣも笑つて居るので、お鶴さんは聞たことのない料理の名てはあるし、お客さんの戯談だと早くも悟つて仕舞つた。

『貴方がたも隨分人が惡いのね、知らないと思つて‥‥ね、旦那さん』

とＢの後に立つて居つたが、輕く其の背に手を當てて、覗き込むやうにしてＢに云つた。白粉の甘い香りと、髮油の女らしい臭ひとが睃るやうにＢの鼻を打つた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

四

『君、今のは女中かね、別嬪だね』

理窟屋のBが平常に似合はないことを云つたので

『之は破天荒だ……用心しろ……大變だ』

とAが仰山に云つてのけた。

『前後未曾有だね、B君の口から婦人の讃仰觀を聽くことは、待ち給へ明日は天氣が變るよ、きつと……………』

Cは態とらしく窓の方から外側を眺めた。

『君達は直ぐそれだ、何も騷ぐには當らないさ、僕だつて美醜を判別するの明は持つて居るよ、美を美とし、醜を醜とするに何の破天荒も、未曾有もあつたものじやない、別嬪だと云ふ感覺と、憧憬すると云ふ心的狀態とは別だよ、君達のは何でも直ぐ欲望が伴ふけれど……』

『B君の今の説明は些と怪しいね、讃仰心も起らず、憧憬心も惹起さない眞善美が單に客觀として存在し得るかね、疑ふね、單に自己心上の鏡に映ずる一抹の現象として消えて行くとは、ね、C君、君は什麼思ふ。』

『僕か、僕が兩君の説の孰れに在祖するにせよ、お鶴さんが美人だと云ふことは疑ひないね、バーの繁昌する唯一の原因は、お鶴さんの存在と云ふことに歸するのを見ても分る……けれど、思ふに斯る女には得て虫が付いて居るよ、之は昔からの通り相場だ』

『そんなことは無いだろう……』

とBはCの虫付說を容易に信じなかつた。

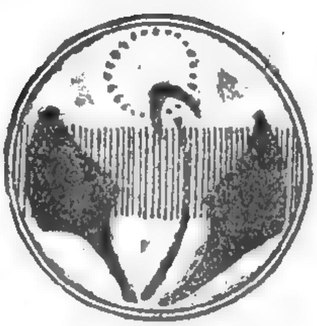
お鶴さんはどの部屋へ行つても、引手數多の客に止められて、忙しい軀を更に忙しそうにやつて居つた。

用事もないのに呼び立つる客もあれば、袖や、袂を握つて離さない醉客の戯言云ふのも珍らしくなか

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つた。ウカとして居ると手を握つたり、肩に手を掛けたりする客もあつて、お鶴さんの危つかしさは視るに耐へない程である、それでもお鶴さんは客商賣が上手なので柳の糸の風に吹かれて、東へ西へと柳曳くと見せて元々の枝振り工合、お客の方から馬鹿にもて、バー常連の標的に立つて居るのであつた。

（つゞく）



武藏國高麗村を訪ふ

川村五峰

□天覽山と秩父銘仙

東京を距る僅に二十七哩、春秋は武藏野の風色を愛すべく、子女を携へて日歸りの遊山を試みるのに誂へ向な所に飯能がある。若し、山手線池袋驛から武藏野鐵道に乘つて、西部武藏野の野趣を眺めつゝ北行すれば、一時間にして飛行機で知られた所澤に至り、二時間にして飯能驛に達することが出來る。小綺麗な秩父山麓の小市街て、所謂秩父銘仙と茶がこの地方の名物として聞えて居るが、併し、飯能の名物は唯これだけてはない。名栗川の鮎を肴に一酌を傾けるものも勿論惡からう筈はないが、天覽山の眺望に至つては、近郊に多く比を見ないくらゐて茫々十數重の平野を一眸の裡にをさめ、淡靄模糊のあひだ、遙に東京の市街を展望することができる。天

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

覽山は町の北端れ能仁寺の境内にある小丘て、明治十六年四月十七日、先帝陛下が初めて近衞諸兵演習御統監のために行幸遊ばされ、四日間に亘りて山上御野立所て演習を御統裁にならせられたと云ふ。光輝ある緣由を以つて居り、以前能仁寺山と稱へて居たのを永久にこの光榮を紀念するため天覽山と改稱されたのであるさうな。當時明治天皇の行在所を承つた藥種商の金子忠五部といふのは、今日なほ現存繁昌して居る。この地方は德川時代天領卽ち幕府の直轄地てあつた關係から、明治戊辰の役上野彰義隊の崩れが此の山に立て籠つて小ぜり合ひをやつたといふ話てある。澁澤榮一翁發祥の地血洗村といふのは、これから五里位も秩父の山奥へ入つた處なさうてある。中流以下の衣服として需要の多い秩父銘仙と高麗人とは、切り離すことの出來ない因緣があるといふ。

□美しい山水

天覽山の麓を北へ、秩父大宮街道を行くこと一里餘りにして高麗村に至る。村は東北西の三方山を繞らして屛風の如く、南の一方面だけが小溪谷をなして開き、秩父地方に至る咽喉をなし、高麗川が白布を引いたやうに西南から東北に貫流し、やがて越邊川と合して遂に荒川に注ぐ。南北二里半、東西三里半くらゐ、東北隣には別に高麗川村と云ふがあり、南の方飯能町を隔てゝ南高麗村があつて、東京府に隣接して居る。勿論地域が廣いと云ふことが出來ぬけれども、山水の風色の美しさ、さながら畫のごとく、東京からわざ〳〵若い美術學生などが寫生にやつて來るものが多く、自から他と隔絶した別天地をなして、異國の歸化人等が平和な生活を營むべく最もふさはしい地勢てあり、そして地味が肥沃て農桑養蠶に適し、從つて頗る富裕てあつて、村民は何れも天惠の厚きを樂しんで居る。高麗本鄕を中心に、美しく澄んだ高麗川の淸流を挾んで、栗坪、臺、梅原、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

清流、高岡、横手、久保、楡木、新堀など十大字の部落が散在し、戸數六百九十戸、人口男千八百八十四人、女二千二十八人合計三千九百十二人、(大正九年第一回國勢調査報告)で、而も女の方が男より百四十四人も多いと云ふのも日本としては珍しい、村民は一般に極めて素朴ではあるが、その裡に剛健な資質を包んで居り、毎年壯丁檢査の成績は郡内でも殊に優良な方で、軍人としても、日露戰役の際この村の出征將卒は、主に乃木大將の第三軍に從つて、旅順包圍の難局に當つて惡戰苦鬪をなし、中にも鴨綠江戰に奮鬪して名譽の負傷をした日留間歩兵大尉は、彰義隊の第十八番隊長であつた劍客日留間良藏の甥であつて、戰後拔群の勳功に對して金鵄勳章を賜はつた者が一村内實に十七名の多數に及んだといふ。また此の村からは棋客五段の井上孝平氏や、畫家の松本洗耳氏を初め、武藏艦長であつた海軍中佐加藤弘三氏、滿鐵の理事加藤米吉氏、茨城炭坑、鈴木セメントの重役山口嘉藏氏などの名士を出して居る、この高麗村は關東における朝鮮村である。即ち續日本本記によるに、今より千二百年前『元正天皇靈龜二年五月駿河、甲斐、相模、上總、下總、常陸、下野の國に散在せる高麗人千七百九十九人を武藏に遷して高麗郡を置く』とあるのに相當し、高麗郡の郡名は、たしか明治二十何年かまで存續された筈で今は、埼玉縣入間郡に屬して居る、學者の說によればこの高麗とあるは、後のコーライでは無く、前代の高句麗國であつて、昔から南朝鮮の新羅人、百濟人等に對し、北方の强と云はれ、蒙古系から分派された慓悍剛强な夫余族であつたのであるが、唐と新羅の聯合軍の爲首都平壤城が攻略され、國が遂に滅亡したので。その遺民で我が國に亡命歸化したもの數多く、武藏の高麗人もまたその一團であつたのであるが北朝鮮の雄强民族の熱血を傳承したる子孫が、更に日本の武士的に同化されて、鎌倉、足利の戰國時代

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に活躍した、高麗恭澄、高麗經澄、同季澄、同美清同希弘など、典型的關東武人を輩出し、近く日露戰役に金鵄勳章拜受の殊勳軍人を一村內十餘人の多數を出したと云ふのも誠に、意義深いことゝ云はねばならぬ。

□高麗王の墓と其末裔

私が、初めて高麗村を訪づれたのは、大正九年六月中旬のことであつた。村端れの茶店に憩して、主婦の婆さんを相手にいろ／＼村のことを尋ねても見た。日頃朝鮮と朝鮮人について少からず興味を持つて居た私が、今目の當り千二百年來の朝鮮村を見學することは、一種云ふべからざる懷かしさを感じない譯にはいかなかつた。やがて本村に入つて見ると、取り立てゝ特に他の農村と異なつた點は一寸も見受けないけれども、路上偶ゝ朝鮮タイプの顏にブッ突かる事がないでもない。村を入つて暫く行くと村の尋常高等小學校がある。私は校長の後藤重吉氏を訪れて簡單な談話を聞いた。後藤校長は、まだ三十そこ／＼位の極めて眞面目な青年教育家で、前年の大正八年五月に、例の萬歲騷ぎのあつた後であつたからでもあらうが、朝鮮と云ふものに對して特に注意を拂つて居るらしく、同年の春四月頃であつたか、朝鮮各道郡守の團體四十名ばかりが、總督府の案內で高麗村を訪問したる際には、後藤校長等が、役場や村の有志たちと協力して歡迎會を催し、衷心から赤誠のこもつた接待振りに郡守たちも大に滿足して歸つたと云ふことで、

『こんな片田舍であつても、分相應に內鮮融和のために微力を盡したいと考へて居ります』

と後藤校長は私に語つたほどであつた。高麗川橋を渡つて彼方を眺めると山際の方にコンモリと茂つた杉木立の中に一際高く見ゆる茅葺屋根の寺院が眞言宗聖天院とかである。此邊りの農村には不似合な位な巨刹であつて昔高麗人が此地に移住して三十六年

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

後の聖武天皇天平勝寶二年、當時の族長であつた高麗王從五位下若光の侍臣勝樂と云ふ者が、王の冥福を禱るために建立を企て王の第三子聖雲が工を大成し、父若光が故國から將來した聖天佛を安置したものなさうで、今の伽藍は寛永年代炎上後の再建にかゝり、本堂、山門ともに輪奐宏壯を極めたものである。山門の前右方に高さ六尺ばかりの五層の塔が雨覆ひの圍ひを施された中にある。一寸普通日本の石塔とは樣式を異にした相當年代を經過したものであることは、臺座の四方に刻んだ佛像が殆ど判明しないまでに磨滅して居るのを見ても想像される。これが卽ち高麗王の墓であると傳へられて居るものである。聖天院から程遠からぬ處に郷社高麗神社があるその祭神は白髭大明神で、朝鮮人の崇拜する神樣だと云ひ、また高麗王若光をも合祀されて居ると云ふのであるが、白髭大明神卽ち若光であるか何うかは知らぬが、白髭神社といふ社は、此近郷に二十餘社もあると云ふことである。社掌の高麗興丸氏は、村内第一の舊家であつて、今は農を生業として居るけれども、五十餘の年輩人格の高潔な誠に立派な人物であつて、村民からも厚き尊敬を拂はれ、一千餘年この方連綿として高麗王の正統を繼承する末裔であると稱されて居る。長男は虎雄氏まだ二十臺の青年、私が高麗家を訪れた時は、當主の興丸氏も長男の虎雄氏も共に不在で面會することが出來ず、若い容色の美しい、白手拭を姉樣冠りにした娘さん（虎雄氏の嫁御であるかも知れぬ）が、一人留守居をしながら入口の廣い土間で、山のやうに刈入れた麥をセッセと扱きおろして居るところで、

『私は他處から來ましたもので、生憎今日はこの主人も虎雄さんも居りませんから何かあるかも知れませんけれども、私には分りかねます』

と、愛嬌の好い挨拶ぶり。併し、同家には、遠祖高麗王若光が携へて來たと傳へらるゝ古銅作りの太

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

刀と護持佛、大般若の古寫經や古い鰐口、古系圖などの寶物が秘藏されてある。現在東京にも時に高麗姓を名乘つて居る人を發見することがあるのは、云ふまでも無く、この高麗村の出身者か、左もなくとも其の系統から出た人に違ひないと思ふ。而して千餘年前に移住した高麗人は、當時の武藏野人に比して、その文化の程度が遙に優秀なものがあつたらしく、殊に建築染織等の技術に於ては、大陸の新藝術を日本に移植普及することに努力した跡が今日殘存せる遺跡によつても窺ひ知るに難からず、就中秩父地方の織物工業が今日の如く隆盛をなしたる遠因は、千有餘年前此の地方に移住したる朝鮮歸化移民即ち高麗人の力に與る處が少なくなかつたものであらう。

□史實上の考察

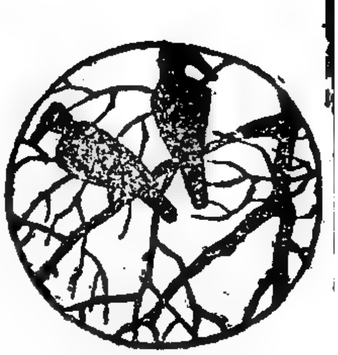
神功皇后の三韓征伐を一區劃として、我が國と朝鮮半島の政治的交渉が彌〻密接の度を高め、應神天皇の七年には、歸化韓人を使役して大和に池を掘らしめ、欽明天皇の二十四年には、新羅の使者一行が故國へ歸りたくないと云ふので、そのまゝ攝津河內の國に住ましめた。同二十六年高麗人若干のものが歸化する。推古天皇三年高麗の僧惠慈歸化す。同二十一年百濟歸化橋工、舞樂匠を櫻井に住まはす。持統天皇朱鳥四年高麗、新羅の歸化民を常陸、下野、武藏に移し田を賜ふ。同六年新羅人を下野に移す。同七年五月百濟人歸化す。八月百濟人を武藏に移す。元正天皇靈龜二年高麗人を武藏に移し高麗郡を置く（前出）。嵯峨天皇弘仁八年新羅人歸化す。奈良平安朝の間、韓人の歸化する者が少からず、我が朝廷は是に土地を與へて住せしめ、その技能に應じて頗る優遇されたものであることは、以上の史實によりても想像することが出來るであらう。かう云ふ風に元正天皇以前武藏國外關東地方にぼつ〱と韓人を移住せしめた事實があつたのであるが、靈龜二年諸國に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

散在して居つた者を、何かとお互に不便が多かつたので一纒めにされたものであらう。當時韓人は、遙に日本よりも高級な文化藝術を有して居たので、自然先住の關東人を指導開發する役目に當つたものであらうと思はれる。學者の說によれば、前の高麗王若光等の貴族は、靈龜二年の統括的移住以前から武藏國に住んで居つたものであらうといはれ、また同じ高麗郡から出た韓人で、孝謙天皇の天平勝寶二年に特に高麗朝臣の姓を賜はつた從四位下背奈王福信と云ふ人があつて、この人は野見宿禰のやうに怪力があつて巧みに相撲を取るので知られ、而も人物才學も他に優れ、別けても建築技術に秀でゝ居たので、朝廷に召し出されて重き官職に歷仕し、後には造宮卿武藏近江守を兼ぬるに至つたと云ふことである。かうして歸化韓人の一族は遺傳的に騎射武術に熟達すると同時に、農桑の業に勵み、建築や、機械工藝、音樂等を土着人に普及することに努め、武藏野の山廊に燦然華の如き文化生活を爲しつゝあつたのである、尙ほ歸化高麗人居住の遺跡として現に山梨に南北コマ（巨摩）郡と云ふのがあり、神奈川縣大磯に高麗山と云ふのがあり、又武藏多摩郡に狛江鄉（今深大寺附近）などの地名があつたのに依りても、その昔を偲ぶことが出來るのであらう。今や、日韓合邦されて桑槿一家の實行はれ、內鮮融和の說頻りに國民の間に唱道さるゝの時、帝都に程遠からざる古き朝鮮村について記すことも敢て無意義のわざではあるまい。さはいへ以上は單に武藏高麗村の槪說たるに過ぎず。なほ考察すべき興味多きかず／＼の問題が殘されてある。

（完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



錦心繡腸

歸鄕有感　（乙賞）　桂堂　平山正　京城

世上窮通彈指間。轉蓬未識二毛斑。身同候鳥秋南北。
心若浮雲日往還。昨曉船過玄海水。今宵履蹈故鄕山。
雄懷落々依然在。逃莫舊知憐我頑。

雲川曰。情眞、景眞、事眞、意眞、澄至清、發至情。

和全州藤谷景山師友韻　（乙賞）　文鄕　李炳列　朝鮮

一場浩劫各分州。此別居然十有秋。就事營々還是拙。
獨行禹々更無求。幾年愁若燕山月。千里强乘鴨水舟。
幸焉峽谷少飢者。命吏寸功似箇收。

雲川曰。披瀝胸懷不作[illegible]之態、叙乖隔處、極爲微婉、得風人之意。

松聲　（丙賞）　沈圭澤　朝鮮

惟底老龍吟不停。常時隱々自生聽。俄然一陣風來處。
十二銀山倒海青。

雲川曰。天風鼓盪、筆勢奔騰。

梅影　（丙賞）　沈青下　朝鮮

槎牙疎瘦近山間。清淺橫斜一水灣。爭似佳人來月下。
濃粧濃抹百千般。

雲川曰。情致纏綿、辨言典麗、羅浮仙子乍來。

秋日送瀨木桐村遊支那　桂堂　平山正　京城

鐵笛聲中上遠程。奚囊在手征衣輕。覺羅遺蹟奉天廟。
秦帝雄圖萬里城。胡馬嘶風秋遠近。哀鴻叫月夜凄清。
欽君得意賦詩處。騷客相携乞會盟。

雲川曰。天馬行空、不可控御。

鶴聲　沈圭澤　朝鮮

翻然化羽下瓊林。落々雲間時一吟。赤壁東來非子是。
至今餘韻在江陰。

雲川曰。淸婉秀麗才思有餘。

蟲聲　　同人

玉露金風落木時。令人搔首亂懷思。通宵切々悽々語。
强半秋閨怨恨詩。

雲川曰。憂愁幽思、筆端凝繞。

雪色　　沈圭澤　朝鮮

寒江獨釣繫空舲。明月蘆花不辨汀。猶記詩人小橋上。
殘梅踏盡一驢青。

夜色　　同人

不可思量無際邊。千山萬水自相連。一燈相照松間屋。
斗轉河橫黯黮天。

雲川曰。詩詠物。尤爲難、作者才氣煥發、絕無斧鑿之痕。所謂自然深秀者。

雲影　　沈青下　朝鮮

天門徐入暫徘徊。又是無心觸石隈。一碧山光殘照外。
佳人消息尙遲來。

雲川曰。淸和宛轉、可謂物理俱美、情致幷深。

帆影　　同人

數峰隨雨過前川。徹底分明樹杪蟬。返照翻然移石壁。
萬重交翠一空船。

雲川曰。淸新流麗、杜句巧襲、可謂妙。

金剛山　　霽堂　李象鉉

金剛山上又龍泉。尖伏高低一幅圖。羣嶂奇容連此極。
大塊雄勢鎮東天。蔽空疑似旋旗後。整列還壯軍馬前。
萬二千峰多少景。雲來雲去遠無邊。

雲川曰。連山雲合、而風鼓動之。眞有動搖勢矣。

次川村驥山詞兄紀元節韻　　西野義正　朝鮮

聖化恩深及八紘。佳辰有象豈無觥。喜看殘雪似鄉國。
一片純心客夢淸。

雲川曰。嘉辰有瑞雪、豈可無杯中物、聖世陶々醉、頓忘游客情、詩亦雍容閑雅。

癸亥紀元節雪喜賦之一　　驥山　川村愼

肇國三千載。連綿皇統尊。嘉辰呈瑞光。復雪是天恩。

雲川曰。壯偉淸穆、立意廣大、不失雅音。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

雜錄

社會事業に對する御下賜金並奬勵金

朝鮮社會事業團體に對し先般宮內省より事業奬勵の趣旨を以て左の通り御下賜金があつた。

五百圓	京畿道	和光敎園
五百圓	同	佛敎慈濟會
五百圓	同	向上會館
五百圓	同	鎌倉保育園支部
四百圓	同	京城保育院
四百圓	同	救世軍育兒ホーム
三百圓	同	朝鮮社會事業研究會
三百圓	同	京城保隣會
二百圓	忠淸南道	公州救濟院
五百圓	全羅南道	光州濟衆病院
五百圓	慶尙北道	朝鮮扶植農園
四百圓	同	慶北救濟會
四百圓	同	大邱癩病院
四百圓	慶尙南道	釜山癩病隔離院
三百圓	平安南道	平壤孤兒救濟會
三百圓	同	平壤盲啞學校

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

二百圓　同　日本育兒院支部

感化救濟竝に地方改良事業中成績優良であつて今後益其の發達を助成するの必要を認め總督府から今般左の通り奬勵金を夫々付與した。

二千圓　京城府　和光敎園代表者　荻野順導
二千圓　同　佛敎慈濟會附設實費診療所　代表者　渓内弌惠
二千圓　同　救世軍育兒ホーム　代表者　ウイリアム・スラウンス
千圓　同　財團法人京城保育院　代表者　尹致昊
千五百圓　同　財團法人鎌倉保育院京城支部　代表者　佐竹音次郎
千五百圓　同　向上會館代表者　渓内弌惠
四百圓　忠淸南道公州　公州救濟院　代表者　張間源四郎
三百圓　慶尙北道達城郡解顏面　財團法人朝鮮扶植農園　代表者　加島敏郎
千圓　大邱府　慶北孤兒救濟會　代表者　徐丙朝
四百圓　平壤府　財團法人日本育兒院平壤支部　代表者　五十嵐喜廣
千圓　同　平壤孤兒救濟會　代表者　鄭世胤

奏任待遇面長の略歴

昨年八月勅令第二百七十二號を以て、朝鮮總督府地方官官制を改正せられ、面長中五十人を限り、奏任待遇と爲すことを得る旨を規定せられ、本年二月十一日の佳節に當り、最初の奏任待遇面長たる四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

十六氏の任用を見るに至れり。而して此の名譽ある諸氏の氏名、閲歴、勤續年數及年齡を示せば左の如し。

道	經歷	勤續年數	面名	氏名	年齡
京畿	元總督府道警視	二年九ヶ月	開城郡松都面長	松元鶴熊	五〇
同	地方事情に精通し學識名望あり	五年四ヶ月	水原郡水原面長	近藤虎之助	六〇
同	元中樞院議官	二年十ヶ月	高陽郡崇仁面長	金基宅	四八
同	同前	十六年二ヶ月	驪州郡加南面長	柳炳羲	五五
忠北	元陸軍步兵正尉	十年五ヶ月	清州郡四州面長	韓性敎	五〇
同	元郡守	六年七ヶ月	槐山郡清安面長	李鐸應	六六
忠南	元陸軍步兵中尉	二年九ヶ月	公州郡公州面長	加賀美守	五三
同	元郡守	十二年十一ヶ月	牙山郡排芳面長	李奎榮	六一
同	元中樞院議官	九年九ヶ月	保寧郡珠山面長	李翻鎬	五二
同	十年以上面長の職にあり成績顯著なり	十一年八ヶ月	公州郡州外面長	劉秉珏	六三
同	地方事情に精通し學識名望あり	三年	大田郡大田面長	渡邊寬治	五〇
全北	地方事情に精通し學識名望あり	八年十ヶ月	南原郡南原面長	梁栽英	四三
同	元憲兵特務曹長	四年	益山郡益山面長	大澤甚太郎	四九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

同	元中樞院議官	八年十ヶ月	扶安郡扶寧面長	辛聲錫	四九
同	元總督府醫院事務官	新任	全州郡全州面長	坂本直一郎	五四
全南	五年以上判任官五級俸以上	一年十一ヶ月		福本有雅	五一
同	同前	三年九ヶ月	濟州島濟州面長	洪鍾時	六六
同	地方事情に精通し學識名望あり	九年二ヶ月	麗水郡麗水面長	兪國濬	四八
慶北	元陸軍憲兵大尉	三年四ヶ月	金泉郡金泉面長	柴崎定介	五三
同	元郡守	四年八ヶ月	達城郡玄風面長	具鍾鳴	六〇
同	地方事情に精通學識名望あり	八年十ヶ月	尙州郡尙州面長	朴挺漢	五二
同	十年以上面長の職にあり功績顯著なり	十年七ヶ月	達城郡玉浦面長	金振玉	四四
慶南	十年以上面長の職にあり功績顯著なり	十三年五ヶ月	東萊郡南面長	金鳳申	五一
同	同前	十四年六ヶ月	梁山郡東面長	尹濟儀	六四
同	中學校敎諭（奏任）	三年十ヶ月	昌原郡鎭海面長	野崎常藏	五一
同	地方事情に精通し學識名望あり	九年九ヶ月	咸安郡漆原面長	金寶漢	五九
同	同前	三年六ヶ月	山淸郡生草面長	金殷鎬	五五
黃海	元關東廳警視	六ヶ月	黃州郡兼二浦面長	石橋正光	四八
同	元道警部	十一ヶ月	海州郡海州面長	沖本正晴	五五
同	元郡參事	九年十ヶ月	黃州郡黃州面長	尹景赫	五四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

平北	十年以上面長の職にあり功績顯著なり	十年二ヶ月	博川郡德安面長	朴來陽	六三
同	同前	十三年五ヶ月	寧邊郡北薪峴面長	權聖麟	四八
同	地方事情に精通し功績顯著なり	九年八ヶ月	碧潼郡城南面長	公禎杜	四五
同	同前	八年十ヶ月	泰川郡南面長	白圭範	四七
江原	元判任官四級俸	一ヶ年	春川郡春川面長	椋原諭吉	五一
同	十年以上面長の職にあり功績顯著なり	十年三ヶ月	平昌郡大和面長	崔燦鼎	四四
同	地方事情に精通し學識名望あり	三年九ヶ月	原州郡原州面長	沈宜春	三七
咸南	元道警視	十ヶ月	咸興郡咸興面長	谷川龜彦	五七
同	地方事情に精通し學識名望あり	九年一ヶ月	洪原郡州翼面長	韓準錫	四七
同	十年以上面長の職にあり功績顯著なり	十三年	北青郡老德面長	金眞經	六八
咸北	地方事情に精通し學識名望あり	一年四ヶ月	鍾城郡羅南面長	吉本三次郎	五〇
同	同前	五年四ヶ月	城津郡城津面長	李應烈	三九
同	元判任官二級俸	一年五ヶ月	會寧郡會寧面長	田中吉太郎	四七
平南	元道參事	四年三ヶ月	大同郡在京里面長	黃鑾	七二
同	地方事情に精通し學識名望あり	五年一ヶ月	江西郡東津面長	黃中鶴	六二
同	元府書記五級俸五年以上	八年十ヶ月	大同郡柴足面長	牟正豐	六〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

行政整理後の地方官

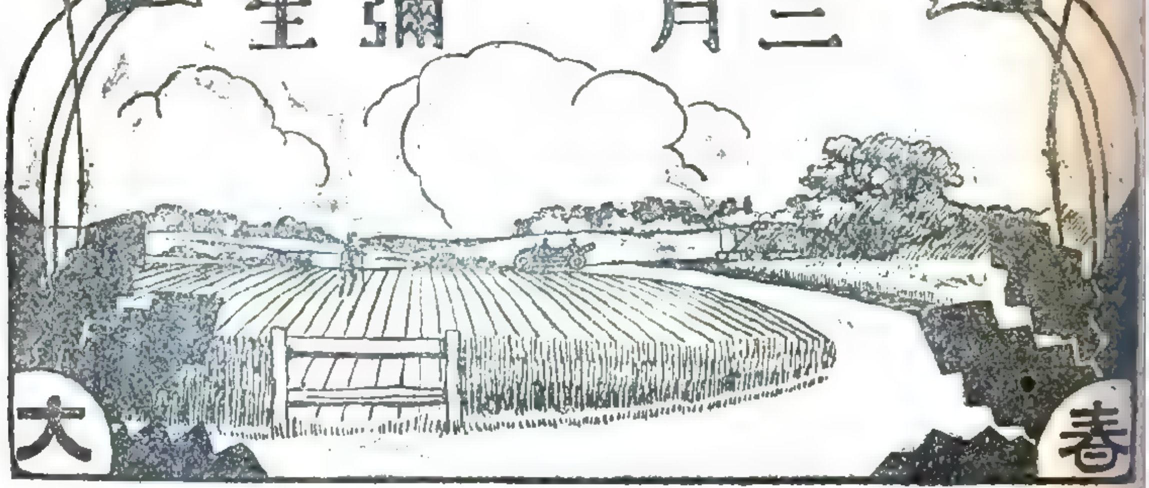
今次の行政整理の結果、朝鮮總督府部内に於ても免官休職轉任等少からざる人員を整理せられたが、この改革後即ち本年三月五日現在の地方要路に在る人々の官氏名は左の如し。

	知事	參與官	内務部長	財務部長	警察部長
京畿道	時實秋穗(一等三級 東大四〇)	金潤晶(三等二級)	佐藤七太郎(三等一級 東大四一)	泉崎三郎(五等四級 東大四四)	馬野精一(三等一級 高試四三)
忠清北道	朴陽重(一等三級)	朴喆熙(四等四級)	山下謙一(三等一級 東大四三)	新田隣平(五等四級 東大三)	久留島新司(五等四級 東大三)
忠清南道	金寛鉉(二等二級)	韓圭復(四等四級)	張間源四郎(四等三級 東大四五)	渡邊秀雄(五等四級 東大四三)	野田鞆雄(四等三級 東大二)
全羅北道	亥角仲藏(一等二級 高試三八)	朴榮喆(三等三級)	松本誠(三等一級 東大四二)	横田克己(五等四級 東大四四)	川崎末五郎(五等五級 京大五)
全羅南道	元應常(一等二級)	石鎭衡(三等三級)	松井房次郎(四等二級 東大四三)	松澤國治(五等三級 東大六)	土師盛貞(五等五級 東大四)
慶尙北道	澤田豐丈(二等三級 東大四〇)	金英鎭(四等四級)	秦秀作(三等一級 東大三五)	中村寛猛(五等四級 東大三)	富永一二(三等一級 東大四三)
慶尙南道	和田純(二等三級)	尙灝(三等三級 東大三九)	矢島音次(三等一級 高試四二)	下村充義(五等四級 東大三)	村上沼一郎(六等四級)
黃海道	飯尾藤次郎(一等二級 東大三六)	兪鎭明(四等四級)	三田蒂喜(三等一級 東大三六)	阪路英和(六等五級 東大六)	竹内健郎(六等四級 東大三)
平安南道	米田甚太郎(一等二級)	朴相駿(四等四級)	渡邊忍(三等一級 東大四三)	伊達四雄(四等三級 東大二)	藤原喜藏(六等五級 東大五)
平安北道	生田清三郎(二等二級 高試三九)	劉鎭淳(四等四級)	磯野千太郎(四等二級 東大四三)	中島覺之(五等四級 東大二)	安藤袈裟一(六等四級 東大四三)
江原道	尹甲炳(一等二級)	金祥演(四等四級)	永野清(四等三級 東大四四)	車田篤(五等四級 東大三)	兒玉魯一(六等五級 東大三)
咸鏡南道	李圭完(一等二級)	柳承欽(四等四級)	重信文徹(四等三級 東大四三)	田中三雄(五等四級 東大四)	武井秀吉(五等四級 高試元)
咸鏡北道	中野太三郎(二等三級 東大三九)	金瑞圭(四等四級)	福島潤太郎(四等四級 東大四二)	大島良士(五等五級 東大四)	田中武雄(六等五級 高試四)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

田園趣味暦

三月 彌生



◎田園趣味暦

世の中にたえてさくらのなかりせば
春のこゝろものどけからまし
在原業平

季節

春は來りぬ。春は來りぬ、山越え野越え、畑越えて。路傍始めて、一輪の蒲公英を見し時の嬉しさよ。柔き土を擡げて土筆の萠え出づるも此頃なり。軈て嶺の殘雪融けて霞と化せば、雲雀も啼くべし、胡蝶も舞ふべし。あゝ待ち佗びし春は來りぬ。

花信

緋桃綻び初む。花の美稍梅櫻に劣ると雖、これには謂ひ知らぬ野趣と溫情とあり。譬へば、まだ浮世の塵に染まぬ野の少女の面影にも似て愛でたくもまた懐かしき限りなり。木蓮は艶なれども、落花の速かなるがうらめしく、薄月に李花のほろ〳〵と散る、詩趣豐かなり。下旬彼岸櫻綻びそむ。都には瓢簞の掃除に餘念なき雅なる翁もあらむ。野には春風駘蕩として至り、堇、蒲公英、紫雲英の花、宛ら彩れる毛氈を敷きたらむが如し。麥の青きと、菜種の綠りなると、對比いと鮮かなり。青柳の糸の、春風に打ちなぶらるゝも飽かぬ風情ならずや。

食品

嫁菜、土筆、三つ葉などに春を味ふもよし。晝野に摘める蓬の夕色濃き草餅となりて口に入るも田園生活の一樂事か。十八日より彼岸の節に入る。牡丹餅したゝか頬張りて胃腸を害ふ勿れ、魚類にては鯉、鰈、鮒、烏賊、鰆など。

行事

三日は雛祭俗に桃の節句といふ。草餅、菱餅、白酒などを供へ、乙女子は日暮るゝまで笑ひ興ず。ほんのり白酒に醉ひて顏赧らむる蝶子花子もあらむ。其の昔催ほされし曲水の宴は、いかにおかしかりしならむなど思ふ。二十二日春季皇靈祭所謂彼岸の中日にて各所の寺院いと賑ふ、菜の花に圍繞せられたる野寺より讀經の聲と共に木魚鉦子のモク〳〵カン〳〵と聲えたる、いと長閑なり。凧揚げに、摘草に遠足に汐干狩に少年少女は是より漸く多忙なり。

菜の花や月は東に日は西に　蕪村

春季皇靈祭（二十二日）　日曜日（四月 十一日 十八日 二十五日）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

綜合教育教科書發行趣意書

朝鮮に於ては諸政の革新に伴ふ教育制度の改善により普通教育は著しき進歩をなし所謂文化政治の實を揚くるの機運に達しました。殊に一般人民の好學心勃興し就學希望者の激增により學校の增設と教員の養成とは朝鮮統治上の最大急務として實施せられて居ります然るに教員養成に最要の教科たる教育について適當なる教科書の無いことは甚だ遺憾とする所であります。本會は朝鮮に於ける教育制度及教員養成の實情に鑑み左記の要項を基準として最も適當と信ずる綜合的の教育教科書を著作し發行することにしました。教育に關係せらるゝ各位の嚴密なる査閲を蒙り師範學校又は教員講習所に於ける教科書として採用せられ或は教員檢定受驗者の參考書として推奨せられんことを希望する次第であります。

綜合教育教科書

第一　內容

甲卷 心理學・教育史・教育學　頁數約三百三十頁　定價壹圓八拾錢

乙卷 各科教授法・教育制度・學校管理法　頁數約三百五十頁　定價壹圓九拾錢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第二　編纂要項

一、各分科の聯絡と統一とを計る　二、大正十一年の新教育令に準據す　三、各分科の内容を學富にし說明を簡にし文章を口語體とす　四、心理學は簡潔を旨とし初學者の理解に便ならしめたこと　五、教育史は殊に朝鮮の教育の變遷を詳說す　六、教育學は新しき學說及經驗を基本として最も理解に適せしめ且保育論につきて詳述す　七、教育制度は主として朝鮮教育及其の附屬法を系統的に解說す　八、學校管理法は諸種の規程を參照して最も實際的に記述す

第三　採用の注意

本書は總督府に檢定出願中につき最初は參考書として生徒に使用せしめ檢定認可の際に於て教科書として採定せられたきこと

第四　各分科目次概要

心理學　●緒論●心的現象總論●知的現象●情的現象●意的現象

教育史　●緒論●本邦明治維新までの教育●西洋諸國の教育●本邦明治維新後の教育

教育學　●緒論●目的論●養護論●教授論●訓練論●教育者と修養●保育論

各科教授法　●緒論●修身教授●國語教授●朝鮮語教授及漢文教授●算術教授●日本歷史教授●地理教授●理科教授●圖畫教授●唱歌教授●體操教授●裁縫教授●手工教授●農業教授●商業及外國語教授●家事教授●複式及單級教授

教育制度　●教育行政●朝鮮教育令●內鮮相互入學規定●小學校規程●普通學校規程●幼稚園規程●中等以上諸學校の規程

學校管理法　●緒論●本論●小學校普通學校の本旨と種類●同上設置及管理●同上就學●同上教科●同上編制●同上職員●同上設備同上經費及授業料●學校衛生

依て御注文の向は直に左記へ御申込被下度願上候

帝國地方行政學會朝鮮本部
京城長谷川町九十三番地　電話九七三番　振替一〇、七五四番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

會　告

本誌は朝鮮地方行政に關し大方各位の御投稿を歡迎します、殊に各道内に於ける民心の歸嚮、內鮮人の社會狀態、敎育産業の振否、民間の起業、官廳の諸施設等本誌に掲載して自他の參考となり資料となるものは、乍御手數續々御寄贈あらんことを冀ひます、其の特に調査に勞費を要する事項は相當の原稿料又は謝禮を贈呈することと致します。

懸賞募集

本會編輯局選

◎論　文（一千字以內）

題　隨意　一原稿は十行二十三字

主として朝鮮地方行政殊に制度、敎育、産業、社會に關する時事問題の得失を着實穩健に論評し輿論の嚮ふ所を代表的に闡明すること。

賞金　甲七圓　乙五圓　丙三圓

◎漢　詩　一人三首を限る

題及體　隨意

應募の作は當代知名の詩宗に託し選評を請ふものとす

賞金　甲五圓　乙三圓　丙一圓

注意　一　原稿の末尾に住所氏名を明記すること之れなきものは沒書とす

一　賞金は發表より一ヶ月以內に郵送す

大正十二年三月十二日印刷
大正十二年三月十五日發行　定價金參拾錢

編輯者　東京市京橋區加賀町九、十、十一番地　大橋政治
發行者　東京市京橋區加賀町九、十、十一番地　井狩孝太郎
印刷者　東京市京橋區加賀町九、十、十一番地　井田耕治
印刷所　東京市牛込區西五軒町五十二番地　行政學會印刷所第二工場

發行所　東京市京橋區加賀町九、十、十一番地　帝國地方行政學會　電話[illegible]

發賣所　朝鮮京城府長谷川町九十三番地　同　朝鮮本部　電話[illegible]

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

独逸製＝理想的の

萬年ノート

文具費の節約!!

用紙もペンも鉛筆もいらぬノート現る

使用法と特長

一、本品は獨逸政府の專賣特許品にして今般東洋一手販賣權を得ました（日本政府に特許出願中）

一、本品の原料は獨逸の專門家が苦心研究の結果にして氣候の變化に差支なく使用が出來ます

一、本品の使用法は爪先、木筆又はペン軸の頭の如きなるべく尖らないものにて（毛髪の油氣を附けるを最も宜し）書き、紙をメクレば消え、何處でも使用出來ます

一、從來の類似品は氣候の變化に伴ひ永く使用出來ません又耐久力もありませんが本品は此缺點なく而かも價格は低廉にして製品は實用的であります

種類と價格

第一號	事務用（ポケット入）	一打定價	（金七十二錢 送料十八錢）
第二號	同（小）	同	（一圓二十錢 同十八錢）
第三號	同（大）	同	（一圓八十錢 同十八錢）
第四號	電話室用	同	（一圓二十錢 同十八錢）
第五號	學生用（小）	同	（六十錢 同十八錢）
第六號	同（大）	同	（一圓八十錢 同十八錢）
第八號	同（中）	同	（一圓二十錢 同十八錢）
	專用木筆	一本	一錢

◎御注文は前金又は代金引換便とす（郵便切手代用一割増）但し見本は郵券八錢を要す

◎一時に十打以上の御注文は一割引

發賣元

東京市牛込區西五軒町三十四番地

萬歳社文具部

電話牛込一九一六番
振替口座東京一五〇九四番

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

田臺灣總督題　後藤東京市長題

加來臺灣總務長官序　川村拓殖局長官序

下村法學博士題並閱　天鷄杉山靖憲著

賜天覽

臺灣歷代總督の治績

菊判天金一册
總督長官肖像
コロタイプ八葉入
定價三圓
送料（内地廿七錢　臺灣五十五錢）

忽四版

著者は久しく臺灣に在りて深く臺灣を研究し且理解せるの人、觀察の透徹到底漫遊觀光の客と同じからず、其の能く大局を觀て而も核心を摑むもの素より其の處、章を樺山、桂、乃木、兒玉、佐久間、安東、明石、田總督の八代に別ち重要施設九十餘項に亙り、時代別に事象を說くと共に各原由と沿革とを明かにし、最も鮮明に、最も簡潔に且つ最も痛快なる批判を下せり、之を一部の臺灣文化史と見るも可、將た活きたる殖民論策と謂ふも亦可なり。

石川芳太郎著

サガレンの文化と富源

定價一圓八十錢
送料十八錢

著者久しく北海に渡つて親しく山を觀川を察べ民情行政の機微を探つて爰にこの一卷を得た、鑛業に、林業に、漁業に我等が開拓を俟つや切である。

東京市京橋局私書函第八號

帝國地方行政學會發行

振替口座東京一三

朝鮮京城長谷川町九十三

同朝鮮本部

振替口座京城一〇七五四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

石田傳吉作

戯曲 新らしき村を造るまで

夢想家の新らしき村は、これまでちよく／＼現はれてゐたが、素直な農民の地に根ざした現實的な新らしき村の生活法を建設したものはあまり現はれなかつた。本書はこの新らしい村のプランを五幕十場にして農村の青年達に讀ませやうとした面白い脚本である――時事新報の評

著者は……私が農村革新運動を始めたのは、明治三十六年であつた。……あらゆる艱難を突破して、幸にも時代の進化か、官民の自覺か、今は私の運動は順風に帆を揚げて走るやうに天下の歡迎する處となつて來た。……嘗て著した「理想之村」の梗概を地方革新劇として上場せよとのすゝめを方々より受けたので、その希望により出來上つたのが即ち本戯曲である。私はもと／＼文藝をもてあそぶなどいふ大した野心のない者です。唯々地方革新運動の一助――方便になればよいとの考からの企であるから、本書を手にする方は、豫めその心にて批判して頂きたい。

定價金壹圓
送料金十二錢

東京市京橋局私書函八號
帝國地方行政學會發行
朝鮮本部＝京城長谷川町九三
振替東京一二三番　京城一〇七五番

小倉瀧藏著

地方劇改良

我が村の過去

三版

定價五十錢
送料二錢

入り易い道から入つて村自治の精神を植え付け、此の苗から村隆盛の花を咲かせ果を結ばん爲めに書かれたもの。我が村の隆盛を計らるゝ諸士に本書を薦む。

帝國地方行政學會編纂

增訂三版

銀行法規提要

本書は銀行に關する總ての法規及特殊銀行、特殊會社の定款及昨年一月より施行せられたる銀行條例中改正貯蓄銀行法等を蒐集網羅し尚本年一月より施行せられたる信託法及信託業法を別冊として添付しあるを以て其の實用の範圍は極めて廣汎なるべし大方實務家竝に研學諸士に參考資料として推奬す。

袖珍總革製
天金全一冊
定價六圓
送料十八錢

東京税務監督局事務官 中村繼男著

改正

法人所得税法詳解

增補四版

四六判全一冊
定價三圓
送料（内地十八錢 朝鮮三十錢）

法人所得税に關する規定は多岐錯綜を極め專門家を以てするも往々にして亡羊の嘆を發せしむるを遺憾とし本書を著されたるものにて、萬疑を解いて餘蘊なし。司税當務者は勿論銀行會社及市町村當局必讀の良書たり。

東京市京橋局私書函八號
帝國地方行政學會發行
振替口座東京一三

朝鮮京城長谷川町九三
同朝鮮本部
振替口座京城一〇七五四

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

內務省社會局長 田子一民著

忽八版

社會事業

四六判全一冊

普及版 定價一圓八十錢

送料 內地十八錢 朝鮮三十錢

我國社會事業の現狀並に將來の新事業を力說せる唯一の權威ある著書である。

――內容目次――

●緒言 一 社會連帶の思想 二 社會事業なる言葉 三 社會事業の意味合 四 現代社會と社會事業

●第一章出生幸福事業（胎兒保護事業）一 出生幸福の意義 二 姙婦保護による胎兒保護 三 親の義務としての禁酒運動 四 親の義務の宣傳事業 五 出生自由の諸問題

●第二章成育幸福事業（兒童保護事業）一 人間最初の幸福 二 養育保護 三 教育保護

●第三章職業幸福事業 一 職業自由の意義 二 自發的職業選擇機關 三 職業指導 四 職業紹介制度 五 失業保險制

●第四章生活幸福事業（防貧事業、救貧事業）一 生活自由の意義 二 日用生活品供給（公益市場、消費組合）三 住宅供給 四 軍事救護 五 恤救規則 六 行旅病人 七 罹災救助制 八 公設浴場 九 簡易食堂 一〇 宿泊保護 一一 公設質屋 一二 公設洗濯場

●第五章精神幸福事業（教化、矯風）一 精神幸福の意義 二 積極的精神保護 三 消極的精神保護

●結言 ●餘韻 社會事業功勞者

東京市京橋局私書函八號

帝國地方行政學會發行

朝鮮本部 京城長谷川町九三

振替口座東京一三＝京城一〇七五四

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

守屋榮夫著

增訂五版
地方自治之精神

地方改良に關する出版物の多きに不拘、皆形式的説明に專にして、實質的方面に筆を染むるものに至りては寥々として曉天の星の如き觀あるのは地方自治の刷新上洵に遺憾に堪えない所である。菲才もとより其の任にあらずと雖も、自ら揣らず、平生、抱懐する卑見を集めて之を世に公するに至つたのは、之れに依りて從來に於ける地方改良の缺陷を補ふの一端たらしむる微衷に外ならない。（著者序文の一節）

四六判 全一册
白布製美本
定價二圓八十錢
送料（內地十八錢 朝鮮三十錢）

增訂五版
地方青年之教養

平和克復後華盛頓會議に至る迄の内外の大勢を敍し、青年が、國家の柱石として忠孝の大義を體し忠良なる臣民、善良なる公民たるの修養を爲す上について、現時の情勢より注意すべき事項平和を東洋に確立し、世界の文化に貢献すべき我が國の使命を實現するが爲めには、四海同胞の大義に則りて博愛協調の精神を振作することの最も必要なる所以―を力説するに努めた。（著者）

四六判 全一册
總布製美本
定價三圓三十錢
送料（內地十八錢 朝鮮三十錢）

訂正五版
平凡之善政

手腕ある政治家といへば必ずや大抱負を提げ、巨資を擁して驚天動地の大經綸を行ふものであるかの如く觀じ政治の實體たる國利民福の增進、民衆の人格的向上發展がやゝもすれば輕視せられ或は寧ろ蹂躙せられんとする際には、一層政治の實質的方面に着眼した平凡なる政治の政善を高唱するの切要を感ぜぬ譯にはいかない。由來平凡なる善政は隨時隨所に闕く可からざる政治の根抵である。（作者序文の一節）

四六判 全一册
白布製美本
定價二圓廿錢
送料（內地十八錢 朝鮮三十錢）

東京市京橋局私書函第八號
帝國地方行政學會發行
振替口座東京一一三

朝鮮京城府長谷川町九三
同 朝鮮本部
振替口座京城一〇七五四

Google Original from

内務省社會局長 田子一民著

改訂 青年公民讀本

菊判全一冊
定價三十八錢
送料四錢

改訂卌四版

今日、世には自治讀本青年補習讀本と稱するもの多々あるがそれ等の多數は或は文章を學ばせ或は自治立憲の形式上に重きを置き其の本質を說くに甚だ缺くるの感がある故に余は此の缺陷に對し十分に意を用ひたが發刊以來世の識者の注目を惹き多くの補習學校の敎科書となり又多數の同志を得た事は聊か以て喜びとせざるを得ない、今衆議院議員選擧法及地方制度、產業組合、戸數割規則の改正制定に伴ひ全部之を改訂し且つ「思想問題」の一章を加へた…。（著者）

三版

改訂 青年公民讀本 敎師用

菊判全一冊
定價一圓五十錢
送料十八錢

東京市京橋局私書函第八號
帝國地方行政學會發行
振替口座東京一二三

朝鮮京城長谷川町九三
同 朝鮮本部
振替口座京城一〇七五四

Google

拓殖局著

沼波瓊音先生作歌

島崎赤太郎先生作曲

朝鮮の歌と滿洲の歌

文部省

檢定濟

東京市京橋區私書函入號

帝國地方行政學會發行

振替東京十三番

朝鮮京城長谷川町九十三番地

同　朝鮮本部發賣

[illegible]地の智識を擴く內地に紹介し以て拓殖の思想を涵養[illegible]を以て本書を著され弊會に發行を命ぜられました多[illegible]好評を博し忽ち三十七版を發行致しました。今般更に本書の普及を計る爲め特に並製を發行し破格の廉價を以て提供します、是非御採用を願ひます。

定價　上製金十二錢　並製金六錢　送料各二錢

（一時に百部以上の御申込は送料不明）

内閣記錄課編纂

現行法令輯覽追錄

内容（自大正九年七月二日 至大正十年七月一日）

大判脊皮全一冊
定價十五圓
送料（内地三十六錢 海外六十五錢）

大正十一年版 追錄

内容（自大正十年七月二日 至大正十一年七月一日）

大判脊皮全一冊
定價 二十圓
送料（内地五十四錢 海外八十五錢）

朝鮮總督府編

朝鮮法令輯覽

内容大正十一年六月一日現在

大判全一冊
定價貳拾圓
送料（内地六十三錢 朝鮮九十錢）

臺灣總督府編纂

臺灣法令輯覽追錄

（内容 自大正十年一月二日 至大正十一年一月一日）

大判全一冊
定價四圓五十錢
送料（内地十八錢 臺灣四十五錢）

東京市京橋局私書函第八號

帝國地方行政學會發行

振替口座東京一三•一六一

朝鮮京城長谷川町九三

同朝鮮本部

振替口座一〇七五四

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

拓殖局著

沼波瓊音先生作歌

島崎赤太郎先生作曲

朝鮮の歌と滿洲の歌

文部省檢定濟

[illegible]地の智識を擴く內地に紹介し以て拓殖の思想を涵養[illegible]を以て本書を著され弊會に發行を命ぜられました多[illegible]好評を博し忽ち三十七版を發行致しました。今般更に本書の普及を計る爲め特に並製を發行し破格の廉價を以て提供します、是非御採用を願ひます。

定價　上製金十二錢　並製金六錢　送料各二錢

（一時に百部以上の御申込は送料不明）

東京市京橋區私書函入號

帝國地方行政學會發行

振替東京十三番

朝鮮京城長谷川町九十三番地

同　朝鮮本部發賣

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

内閣記録課編纂

現行法令輯覧追録

内容（自大正九年七月二日 至大正十年七月一日）

大判背皮全一冊
定價十五圓
送料（内地三十六錢 海外六十五錢）

大正十一年版

追録

内容（自大正十年七月二日 至大正十一年七月一日）

大判背皮全一冊
定價二十圓
送料（内地五十四錢 海外八十五錢）

朝鮮總督府編

朝鮮法令輯覧

内容大正十一年六月一日現在

大判全一冊
定價貳拾圓
送料（内地六十三錢 朝鮮九十錢）

臺灣總督府編纂

臺灣法令輯覧追録

（内容 自大正十年一月二日 至大正十年十一月一日）

大判全一冊
定價四圓五十錢
送料（内地十八錢 臺灣四十五錢）

東京市京橋局私書函第八號

帝國地方行政學會發行

振替口座東京一三•一一六一

朝鮮京城長谷川町九三

同朝鮮本部

振替口座一〇七五四

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

朝鮮總督府參事官室校閲

帝國地方行政學會編纂

大好評 朝鮮法規類纂

（菊判加除綴全拾綴）

●定價 全十綴 金參拾貳圓

●通則	金四圓	送料廿五錢
●内務	金四圓	送料廿三錢
●財務（四版）	金三圓五拾錢	送料廿一錢
●殖産	金三圓	送料十九錢
●法務	金四圓五十錢	送料廿七錢
●學事宗教（三版）	金二圓	送料十七錢
●警察衛生（再版）	金二圓五十錢	送料十九錢
●土木交通	金二圓五十錢	送料十七錢
●遞信	金四圓	送料廿一錢
[illegible]	金三圓五十錢	送料廿一錢

各編購入は部數の多少に不拘割引せす

●月賦特賣 官廳在職者は三ヶ月賦にても差支無之候

朝鮮京城府長谷川町九十三番地

帝國地方行政學會朝鮮本部

電話九七三番 九七四番

振替口座京城一〇七五四

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

U. C. BERKELEY LIBRARIES
C070264422

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

UC-NRLF
B 4 391 583
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA